Hachioji City

あなたのみちを、あるけるまち。八王子

みんなで紡ぐ幸せ

八王子ビジョン2022

活力ある魅力あふれるまちへ

－「八王子ビジョン 2022」の総括－

2013（平成 25 年度）▸▸▸ 2020（令和 2 年度）

令和 3 年（2021 年）10 月

八王子市

目　　次

1　はじめに ・・・

1 はじめに

本市は、市政運営の基本方針である基本構想と 10 か年を計画期間とする基本計画からなる「八王子ビジョン 2022」を平成 25 年（2013 年）に策定し、「人とひと、人と自然が響き合い、みんなで幸せを紡ぐまち八王子」を基本理念に、市民と行政が互いの役割と責任ある行動により豊かな地域社会を築く協働のまちづくりをすすめ、「活力ある魅力あふれるまち」の実現に取り組んできました。

「八王子ビジョン 2022」基本計画の計画期間は令和 4 年度（2022 年度）までです。計画終了を見据え、次期の計画「長期ビジョン」を策定している現行計画期間中に、現行計画の策定時から現在に至るまで取り組んできた各施策を総括し、今後の市政運営につなげていくことが重要となります。

本書では、平成 25 年度（2013 年度）から令和 2 年度（2020 年度）までの 8 年間を振り返り、施策の進捗状況や取組実績を踏まえ、今後の課題等を整理しました。

2「八王子ビジョン 2022」の概要

基本構想（平成24年（2012年）12月19日議決）

基本構想の趣旨

この構想は、首都圏西部の中核的都市である八王子市が、将来を見据えたまちづくりの目標を定めるとともに、その実現に向けて、総合的かつ計画的にすすめる市政運営の基本となるものです。ここに掲げるまちづくりの基本理念と都市像は、本市を自立した都市として発展させていくための基本的な運営指針であるとともに、あらゆる市民の諸活動のよりどころとなるものです。

まちづくりの基本理念

人とひと、人と自然が響き合い、
みんなで幸せを紡ぐまち八王子

私たちのまち八王子は、四季の変化に富み美しい夕焼けに映える高尾・陣馬の山並みや、清らかな源流を集めて流れる浅川などの自然に育まれ、古くから交通の要衝として多彩な人々が交流し、先人たちが知恵を重ねながら発展してきました。

私たちは、この豊かな自然と歴史を次世代に継承し、そして人々が支えあい、信頼の絆でつながり、生きる喜びを感じられる新たな時代に向けてまちづくりの基本理念を定めました。

この基本理念のもと、市民と行政が互いの役割と責任ある行動により豊かな地域社会を築く協働のまちづくりをすすめ、活力あふれる自立都市の実現を目指します。

都市像(私たちが目指すまち)

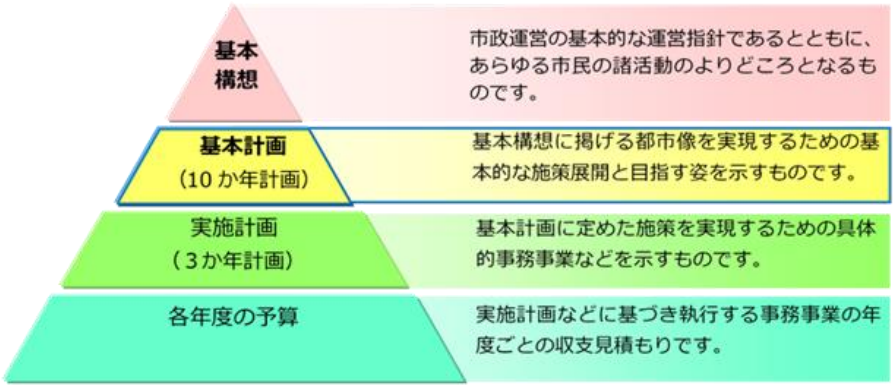
まちづくりの基本理念に基づき、主要な政策別に次のとおり6つの都市像を定めます。

1　みんなで担う公共と協働のまち
2　健康で笑顔あふれる、ふれあい、支えあいのまち
3　活き活きと子どもが育ち、学びが豊かな心を育むまち
4　安心・快適で、地域の多様性を活かしたまち
5　魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち
6　一人ひとりが育てる、人と自然が豊かにつながるまち

基本計画

基本計画の位置付け

この基本計画は、市民と行政が協働して市政運営を計画的に行い、基本構想に掲げる都市像を実現するための基本的な施策展開と目指す姿を示すものです。



基本計画の期間

計画の期間は、平成 25 年度(2013 年度)から令和 4 年度(2022 年度)までの 10 か年です。

基本計画の改定

計画策定から5年が経過し、中核市移行により拡大した事務権限と、これまでの施策の取組状況を踏まえ、平成 29 年度(2017 年度)に基本計画の改定を行いました。

3 「八王子ビジョン 2022」の振り返りと今後の課題

都市像（私たちが目指すまち）1

みんなで担う公共と協働のまち

基本施策（章）：19　　施策（節）：49

◆1 章　市民自治の推進
- 01　地域コミュニティの活性化
- 02　市民と行政の協働

＜8 年間の振り返り＞

➢「町会・自治会の活動活性化の推進に関する条例」を制定したほか、コミュニティ活動応援サイト「はちコミねっと」を運用し、誰もが気軽に地域活動に参加できる環境を整えている。

➢大学コンソーシアム八王子と連携し、学園都市の特性を活かしたまちづくりを推進するほか、市民が市政に参加しやすい環境づくりを進めている。

＜今後の課題＞

➢地域を支える多様な担い手の育成や町会・自治会、住民協議会、市民活動団体等との連携など「地域力」を増強する施策の実施

◆2 章　市民が納得できるサービスの提供
- 03　積極的な市政情報の発信
- 04　市民サービスの向上

＜8 年間の振り返り＞

➢多様なメディアを活用した情報発信やブランドメッセージを活用したシティプロモーションの推進など本市の魅力を市内外に積極的に発信するほか、オンライン申請、コンビニ交付、キャッシュレス決済など ICT を活用した市民サービスの向上に取り組んでいる。

＜今後の課題＞

➢戦略的なシティプロモーションの推進、各種統計データなど市政資料発信の仕組みづくり

➢多様化する市民ニーズに対応できる窓口サービスの構築

◆3 章　地方分権時代にふさわしい行財政運営の推進
- 05　地方分権の推進
- 06　持続可能な行財政運営
- 07　人材の育成と活用

＜8 年間の振り返り＞

➢中核市権限を最大限活用したまちづくりを進めるほか、地方公会計制度に基づく財務諸表から得られる情報を活用するなど、持続可能な行財政運営を行っている。

＜今後の課題＞

➢地域が主体的に地域の魅力や課題を把握し、地域特有の課題を地域の実情にあった形での解決に向け、協働していく地域づくりの推進

➢職員の人財育成や統計データ活用などによる戦略的かつ中長期的な政策立案機能の向上

➢人口減少・少子高齢社会に対応した効果・効率的な行財政運営

都市像（私たちが目指すまち）2

健康で笑顔あふれる、ふれあい、支えあいのまち

◆1章　誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進

- 08　一人ひとりが尊重される地域社会の構築
- 09　暮らしの相談・支援の充実
- 10　社会保障制度の適正な運用

＜8年間の振り返り＞

➢平和について学ぶ機会や男女共同参画社会の推進に向けた啓発活動のほか、消費生活や外国人市民への相談・支援を充実するなど、誰もが安心して暮らせる取組を推進している。

＜今後の課題＞

➢年齢や性別、国籍、障害の有無にかかわりなく、誰もが心豊かに暮らせる社会の実現に向けた施策の推進

◆2章　誰もが生きがいを持ち安心できる地域づくり

- 11　人とひととが支えあう地域福祉の推進
- 12　障害者への支援
- 13　高齢者への支援

＜8年間の振り返り＞

➢障害者、高齢者をはじめ、誰もが活き活きと安心して暮らせるよう、自立支援や相談体制を充実し、地域福祉の推進に取り組んでいる。

＜今後の課題＞

➢複雑・困難化する地域課題への包括的相談支援のため、担い手の確保・育成や、関係機関との連携強化による重層的な支援による仕組みを充実

➢在宅医療と介護の連携による地域医療体制の強化など、超高齢社会を見据えた持続可能な制度の構築

◆3章　保健医療の充実

- 14　健康の維持・増進
- 15　保健衛生の充実
- 16　地域医療の充実

＜8年間の振り返り＞

➢がん検診等の受診促進や妊産婦・乳幼児のケアのほか、地域医療体制を整備するなど保健・医療の施策の充実に取り組んでいる。

＜今後の課題＞

➢感染症や予防対策に対する専門性の高い保健対策の推進や増加する高齢者に対応できる地域医療体制の整備など、住み慣れた地域で安心して暮らしていける体制づくりの推進

都市像（私たちが目指すまち）3

活き活きと子どもが育ち、学びが豊かな心を育むまち

◆1章　全ての子どもが健やかに育つ地域づくり

17　子育て・子育ち支援の充実
18　地域で子どもを育てる環境づくり

＜8年間の振り返り＞

➢多様で良質な教育・保育環境の確保や八王子版ネウボラの取組等の子育て・子育ち支援を充実するとともに、子ども食堂運営支援など地域で子どもを育てる環境づくりを推進している。

＜今後の課題＞

➢子どもの将来が生まれ育った環境によって左右されることなく、子どもが健やかに成長していくための環境整備の推進

➢全ての児童が学校を拠点として、放課後を安全・安心に過ごせる環境整備の推進

◆2章　未来をひらく子どもを育てる教育

19　生きる力を育む学校教育
20　地域とつながる学校づくり
21　学びやすい教育環境づくり

＜8年間の振り返り＞

➢アシスタントティーチャー配置等による個に応じた学力向上やスクールソーシャルワーカーによる家庭支援の体制充実のほか、GIGA スクール構想による学校の ICT 化や教育指導環境の向上など教育環境づくりを進めている。また、学校運営協議会を全校に配置するなど、地域と連携した学校づくりを推進している。

＜今後の課題＞

➢地域と学校が協働し、地域の力で子どもや学校を支える仕組みの構築

➢不登校児童・生徒への支援、特別支援教育の充実などへの福祉・子育て等関連所管と連携した取組の推進

◆3章　学びを活かせる生涯学習の推進

22　市民がつながる生涯学習
23　誰もが楽しめる生涯スポーツ・レクリエーション

＜8年間の振り返り＞

➢生涯学習情報の発信や図書館機能の充実、総合体育館整備や陸上競技場改修など生涯学習・スポーツの環境整備を推進している。

＜今後の課題＞

➢生涯学習環境や図書館機能の充実によるリカレント教育の促進、市民が学習の成果を地域活動に活かすことができる仕組みづくりの構築

◆4 章　未来につながる文化の継承と創造

- 24　豊かな心を育む市民文化の振興
- 25　市民が誇れる歴史と伝統文化の継承
- 26　多様な文化交流の推進

＜8 年間の振り返り＞

➢文化芸術活動や伝統芸能に触れる機会の創出、文化遺産等の保存や継承など次世代への継承を支援するほか、日本遺産認定により本市の歴史文化の特色の市内外への発信を推進している。

＜今後の課題＞

➢市民の文化芸術活動や本市文化芸術の魅力発信など文化芸術環境の整備推進

➢本市に所在する貴重な文化財や日本遺産を活用した歴史文化を活かしたまちづくりの推進

都市像（私たちが目指すまち）4

安心・快適で、地域の多様性を活かしたまち

◆1 章　自然と共生し地域の多様性を活かしたまちづくり

- 27　計画的なまちづくり
- 28　誰もが快適なまちづくり

＜8 年間の振り返り＞

➢八王子駅南口集いの拠点や旭町・明神町地区周辺など八王子駅周辺のまちの賑わいを創出するほか、市街化調整区域の集落や多摩ニュータウンなど地域の特性を活かしたまちづくりを計画的に進めている。

➢市営住宅の建替や住宅確保要配慮者に対する民間賃貸住宅への入居支援など、住宅セーフティネットを促進している。

＜今後の課題＞

➢人口減少や少子高齢化などに加え、コロナ禍による社会情勢の変化を見据えた、計画的なまちづくりの推進

➢適正な管理が行われていない空き家や空き地の増加による治安の悪化を防ぐため、発生予防対策を行うとともに、利活用推進に向けた施策の展開

◆2 章　　地域力を活かした安全で安心なまちづくり

- 29　災害に強いまちづくり
- 30　防災体制の充実
- 31　防犯体制の充実

＜8 年間の振り返り＞

➢下水道管路や緊急輸送道路沿道建築物の耐震化による都市の防災機能強化を促進すると

ともに、多様な手段を活用した防災情報の提供や関係機関との連携強化により地域の防災力を高める取組を推進している。

＜今後の課題＞

➢近年、多発する大雨災害等の発生状況を踏まえた、防災機能を備えた都市基盤整備や地域の防災体制の充実など災害に強いまちづくりの推進

◆3 章　快適で人にやさしい交通環境づくり

- 32　交通環境の充実
- 33　安全・快適な道路環境の整備
- 34　都市間交通網の整備促進
- 35　公共交通の充実

＜8 年間の振り返り＞

➢安全な道路環境の整備や交通安全教育の推進により交通事故件数は減少している。また、都市計画道路や自転車走行環境を整備し、快適な交通環境づくりを進めている。

＜今後の課題＞

➢人口減少、少子高齢化を見据え、地域の実情にあった、持続可能な地域公共交通ネットワークの再構築

都市像（私たちが目指すまち）5

魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち

＜8 年間の振り返り＞

◆1章　地域経済を支える産業の振興

- 36　産業振興の体制強化
- 37　企業支援
- 38　就労環境の整備

➢商工会議所や産業支援機関などの産学公連携により、産業活性化につながる取組を推進したほか、市内企業立地や中小事業者への支援を行うなど、地域産業を支える施策を推進している。

◆2 章　まちの活力を創出する産業

- 39　高度な技術の集積を活かした産業振興
- 40　新産業の創出

➢新産業創出センターを運営し、新たな製品・技術開発に向けた支援を行うほか、創業者支援や新産業分野に取り組む事業者支援を行うなど、新産業の創出・成長を図っている。

◆3 章　まちの魅力を向上させる産業

- 41　にぎわいにつながる産業の振興
- 42　地域資源を活用する産業の振興

➢「中心市街地活性化基本計画」に基づき、中心市街地の活性化を推進するほか、八王子観光コンベンション協会など関連団体と連携して、本市の魅力を市内外に発信し、観光客誘致等を図っている。また、農地再生や農業経営支援を行うなど、都市型農業の環境整備を推進している。

＜今後の課題＞

➢産業支援の基盤となる評価・分析手法の確立、観光や農業も含めた地域資源の活用、イノベーションの創出など未来への投資に向けた施策展開の検討

➢新たな生活様式に対応した効果的な観光施策や働き方の多様化に即した就労施策の展開など、社会経済状況の変化への適格な対応

➢農家の高齢化や後継者不足に伴う農地減少、遊休農地及び耕作放棄地の増加に対して、担い手の開拓や農地の有効活用について、新たな施策展開の検討

都市像（私たちが目指すまち）6

一人ひとりが育てる、人と自然が豊かにつながるまち

◆1章　一人ひとりが考え、ともに守る環境

43　環境を守るための意識の醸成
44　環境保全活動の推進

＜8年間の振り返り＞

➢環境教育・学習の充実や環境保全活動団体の活性化等により、市民一人ひとりの環境保全意識を向上させる取組を推進している。

＜今後の課題＞

➢環境保全活動や緑地の維持管理など地域と協働で取り組んでいる事業における、担い手の確保や育成支援

◆2章　環境負荷の少ないまちづくり

45　地球温暖化対策の推進
46　循環型社会の構築

＜8年間の振り返り＞

➢啓発活動の促進により CO_2 排出量削減を図るとともに、ごみの発生抑制や資源化の取組により埋立処分量ゼロを達成し、環境負荷の低減を推進している。

＜今後の課題＞

➢国の「カーボンニュートラル宣言」を受けた、「地球温暖化対策地域推進計画」の改定及び市独自の取組の構築

➢ごみ排出量削減のための更なる資源化の推進、将来における安定的かつ継続的なごみ処理体制の検討

◆3 章　自然と共生した安全で快適な環境

- 47　健全な水循環の再生
- 48　豊かなみどりの保全と活用
- 49　安全で良好な生活環境の保全

＜8 年間の振り返り＞

➢水路・雨水排水施設整備により治水・親水による水環境づくりを実施するとともに、森林・里山などのみどりの保全活用を市民・事業者等との連携により進めている。

＜今後の課題＞

➢地球温暖化等に伴う気候変動の影響による課題に向けた、関係機関と連携した対策の推進

4　施策別総括シート

（施策別総括シートの見方）

施策番号 01

第１編　みんなで担う公共と協働のまち
第１章　市民自治の推進
地域コミュニティの活性化

1　目指す姿

目指す姿	地域コミュニティ活動に幅広い世代の誰もが参加し、住民同士の交流によりつながりが育まれています。そして、地域住民が生きがいを持って活動に取り組み、自らの手で地域づくりを行っています。

2　施策の展開（取り組みと今後の課題）

（1）地域コミュニティ活動の支援

＜主な事業名・取組＞

➢町会・自治会活動支援、コミュニティ活動支援

・「町会・自治会の活動活性化の推進に関する条例」を制定（令和元年度）
・「町会・自治会等掲示板設置事業補助金」（令和元年度創設）、「町会等加入促進活動事業補助金」（令和2年度創設）など町会・自治会に対して各種補助を実施

＜今後の課題＞

・町会・自治会などの活動を継続するための支援や連携の仕組みを各団体の意見を取り入れ再構築
・地域ふれあいサロンの拡充など、コミュニティ活動の運営及び立ち上げの支援により、人が集まる機会の提供を拡大

（2）地域の人材育成

＜主な事業名・取組＞

・「はちおうじ志民塾」で地域活動の担い手を育成（平成25年度以前）

＜今後の課題＞

・高齢化による地域コミュニティ活動の担い手不足へ対応した、市民主体のまちづくりをすすめるための地域に根ざした主体的な活動を担う多様な人材の育成

（3）市民センター・拠点事務所の役割の充実

＜主な事業名・取組＞

➢コミュニティ施設管理運営

・市民センターに公衆無線LANのアクセスポイントを整備（平成28年度）
・市民センター内の施設空き状況についてホームページへの掲載開始（平成29年度～）
・市民センター施設予約抽選申込方法にＷＥＢ・ＦＡＸ方式を追加（令和2年度）

＜今後の課題＞

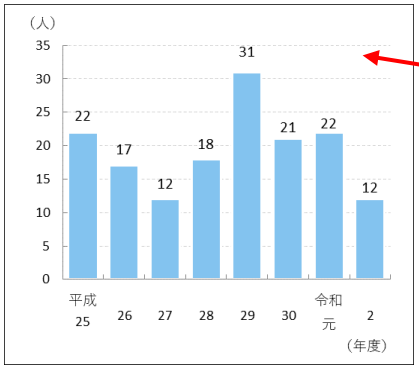
・地域コミュニティ活動の拠点である市民センターの利便性の更なる向上

3　施策に対する指標

	指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標		設定時の値	現状値	目標値（令和4年度）	目標値に対する進捗度
①	隣近所や地域と交流やつながりがあると感じている市民の割合	↑	49.3%（平成23年度）	43.0%（令和2年度）	70%	－
②	町会・自治会加入率	↑	63.2%（平成24年度）	55.6%（令和2年度）	70%	－
③	市民センターの利用率	↑	59.7%（平成28年度）	52.9%（令和2年度）	65%	－
④	地域活動に携わっている「はちおうじ志民塾」卒塾者の割合	↑	53.5%（平成28年度）	60.0%（令和2年度）	70%	39.4

■データ

「はちおうじ志民塾」受講者数



施策展開のための細施策

＜主な事業名・取組＞
「八王子ビジョン2022」がスタートした平成25年度（2013年度）から現在（令和2年度（2020年度）決算）までに実施した主な取組を記載
※事業名は細施策を構成する主な事務事業名称を記載）

＜今後の課題＞
「八王子ビジョン2022」の計画期間を振り返り、現在抱えている課題や「長期ビジョン」の策定を念頭に新たに対応する必要が生じている課題について記載

＜施策に対する指標＞
目標値に対する達成度は、「設定時の値」「現状値」「目標値」の差により算出
進捗度＝｛（現状値の値－設定時の値）/（目標値の値－設定時の値）｝×100
※現状値が設定時の値を下回っている場合は、「－」と表記している。

＜データ＞
「八王子ビジョン2022」掲載データを最新データに更新

※利用者数や参加者数などをもとにしている「施策に対する指標」及び「データ」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応により、令和2年度数値が増加又は減少して表れているものがある。

施策番号
01

第１編　みんなで担う公共と協働のまち

第１章　市民自治の推進

地域コミュニティの活性化

１　目指す姿

目指す姿	地域コミュニティ活動に幅広い世代の誰もが参加し、住民同士の交流によりつながりが育まれています。そして、地域住民が生きがいを持って活動に取り組み、自らの手で地域づくりを行っています。

２　施策の展開（取り組みと今後の課題）

(1) 地域コミュニティ活動の支援

＜主な事業名・取組＞

➢町会・自治会活動支援、コミュニティ活動支援

・「町会・自治会の活動活性化の推進に関する条例」を制定（令和元年度）
・「町会・自治会等掲示板設置事業補助金」（令和元年度創設）、「町会等加入促進活動事業補助金」（令和2年度創設）など町会・自治会に対して各種補助を実施

＜今後の課題＞

・町会・自治会などの活動を継続するための支援や連携の仕組みを各団体の意見を取り入れ再構築
・地域ふれあいサロンの拡充など、コミュニティ活動の運営及び立ち上げの支援により、人が集まる機会の提供を拡大

(2) 地域の人材育成

＜主な取組＞

・「はちおうじ志民塾」で地域活動の担い手を育成（平成25年度以前）

＜今後の課題＞

・高齢化による地域コミュニティ活動の担い手不足へ対応した、市民主体のまちづくりをすすめるための地域に根ざした主体的な活動を担う多様な人材の育成

(3) 市民センター・拠点事務所の役割の充実

＜主な事業名・取組＞

➢コミュニティ施設管理運営

・市民センターに公衆無線LANのアクセスポイントを整備（平成28年度）
・市民センター内の施設空き状況についてホームページへの掲載開始（平成29年度～）
・市民センター施設予約抽選申込方法にWEB・FAX方式を追加（令和2年度）

＜今後の課題＞

・地域コミュニティ活動の拠点である市民センターの利便性の更なる向上

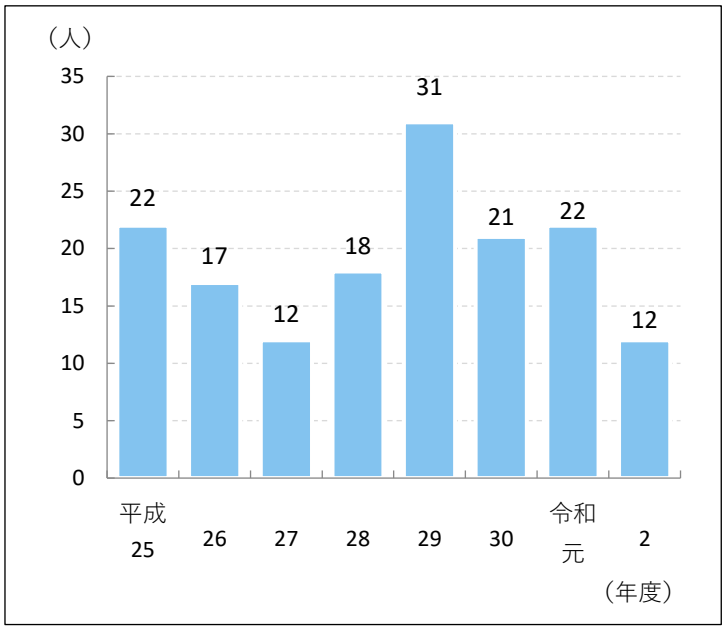
３　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 （令和4年度）	目標値に対する進捗度
①	隣近所や地域と交流やつながりがあると感じている市民の割合	↑	49.3% （平成23年度）	43.0% （令和2年度）	70%	―
②	町会・自治会加入率	↑	63.2% （平成24年度）	55.6% （令和2年度）	70%	―
③	市民センターの利用率	↑	59.7% （平成28年度）	52.9% （令和2年度）	65%	―

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 （令和4年度）	目標値に対する進捗度
④	地域活動に携わっている「はちおうじ志民塾」卒塾者の割合	↑	53.5% （平成28年度）	60.0% （令和2年度）	70%	39.4

■データ

「はちおうじ志民塾」受講者数



施策番号 02

第１編　みんなで担う公共と協働のまち

第１章　市民自治の推進

市民と行政の協働

１　目指す姿

目指す姿	市政に参加しやすい環境が十分に整備され、様々な市民や団体がそれぞれの特性を活かし、市と協働してまちづくりをすすめています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）協働のための連携推進

＜主な事業名・取組＞

➢市民活動推進

・八王子コミュニティ活動応援サイト運営システム「はちコミねっと」を運営開始(平成27年度～)
・市民活動団体の活動を支援する「人の支援（プロボノ）」を運用開始(平成29年度～)

＜今後の課題＞

・「はちコミねっと」など、市民活動や地域活動に関する情報発信の充実
・多様な市民や団体、行政が連携して、地域の課題解決などに向け、協働していく仕組みづくりが必要

（２）学園都市の特性を活かした協働

＜主な事業名・取組＞

➢学園都市づくり

・大学等と包括連携協定を締結（平成27年度～）
・「はちおうじ学園都市ビジョン」を策定（平成29年度）

＜今後の課題＞

・大学コンソーシアム八王子と連携した、市内外に向けた学園都市八王子の情報発信
・少子化や留学生の減少等による、大学等と本市との連携・協力事業に参加する学生の確保
・学園都市八王子の魅力発信やブランド力の強化

（３）市民参加の推進

＜主な事業名・取組＞

➢市民参加の推進

・広報・ホームページでのパブリックコメント案内(平成27年度～)
・無作為抽出方式による附属機関・懇談会等の市民委員等を公募（平成28年度～）

＜今後の課題＞

・若い世代や子育て世代の市民参加の推進

３　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	市民との協働による事業実施の割合	↑	75.8% （平成23年度）	71.6% （令和2年度）	85%	－
②	市民協働でまちづくりをすすめていると感じている市民の割合	↑	25.7% （平成23年度）	55.5% （令和2年度）	70%	67.3

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
③	「市民協働によるまちづくり」に参加している市民の割合	↑	10.9% （平成28年度）	7.0% （令和2年度）	15%	－
④	大学等と本市との連携・協力事業数	↑	250 件/年間 （平成28年度）	136 件/年間 （令和2年度）	328 件/年間	－

■データ

市民活動支援センターに登録している分野別団体数

分野名	分野別団体数	分野名	分野別団体数
医療・福祉	150	人権	39
高齢者	105	国際	51
障害者	103	男女共同	38
健康促進	75	子ども・教育	140
社会教育	104	情報	33
まちづくり	128	科学技術	23
観光	38	経済活動	33
農漁村の振興	23	就労	25
文化・スポーツ	165	消費者	18
環境	73	中間支援	69
防災	27	その他	60
地域安全	36	合計	1,556

令和3年（2021年）3月時点

※複数分野の活動をしている団体があるため、登録団体数（445）とは一致していません。

施策番号 03

第１編　みんなで担う公共と協働のまち

第２章　市民が納得できるサービスの提供

積極的な市政情報の発信

１　目指す姿

目指す姿	積極的に市政情報を発信し、市民と市が市政情報や政策課題を共有し、「市民との協働のまちづくり」が進んでいます。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）広報活動の充実

＜主な事業名・取組＞

➢広報活動

・Twitter・Facebook（平成25年度）、LINEによる情報発信（令和2年度)を開始
・ラジオ「広報はちおうじ」を開始（平成30年度～）
・広報紙を多言語に翻訳するアプリ「カタログポケット」を導入（令和2年度）

＜今後の課題＞

・多様なメディア媒体の活用や広報紙の電子化などによる効果的な情報発信
・各種統計データや市政資料のデジタルアーカイブ化など市政情報発信の仕組みづくり

（２）シティプロモーションの推進

＜主な事業名・取組＞

➢都市の魅力の創造・発信

・「シティプロモーション基本方針」を策定（平成27年度）
・ふるさと納税制度を活用し、本市ならではの魅力ある返礼品を贈る取組を開始（平成27年度～）
・ブランドメッセージ「あなたのみちを、あるけるまち。八王子」及びロゴマーク決定（平成30年度）

＜今後の課題＞

・ブランドメッセージを意識した全市的な取組との連動や施策展開を図るための戦略的なブランドマネジメントの実施
・ブランドマネジメントの推進により、市民のシビックプライドの醸成につながる取組が必要

（３）市政情報の適正な管理

＜主な事業名・取組＞

➢情報公開・個人情報保護制度の運営

・特定個人情報（マイナンバー）の取扱開始に伴う「個人情報保護条例」の改正（平成27年度）

＜今後の課題＞

・「個人情報の保護に関する法律」改正に対応した、個人情報保護制度の適切な運用

（４）公文書の保存・活用

＜主な事業名・取組＞

➢文書の保管保存

・「公文書の管理に関する条例」を施行（令和2年度）

＜今後の課題＞

・公文書の適正な管理及び活用の推進

３　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	市政情報が適切に分かりやすく提供されていると感じている市民の割合	↑	28.8% （平成22年度）	45.7% （令和2年度）	60%	54.2
②	八王子の魅力を積極的に友人・家族等に勧めたいと思う市民の割合	↑	50 ポイント （平成28年度）	47.9 ポイント （令和2年度）	60 ポイント	―

施策番号 04

第１編　みんなで担う公共と協働のまち

第２章　市民が納得できるサービスの提供

市民サービスの向上

１　目指す姿

目指す姿	ICTの活用などによりサービスの迅速性と利便性が高まるとともに、市民意見が市政に反映され、質の高いサービスが提供されています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）広聴の充実

＜主な事業名・取組＞

➢広聴活動

・市政モニターの募集に無作為抽出を導入（平成26年度）
・市政世論調査の回答方法に電子申請方法を追加（平成29年度～）

＜今後の課題＞

・市民の市政への関心とまちづくりへの参加意欲を高めるため、多様な広聴活動を展開

（２）窓口サービスの質の向上

＜主な事業名・取組＞

➢戸籍住民基本台帳、納付機会の拡大

・八王子駅南口総合事務所及び南大沢事務所のサービス拡充（平成26年度～）
・マイナンバー（社会保障・税番号）制度に係るシステム改修及びマイナンバーカード利用を開始（平成27年度～）
・マイナポータルによる子育てワンストップサービスを開始（平成29年度～）
・マイナンバーカードを図書館利用者カードとして利用開始（平成30年度～）

＜今後の課題＞

・マイナンバーカードの本人確認機能を活用した、行政手続の電子申請対応業務の拡充
・窓口業務等での行政手続のデジタル化を図る一方で、相談業務など一部の対面型窓口の役割も大きいことから、多様化する市民ニーズに対応できる窓口サービスを推進

（３）近隣自治体との相互サービスの推進

＜主な取組＞

・近隣自治体との図書館連携開始（平成25年度以前）
・多摩川流域に共通する課題への情報交換等を目的として近隣自治体間で多摩川流域連携会議を発足（平成25年度）
・自治体間の情報連携に係るシステム整備（平成28年度）

＜今後の課題＞

・デジタル技術の活用による、市民の利用性向上のための相互サービスの拡大

（４）電子自治体の推進

＜主な事業名・取組＞

➢ＩＣＴ活用、住民情報ネットワークシステムの運営

・転出届のインターネットによる事前予約を開始（令和2年度～）

＜今後の課題＞

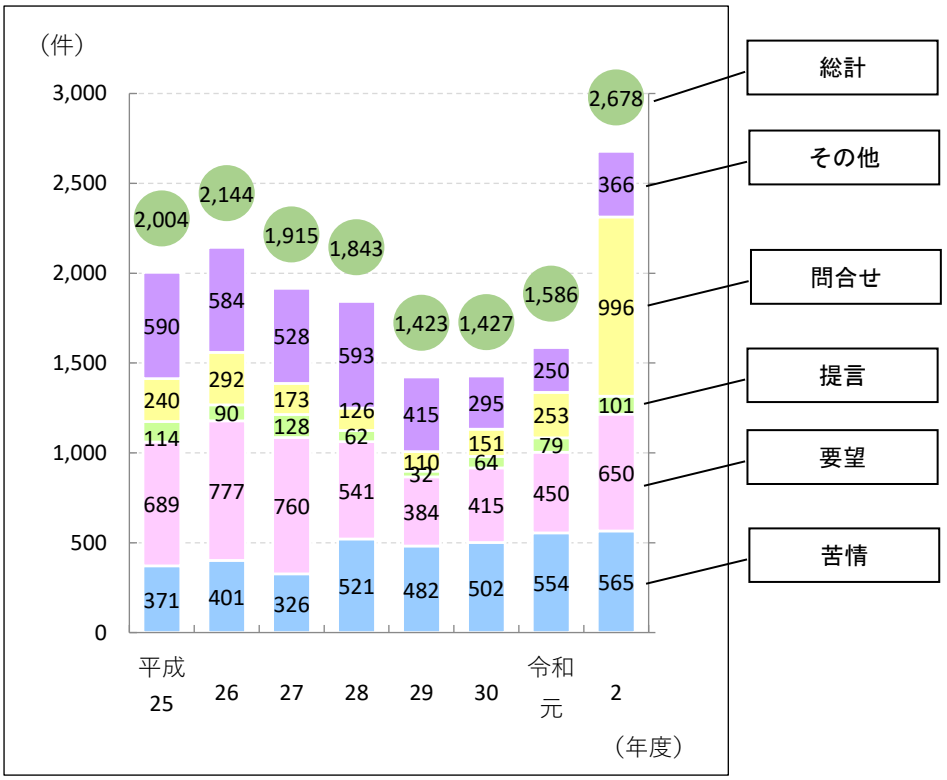
・行政手続のオンライン化の更なる推進
・ＲＰＡツール等デジタル技術の活用による内部事務の効率化

3　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	行政手続きにおいてＩＣＴが利用されている割合	↑	25.0% （平成23年度）	57.0% （令和元年度）	60%	91.4
②	窓口での手続きが分かりやすく利用しやすいと感じている市民の割合	↑	76.4% （平成23年度）	69.4% （令和2年度）	85%	―

■データ

「市民の声」受付件数



施策番号 05

第１編　みんなで担う公共と協働のまち

第３章　地方分権時代にふさわしい行財政運営の推進

地方分権の推進

１　目指す姿

目指す姿	住民に身近な基礎自治体として、地域の特性や市民ニーズを踏まえ、地域の政策課題を解決する自立した都市になっています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）分権時代に対応した政策立案機能の充実

＜主な事業名・取組＞

➢政策立案機能の充実、地域づくり推進事業

・「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定（平成27年度）
・「地域づくり推進基本方針」を策定（令和元年度）
・地域づくりの機運醸成を目的とした「中学校区別ワークショップ」を開始（令和2年度～）

＜今後の課題＞

・「まち・ひと・しごと創生総合戦略」で示した人口減少社会に向けた考え方や、これまでの地方創生の取組を活かし、将来のビジョンをデザインすることが必要
・中学校区を単位とした住民主体の地域づくりを推進するため、先行して取組むモデル地区などでの取組状況を共有しつつ、他地区へ展開
・人口減少・少子高齢社会の到来や地方分権の推進を踏まえ、戦略的かつ中長期的な政策立案機能の充実を図るための人材育成や体制の構築

（２）効果的な事務権限の移譲

＜主な事業名・取組＞

➢自治推進

・地方分権改革に関する提案募集制度を活用（平成26年度～）

＜今後の課題＞

・地方分権改革に関する提案募集制度の活用を通じた、職員の分権意識や発案力の向上
・国と地方の役割分担に応じた適切な事務や財源の配分について、継続した国への働きかけが必要

（３）大都市制度の活用

＜主な事業名・取組＞

➢中核市推進

・中核市移行（平成27年度）
・中核市移行5周年記念シンポジウム「地域とともにあるくまち。八王子」を開催（令和元年度）

＜今後の課題＞

・中核市としての権限を最大限活かした、地域の特性に合ったまちづくりの推進

３　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	地方分権改革に関する提案募集制度や国家戦略特区の提案などを行った件数	↑	7件（累計） （平成28年度）	21件（累計） （令和2年度）	20件（累計）	107.7

施策番号 06

第１編　みんなで担う公共と協働のまち

第３章　地方分権時代にふさわしい行財政運営の推進

持続可能な行財政運営

１　目指す姿

目指す姿	社会情勢の変化に対応した効果・効率的な行財政運営のもと、市民ニーズを踏まえ、基本構想・基本計画に掲げた「私たちが目指すまち」が計画的に実現されています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）計画行政の推進

＜主な事業名・取組＞

➢行財政改革の推進、長期ビジョンの策定

・「八王子ビジョン2022」基本計画を改定（平成29年度）
・「第9次行財政改革大綱」を策定（令和元年度）
・次期計画である「長期ビジョン」の策定に着手（令和2年度）

＜今後の課題＞

・人口減少や少子高齢化及び社会環境の変化に対応した持続可能な行財政運営を実現するための経営改革の実施
・「八王子ビジョン2022」の成果と課題、社会変化を踏まえ、2040年を見据えて、持続可能な行財政運営に資する次期計画として「長期ビジョン」を策定

（２）定員管理の適正化

＜主な事業名・取組＞

➢適正な定員管理

・「八王子ビジョン2022組織・定数管理基本方針」を策定（平成26年度）

＜今後の課題＞

・業務の質・量の変化に応じて、デジタル技術の活用や雇用ポートフォリオの推進、効果的なアウトソーシングを行い、職員は「公務員でなければできない仕事」に特化できるよう、適切な定員の管理

（３）リスクマネジメントの強化

＜主な事業名・取組＞

➢内部統制の強化

・「リスク管理基本方針」を策定（令和2年度）

＜今後の課題＞

・「リスク管理基本方針」に基づき、コンプライアンス意識を高め、職員一人ひとりがリスク管理に主体的に取り組み、事務の適正性を確保することで、安定した行政サービスを継続的・効率的に提供

（４）効率的な民間経営手法の活用

＜主な事業名・取組＞

・ＰＦＩ手法により総合体育館を整備し、指定管理による管理運営を開始（平成26年度～）
・「指定管理者制度ガイドライン」を策定（平成27年度）

＜今後の課題＞

・指定管理者制度やＰＦＩなどの官民連携の課題整理や検証による効果的な活用

（５）健全な財政運営

＜主な事業名・取組＞

➢新地方公会計制度の推進

・「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」における将来負担比率0%を達成（平成27年度～）
・日々仕訳による地方公会計制度を導入（平成28年度）
・地方公会計制度の事務事業評価での活用を開始、固定資産台帳の作成・公表（平成29年度～）

＜今後の課題＞

・効果効率的なマネジメントサイクルのしくみの構築

（６）財産の有効活用

＜主な事業名・取組＞

➢公共施設マネジメント

・「公共施設白書」発行・「公共施設マネジメント基本方針」を策定（平成27年度）
・「公共施設等総合管理計画」を策定（平成28年度）
・「中長期保全計画」を策定（平成29年度）
・公共施設整備保全基金を設置（平成30年度）
・「資産利活用基本方針」を策定（令和元年度）

＜今後の課題＞

・「公共施設等総合管理計画」に示した考えに基づき、学校施設を含めた公共施設マネジメントを着実に推進
・「資産利活用基本方針」に基づく、資産の利活用の更なる推進

（７）市税等の適正な賦課と徴収

＜主な事業名・取組＞

➢市税の賦課

・市税についてＡＩ-ＯＣＲやＲＰＡを活用した賦課業務を開始（令和2年度～）

＜今後の課題＞

・業務プロセスを見直し、簡素で分かりやすい評価・課税方法を確立するとともに、業務のマニュアル化や標準化の推進により、徴税コストの削減を図る。

（８）受益者負担の適正化

＜主な事業名・取組＞

➢受益者負担の適正化

・「受益者負担の適正化に関する基本方針」を策定（平成28年度）

＜今後の課題＞

・「受益者負担の適正化に関する基本方針」に基づく定期的な見直しによる、公平性・透明性の確保

３　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	全体貸借対照表における世代間の負担割合（負債と純資産の割合）	－	1：3 （平成24年度）	1：3.9 （令和2年度）	1：3	○

※令和2年度（2020年度）は、全体財務諸表の対象会計が変更になったことから、下水道事業会計における資産と負債を考慮し、指標を算出しています。

■データ

市税収入率

（%）

平成25年度 (2013)	26年度 (2014)	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	2年度 (2020)
95.8	96.4	97.0	97.2	97.7	98.3	98.7	98.7

施策番号
07

第１編　みんなで担う公共と協働のまち

第３章　地方分権時代にふさわしい行財政運営の推進

人材の育成と活用

１　目指す姿

目指す姿	人材の育成がはかられ、社会の変化に迅速に対応できる職員が、質の高い市民サービスを提供しています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）人事制度の充実

＜主な事業名・取組＞

➢人事管理

・昇任選考試験の選考基準の見直し（令和元年度）
・会計年度任用職員制度の導入（令和2年度）

＜今後の課題＞

・働きやすく活力ある職場づくりを推進することで、職員の昇任選考の受験者数や昇任に対する意欲を引き出す取組を推進
・定年延長及び役職定年制度導入により、職員のスキルを業務に生かすことができる人事制度を推進

（２）人材育成の推進

＜主な事業名・取組＞

➢職員研修、安全衛生管理

・「人財育成プラン」を策定（平成27年度）
・「人財育成プラン」の改定（令和2年度）

＜今後の課題＞

・人財育成プランに掲げるめざす職員像に向けて、より効果的・効率的な研修を実施
・各分野における専門性をもった人財及び地域づくりを推進できる人財の育成
・職員意識調査の結果をもとにした研修制度の充実

３　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	研修で学習した、知識・スキル・考え方を業務に活かすことができると実感できた職員の割合	↑	95.1% （平成28年度）	92.7% （令和2年度）	100%	－

施策番号 08

第２編　健康で笑顔あふれる、ふれあい、支えあいのまち

第１章　誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進

一人ひとりが尊重される地域社会の構築

１　目指す姿

目指す姿	平和の大切さや尊さが継承され、一人ひとりの人権が尊重されるとともに、社会の一員としてあらゆることに参加でき、誰もが安心して暮らしています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）平和・人権意識の醸成

＜主な事業名・取組＞

➢平和推進

・平和展の会場に南大沢会場を追加し3会場で実施（平成28年度～）
・平和展で私立高等学校や市内小学校と連携した学習レポート等の展示（平成29年度）
・戦跡マップを作成（平成30年度）

＜今後の課題＞

・高齢化し、減少していく戦争体験者の証言を次世代へ継承する取組の充実とともに、平和学習（啓発推進）コンテンツとしての拡充

（２）誰もが平等に安心して暮らせる社会の推進

＜主な事業名・取組＞

➢成年後見支援

・法人後見制度の運用を開始（令和2年度～）

＜今後の課題＞

・権利擁護支援が必要な人が、成年後見制度等を利用しやすい環境を整備

（３）男女共同参画社会の推進

＜主な事業名・取組＞

➢男女共同参画の推進

・男女共同参画に関する啓発講座を実施（平成25年度以前）

＜今後の課題＞

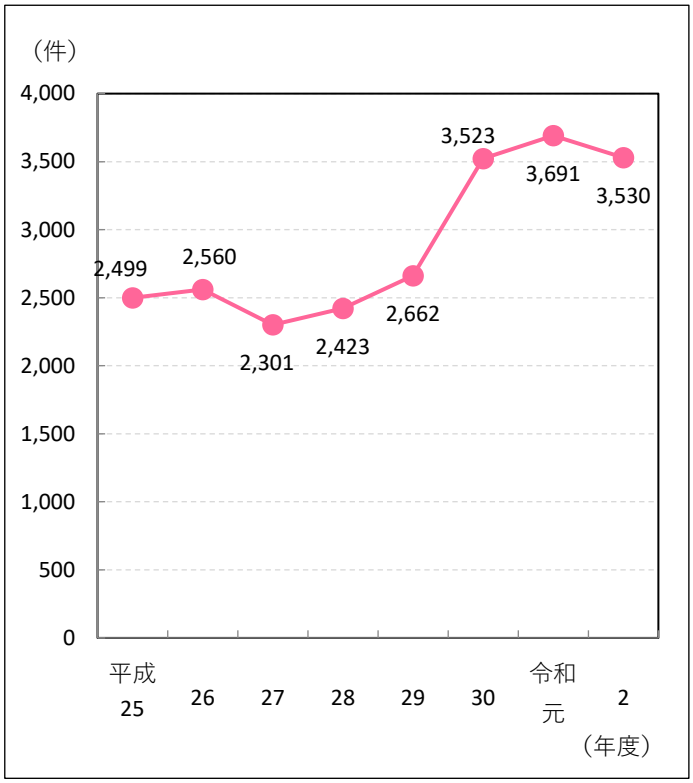
・固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）にとらわれない、誰もが自分らしく生きることのできる社会の実現
・市民・事業者・地域等との男女共同参画社会の実現に向けた連携
・多様で柔軟な働き方が可能となる職場環境の整備や、ワークライフバランスの推進

３　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	平和に関する事業への参加者数	↑	6,090 人/年 （平成24年度）	7,101 人/年 （令和2年度）	10,000 人/年	25.9
②	仕事と生活の調和（ワークライフバランス）を実現している市民の割合	↑	17.8% （平成24年度）	46.8% （令和2年度）	43%	115.1

■データ

男女共同参画センターにおける女性のための相談件数



施策番号 09

第２編　健康で笑顔あふれる、ふれあい、支えあいのまち

第１章　誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進

暮らしの相談・支援の充実

１　目指す姿

目指す姿	消費生活・法律・福祉などの市民の日常生活における相談体制や支援が充実し、誰にでも分かりやすい情報が適切に提供され、誰もが安心して暮らしています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）暮らしの相談・支援の充実

＜主な事業名・取組＞

➢生活相談、生活困窮者の自立支援、斎場運営、霊園管理

・生活困窮者自立支援法施行により自立相談支援事業等を実施（平成27年度～）
・斎場の業務日程を拡大（友引日の使用）（平成28年度～）
・家計改善支援事業を実施（平成28年度～）
・生活困窮者相談窓口の拡大（八王子駅南口総合事務所、南大沢事務所）（平成29年度～）

＜今後の課題＞

・高齢化の進行、単身世帯の増加などによる地域コミュニティの希薄化、外国人市民への対応など多様化する相談内容に応じた体制づくり
・複合化、複雑化した相談を包括的に受け止める重層的支援体制を充実

（２）誰にでも分かりやすい情報提供

＜主な取組＞

・外国人向け情報誌「Ｇｉｎｋｇｏ」の発行（平成25年度以前）
・英語・中国語による公式Facebookページを開設（令和2年度～）

＜今後の課題＞

・主要な言語を中心としてできる限り多言語化に取り組むとともに、「やさしい日本語」の普及と活用を推進するなど効果的な情報の発信

（３）安全・安心な消費生活の推進

＜主な事業名・取組＞

➢消費生活対策

・高齢者の消費者被害未然防止及び対処法等の啓発講座や見守り講座を開催（平成25年度～）
・中学生及び小学生向け消費者教育副読本の作成・配布（平成29年度～）

＜今後の課題＞

・成年年齢引下げに伴い若者の消費生活に関する意識を高める取組が必要
・デジタル化の進展や電子取引の拡大、自然災害や新型コロナウイルス感染症拡大など社会情勢の変化に対応した消費生活の啓発・教育の推進

（４）外国人市民への支援

＜主な事業名・取組＞

➢多文化共生の推進

・在住外国人サポートデスクの拡充（令和元年度）
・タブレット端末を利用したテレビ電話通訳システムを導入（令和2年度）

＜今後の課題＞

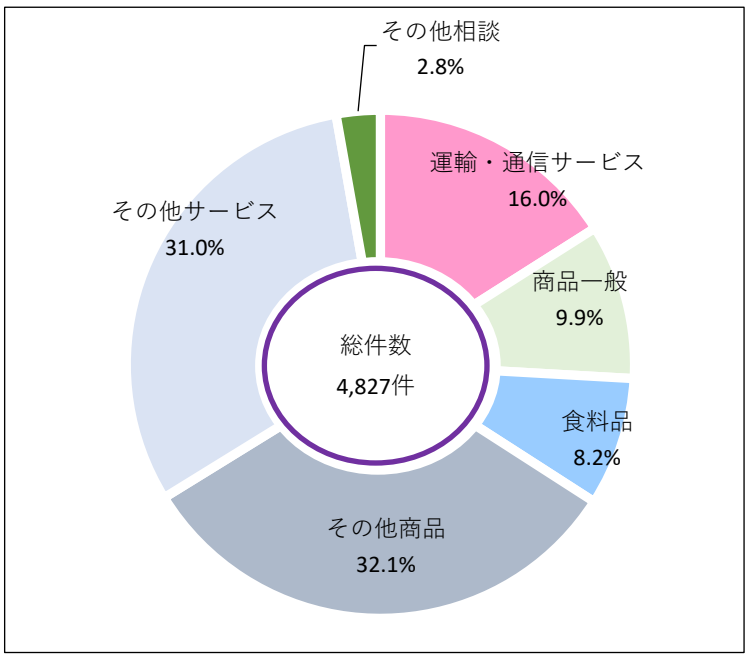
・外国人留学生全体の生活支援と地域活動への参加促進

3　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	相談の機会が充実していると感じている市民の割合	↑	51.1% （平成23年度）	51.0% （令和2年度）	60%	－
②	生活困窮者の新規相談受付件数	↑	1,140件 （平成28年度）	2,235件 （令和2年度）	1,500件	304.2

■データ

消費生活相談の内容内訳（令和2年度）



施策番号 10

第２編　健康で笑顔あふれる、ふれあい、支えあいのまち

第１章　誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進

社会保障制度の適正な運用

１　目指す姿

目指す姿	社会保障制度が理解され、健全に運営されることにより、市民が安心して暮らしています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）介護保険

＜主な取組＞

・介護保険制度の安定性・持続可能性の確保
・自立支援・重度化防止に向けた介護予防・健康づくり等の取組の推進

＜今後の課題＞

・地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステム構築の推進
・介護人材の確保・定着・育成の取組を進めるとともにＩＣＴの活用やデジタル化を推進

（２）高齢者の医療制度

＜主な取組＞

・東京都後期高齢者医療広域連合と連携した事務の実施

＜今後の課題＞

・医療費の適正化及び健康寿命の延伸に繋がる効果的な保健事業の展開

（３）国民健康保険

＜主な取組＞

・適正受診・服薬推進事業などによる医療費適正化の推進
・国民健康保険運営の広域化（平成30年度）

＜今後の課題＞

・一般会計からの決算補填等目的の法定外繰入金の解消
・医療費の適正化及び健康寿命の延伸に繋がる効果的な保健事業の展開

（４）国民年金

＜主な取組＞

➢国民年金事務

・国と協力・連携した、適正かつ円滑な事務の実施

＜今後の課題＞

・被保険者の身近な窓口として、障害年金等に係るきめ細かな相談の継続実施

（５）生活保護

＜主な事業名・取組＞

➢生活保護法による扶助、セーフティネット支援対策等実施推進

・就労準備支援事業を開始（平成27年度～）
・生活保護被保護者の金銭管理支援を開始（平成28年度～）
・生活保護被保護者の家計相談支援を開始（令和元年度～）

＜今後の課題＞

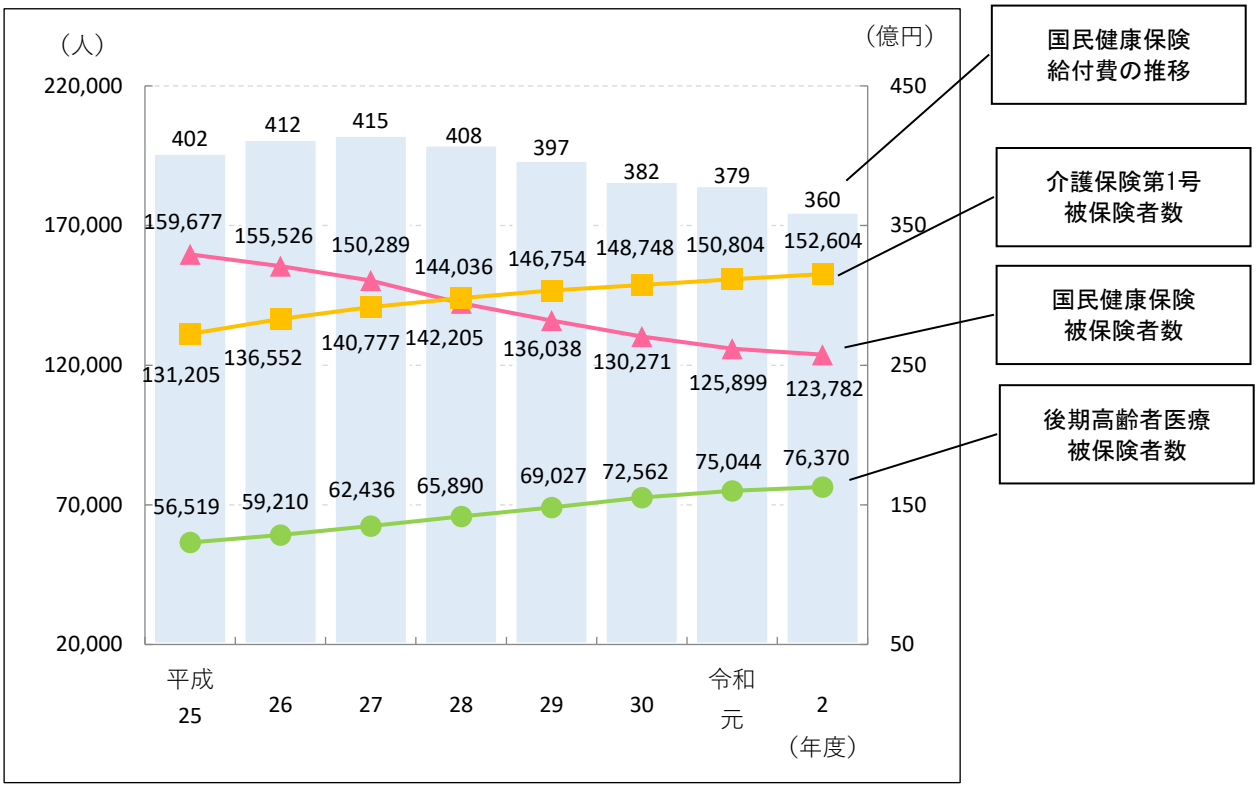
・就労支援事業による就労率向上

3　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	就労による保護廃止世帯数	↑	149 世帯/年 （平成28年度）	73 世帯/年 （令和2年度）	150 世帯/年	－

■データ

各被保険者数と国民健康保険給付費



施策番号 11

第２編　健康で笑顔あふれる、ふれあい、支えあいのまち

第２章　誰もが生きがいを持ち安心できる地域づくり

人とひととが支えあう地域福祉の推進

１　目指す姿

目指す姿	地域の幅広い世代の様々な人々が交流し、人とひととのつながりが育まれています。地域で支えあう地域福祉が浸透し、高齢者をはじめとした誰もが社会の一員として活き活きと安心して暮らしています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）地域で支えあう意識の醸成と参加のきっかけづくり

＜主な事業名・取組＞

➢社会福祉審議会の運営

・社会福祉審議会を設置（平成27年度）

＜今後の課題＞

・地域づくりを推進することで、様々な人の交流や支えあいの意識を醸成

（２）地域で支えあう人材の育成・支援

＜主な事業名・取組＞

➢社会福祉委員等の活動

・民生委員・児童委員のPR活動の実施（平成25年度以前）

＜今後の課題＞

・身近な相談相手となり、市民と行政機関等とをつなぐ民生委員・児童委員など、地域での支えあいの核となる担い手の確保が必要

（３）地域で支えあう仕組みの充実

＜主な事業名・取組＞

➢地域福祉計画の推進、社会福祉協議会補助金、社会参加と生きがいづくり

・地域福祉推進拠点の整備（平成26年度～）
・高齢者ボランティア・ポイント制度における表彰制度の新設（平成30年度）
・包括的な地域福祉ネットワーク会議を設置（令和元年度）

＜今後の課題＞

・ひきこもり、8050問題、ヤングケアラーなど地域での複雑・困難化する課題に対して、重層的な支援によるしくみを充実
・ｗｉｔｈコロナ時代の社会参加を通した生きがいづくりを更に推進するため、ボランティア・ポイント手帳の電子化などデジタル技術を活用
・新型コロナウイルス感染症の影響により、地域での交流の場の減少やボランティア活動の休止が続いており、地域活動における新たな仕組みの構築

３　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	地域での交流や活動を通して生きがいを感じている高齢者の割合	↑	43.3% （平成23年度）	46.1% （令和2年度）	60%	16.8
②	近所に相談相手がいる市民の割合	↑	16.7% （平成23年度）	15.1% （令和2年度）	30%	－
③	高齢者ボランティア・ポイント制度登録者数	↑	2,288人 （平成28年度）	2,616人 （令和2年度）	3,600人	25.0

施策番号
12

第２編　健康で笑顔あふれる、ふれあい、支えあいのまち

第２章　誰もが生きがいを持ち安心できる地域づくり

障害者への支援

１　目指す姿

目指す姿	障害者とその家族を支援する体制が充実し、地域住民と障害者がともに支えあいながら住み慣れた地域で活き活きと暮らしています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）自立支援の充実

＜主な事業名・取組＞

➢障害者自立支援、相談・情報提供、障害児支援

・障害者就労・生活支援センターの相談体制強化（平成27年度）
・障害者地域生活拠点事業を実施（平成28年度～）
・障害のある人を理解するためのガイドブック「みんなちがってみんないい（小学生版）」を作成（平成28年度）
・「障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例」を改正（平成28年度・令和2年度）
・児童発達支援センター整備の補助（平成29年度）

＜今後の課題＞

・「障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例」に基づき、障害者への差別や偏見を解消するため、障害者サポーター養成講座等により、継続した周知・啓発の取組が必要
・障害者の高齢化や障害の重度化などに関わらず、障害者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域生活の充実など更なる支援が必要

（２）社会参加の促進

＜主な事業名・取組＞

➢社会参加の促進、身体障害者手帳の交付

・市内障害者施設の製品やサービスを取りまとめた「しごとカタログ」を市内企業等に配布（平成27年度）
・障害者支援企業等表彰制度を創設（平成28年度）
・地域生活支援事業における移動支援の対象を中学生まで拡大（令和元年度）
・身体障害者手帳にカード様式を追加（令和2年度～）

＜今後の課題＞

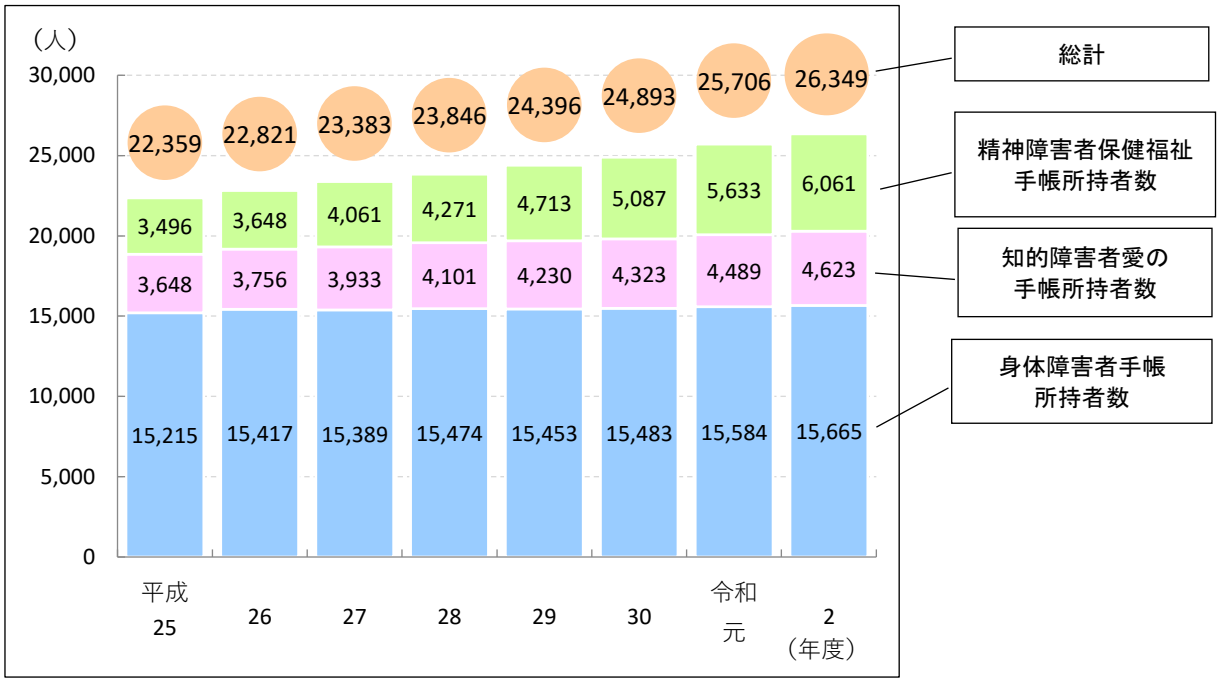
・障害特性に応じた活躍の場を創出し、生きがいづくりや就労支援などの障害者の社会参加の促進

３　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	障害者に対して理解や配慮をしている市民の割合	↑	27.0% （平成22年度）	66.7% （令和2年度）	80%	74.9
②	障害者が外出した際の満足度	↑	69.6% （平成23年度）	72.4% （令和2年度）	80%	26.9

■データ

障害種別ごとの障害者数



施策番号
13

第２編　健康で笑顔あふれる、ふれあい、支えあいのまち

第２章　誰もが生きがいを持ち安心できる地域づくり

高齢者への支援

１　目指す姿

目指す姿	支援を必要とする高齢者とその家族が保健・医療・福祉などの関係機関の連携のもと、住み慣れた地域で健康で安心して暮らし続けています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）地域で自分らしく安心して暮らすための支援の充実

＜主な事業名・取組＞

➢介護保険事業、介護予防・生活支援サービス、一般介護予防、包括的支援事業

・認知症初期集中支援事業を開始（平成28年度～）

＜今後の課題＞

・介護予防や健康づくりの推進（健康寿命の延伸）、保険者機能の強化、地域包括ケアシステムの推進、認知症施策の総合的推進など、超高齢社会を見据えた、持続可能な制度の構築

（２）在宅・施設サービスの充実

＜主な事業名・取組＞

➢人材の確保・定着・育成、高齢者在宅生活支援サービス、介護保険施設等の整備促進

・介護人材の確保・定着・育成研修を実施（平成25年度～）

・高齢者見守り相談窓口を開設（平成25～29年度）

・高齢者あんしん相談センターの整備・移転（平成28年度～）

・在宅医療相談窓口を設置（平成28年度）

＜今後の課題＞

・地域包括ケアシステムを強化するため、高齢者あんしん相談センターについて、市民の利便性と認知度向上のための事業展開が必要

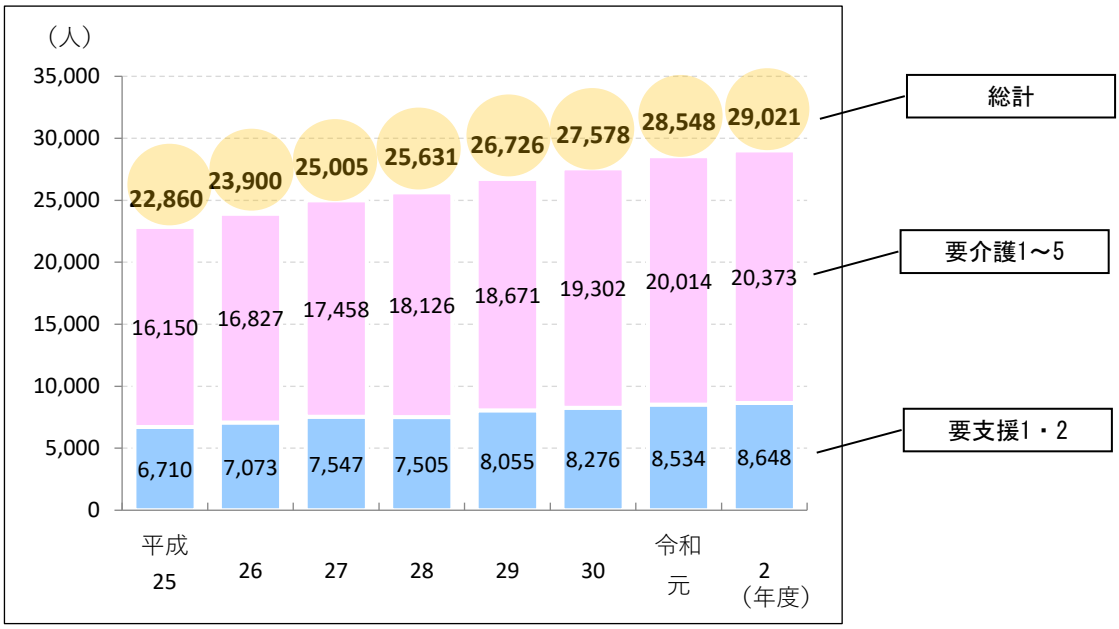
・介護や療養が必要となっても住み慣れた地域で最期まで生活できるよう、在宅医療を支える体制強化が必要

３　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	介護保険サービス利用者の満足度	↑	82.8% （平成23年度）	81.2% （令和元年度）	85%以上	－
②	高齢者あんしん相談センターの認知度	↑	36.4% （平成23年度）	50.7% （令和2年度）	80%	32.8
③	高齢者あんしん相談センターに寄せられた相談件数	↑	74,414件 （平成28年度）	105,042件 （令和2年度）	100,000件	119.7

■データ

要支援・要介護認定者数



施策番号 14

第２編　健康で笑顔あふれる、ふれあい、支えあいのまち

第３章　保健医療の充実

健康の維持・増進

１　目指す姿

目指す姿	健康であることの大切さを誰もが意識し、子どもの頃から生涯を通じて自ら健康づくりに取り組むことで、健康で安心して暮らしています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）健康づくりの推進

＜主な事業名・取組＞

➢いきいき健康づくり、食育の推進、受動喫煙対策の推進

・健康づくりサポーター制度を開始（平成27年度～）
・大学と連携した健康づくり・食育の推進事業を開始（令和元年度～）
・受動喫煙防止のため市施設に屋外喫煙所を整備（令和元年度）

＜今後の課題＞

・健康づくりサポーターの養成や支援、大学等との連携により、地域での健康づくりを推進できる人材の確保
・個人の健康づくりを支える仕組みづくりとして、市民活動団体、民間事業者との協働により、対象者の健康関心度に合わせた、適切な情報発信の仕組みづくり

（２）疾病予防対策の推進

＜主な事業名・取組＞

➢予防接種、健診・検診の推進、特定健康診査・特定保健指導・健康診査、生活習慣病重症化予防

・定期予防接種における南多摩5市の医療機関で受けられる相互乗り入れを開始（平成27年度～）
・大腸がん検診受診率・精密検査受診率向上における成果報酬型官民連携モデル事業（SIB）を実施（平成29～令和元年度）

＜今後の課題＞

・市民の健康寿命延伸のため、がん検診事業における受診率向上による成果連動型委託契約の活用可能性の検討
・各種データを分析し、効果的な受診勧奨による、特定健康診査の受診率向上
・年齢別受診率から対象者を見直し、より効果的な受診勧奨による、歯と口腔・歯周病検診率向上

（３）母子保健の充実

＜主な事業名・取組＞

➢母子保健

・八王子版ネウボラ（妊婦面談の実施）を開始（平成28年度～）
・子育て世代包括支援センターを市内6か所の子ども家庭支援センターと3か所の保健福祉センターに設置（平成29年度）

＜今後の課題＞

・妊婦面談の機会を確保するため、普及啓発と共にオンライン面談を導入するなど、八王子版ネウボラ（妊娠期からの切れ目のない支援）の充実
・妊婦歯科健診は就労している妊婦も多く、また新型コロナウイルス拡大の影響もあり受診率が低いことから、受診しやすい仕組みを構築

３　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	健康維持・増進を心掛けている市民の割合	↑	85.5% （平成23年度）	89.2% （令和2年度）	95%	38.9
②	特定健康診査受診率	↑	45.9% （平成23年度）	39.6% （令和2年度）	60%以上	－
③	健康づくりサポーター登録者数	↑	64名 （平成28年度）	137名 （令和2年度）	120名	130.4
④	妊婦面談率	↑	66.1% （平成28年度）	95.7% （令和2年度）	100%	87.3

施策番号 15

第２編　健康で笑顔あふれる、ふれあい、支えあいのまち

第３章　保健医療の充実

保健衛生の充実

１　目指す姿

目指す姿	地域に密着した保健サービスが提供され、専門性の高い保健対策や公衆衛生の向上がはかられることで、誰もが安心して暮らしています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）専門性の高い保健対策の推進

＜主な事業名・取組＞

➢精神保健対策、感染症対策

・「自殺対策計画」を策定し（平成30年度）、身近なゲートキーパー養成講習等を実施（令和元年度）

・新型コロナウイルス感染症対策を実施（令和2年度）

＜今後の課題＞

・健康危機管理への迅速な対応を行うため、感染症や予防対策に対する知識、技術の向上など専門性を高めた人材の確保及び育成

・新たな感染症に備えるための組織体制強化や東京都や近隣市などとの広域連携体制の強化

（２）生活衛生の充実

＜主な事業名・取組＞

➢生活衛生に関する監視と指導、狂犬病予防及び動物愛護・管理

・「動物の愛護及び管理に関する条例」を制定（平成27年度）

・ＨＡＣＣＰ（ハサップ：危害要因分析重要管理点）による衛生管理の制度化（平成30年度）

＜今後の課題＞

・食品衛生法改正によりＨＡＣＣＰによる衛生管理、食品ごとの特性や事業者の状況等を踏まえ、業態別の講習会開催や監視指導等を通じた普及啓発による食中毒発生の防止

・人と動物との調和のとれた共生社会の実現を図るため、産官学民が連携して取組できる動物行政の拠点の確保

（３）保健行政の推進

＜主な事業名・取組＞

➢保健所管理運営

・「保健医療計画」を策定（平成29年度）

＜今後の課題＞

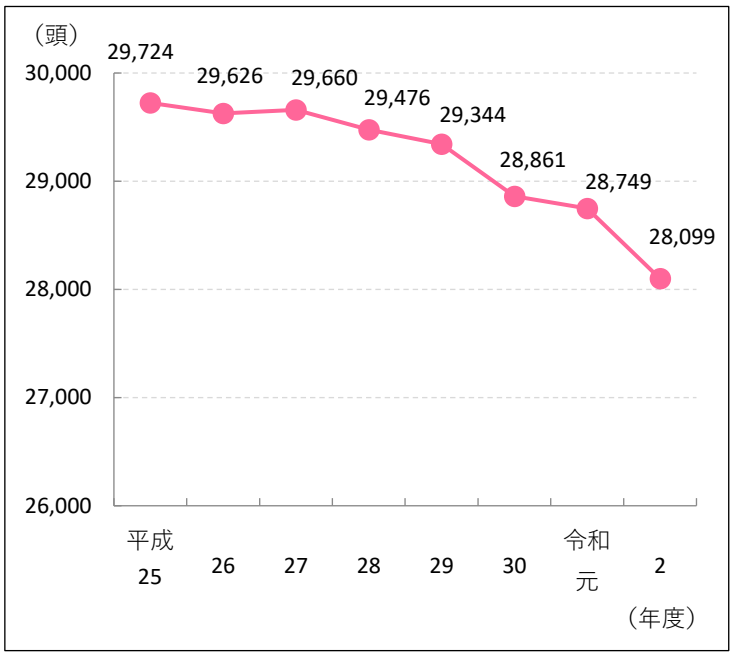
・東京都立多摩産業交流センターの複合施設として八王子保健所を整備するとともに、保健所と各保健福祉センターの役割を整理した、地域医療との連携強化

３　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	結核罹患率	↓	16.2人/10万人・年 （平成23年度）	7.8人/10万人・年 （令和2年度）	9.9人/10万人・年	133.3
②	食中毒発生件数	↓	3件/年 （平成23年度）	5件/年 （令和2年度）	0件/年	－

■データ

犬の登録数


（頭）
30,000
29,000
28,000
27,000
26,000
29,724
29,626
29,660
29,476
29,344
28,861
28,749
28,099
平成
25
26
27
28
29
30
令和
元
2
（年度）

施策番号 16

第２編　健康で笑顔あふれる、ふれあい、支えあいのまち

第３章　保健医療の充実

地域医療の充実

１　目指す姿

目指す姿	ライフステージごとの必要な医療サービスと医療・介護・リハビリの一貫した体制が整い、医療への不安が解消され、住み慣れた地域で誰もが安心して暮らしています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）地域医療体制の充実

＜主な事業名・取組＞

➢地域医療体制整備、看護専門学校運営

・医療安全支援センターを設置（平成24年度）
・口腔保健支援センターを設置（平成28年度）
・市立看護専門学校生への在学費の一部を助成（平成29年度）
・障害者歯科診療所の診療日を拡充（平成30年度）
・高等教育の修学支援制度を導入（令和2年度）

➢新型コロナウイルス感染症対策

八王子市医師会や医療機関と連携(令和2年度)

・コロナ患者市内宿泊療養施設運営（都と共同）
・PCR外来設置
・感染症対策専門家によるWEBセミナー開催
・市内医療機関との地域連携WEB会議開催
・医療機関への助成金等支給

＜今後の課題＞

・「医療連携ネットワーク事業実施協定」に基づく医師会との連携強化による、かかりつけ医を持つことの意義を普及・啓発
・増加する高齢者に対応できる地域医療体制を整備

（２）救急医療の充実

＜主な事業名・取組＞

➢救急医療、自動体外式除細動器（ＡＥＤ）配備

・ＡＥＤ空白地域へのＡＥＤ配備を開始（令和2年度～）

＜今後の課題＞

・本市を含む多摩西南部地域における小児医療体制の維持・充実

（３）在宅医療と介護の連携

＜主な事業名・取組＞

・在宅医療相談窓口を設置（平成28年度）
・在宅療養患者搬送事業費及び在宅医療支援システム運営費に係る補助金を創設（平成29年度）

＜今後の課題＞

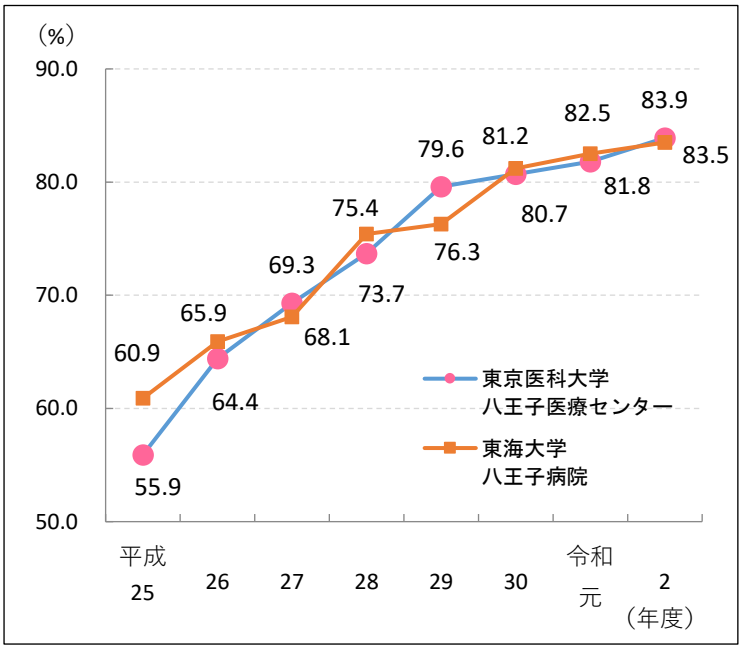
・住み慣れた地域で最期まで安心して暮らせるよう、介護との連携を推進し、在宅医療・介護を支える体制を強化

3　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	かかりつけ医を決めている市民の割合	↑	75.3% （平成23年度）	81.6% （令和2年度）	85%	64.9
②	中核病院新規外来患者数における紹介率	↑	74.6% （平成28年度）	87.7% （令和2年度）	80%	242.6

■データ

中核病院におけるかかりつけ医からの紹介者の受入れ率



施策番号
17

第３編　活き活きと子どもが育ち、学びが豊かな心を育むまち

第 1章　全ての子どもが健やかに育つ地域づくり

子育て・子育ち支援の充実

１　目指す姿

目指す姿	安心して子どもを生み、育てやすい子育て・子育ちの支援体制が整っており、子どもとその家族が活き活きと暮らしています。未来を担う子どもたちが尊重され、心身ともに健やかに大人へと成長していきます。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）子育て支援

＜主な事業名・取組＞

➢保育サービスの推進、子育てプロモーションの推進、ひとり親家庭の自立促進

・保育所、学童保育所の整備促進（平成25年度以前）
・子育て情報モバイルサイト「はち☆ベビ」を開設（平成26年度）
・母子家庭等就業・自立支援センター事業を開始（平成27年度～）
・市役所本庁舎内へ保育園設置（平成28年度）
・「子ども・若者育成支援計画」を策定（令和元年度）

＜今後の課題＞

・子育て支援が必要な方に、適切な情報を届けるため、SNSなど様々な媒体を活用した情報発信に努めるとともに、市外の子育て世帯に対しても、子育てプロモーションを推進
・ひとり親世帯に対して、コロナ禍における新しい生活様式を踏まえた就業支援、生活支援等の充実
・保育施設及び学童保育所の待機児童を解消するため、地域ごとの保育需要の把握を行い、定員の弾力的な運用や、利用者への支援を充実
・すべての児童の安全・安心な放課後の居場所を確保するとともに、多様な活動の場に参加できるよう、学童保育所と放課後子ども教室の一体的な実施を推進
・子どもを持ちたいという希望が叶う社会や環境整備を推進

（２）子育ち支援

＜主な事業名・取組＞

➢幼児教育・保育センターの運営、若者問題対策

・八王子版ネウボラを開始（平成28年度～）
・「いじめを許さないまち八王子条例」を制定（平成28年度）
・「幼児教育・保育センター」を開設（令和2年度）
・「若者総合相談センター」開設（令和2年度）

＜今後の課題＞

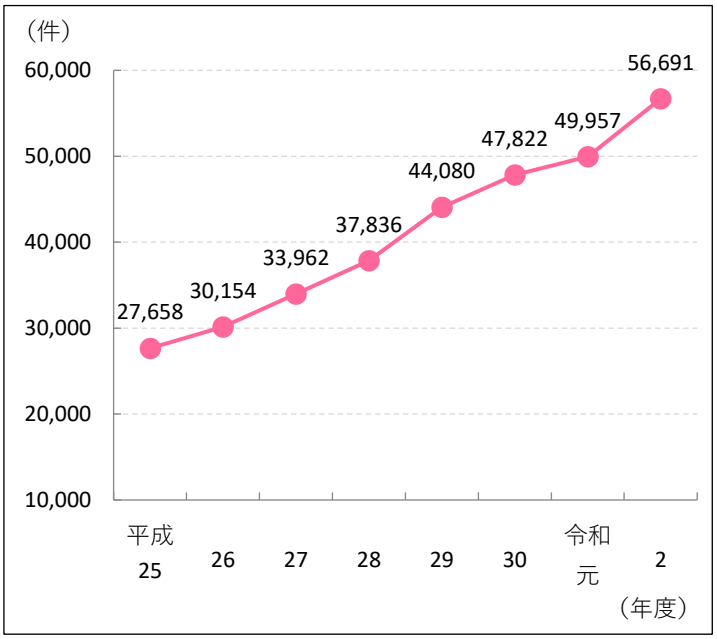
・若者の社会的自立を図るため、若者総合相談センターと、八王子若者サポートステーションをはじめとした他の支援機関との連携による地域としての支援力向上
・幼児期における教育・保育の質の向上を推進するとともに、一人ひとりの発達の特性に応じた育ちを支援する八王子版ネウボラのさらなる推進

３　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	安心して子育てができていると感じている市民の割合	↑	19.5% （平成22年度）	55.7% （令和2年度）	60%	89.4

■データ

子育ての悩みに関する相談件数



施策番号 18

第３編　活き活きと子どもが育ち、学びが豊かな心を育むまち

第１章　全ての子どもが健やかに育つ地域づくり

地域で子どもを育てる環境づくり

１　目指す姿

目指す姿	安心して子育てができるよう、地域全体で子育て家庭や子どもの育ちを支えています。子どもたちは地域の一員として様々な人とかかわりながら、多様な価値観を学び大人へと成長していきます。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）親や子どもが育つ場の充実

＜主な事業名・取組＞

➢放課後子ども教室、子育て親子支援

・子ども会の新設を支援（平成27年度～）
・赤ちゃんふれあい事業を開始（平成28年度～）

＜今後の課題＞

・赤ちゃんふれあい事業や子ども食堂等の取組の推進による、子どもたちが幅広い世代とふれ合える機会と居場所の拡大
・新たな生活様式に対応した、子育て支援に関する地域活動や団体活動等のオンライン等の実施手法の充実
・すべての児童の安全・安心な放課後の居場所を確保するとともに、多様な活動の場に参加できるよう、学童保育所と放課後子ども教室の一体的又は連携した実施を推進

（２）地域のネットワークづくり

＜主な事業名・取組＞

➢地域の子育て支援ネットワーク

・地域で子どもを育む団体を支援（平成30年度～）
・子ども食堂の運営を支援（令和元年度～）

＜今後の課題＞

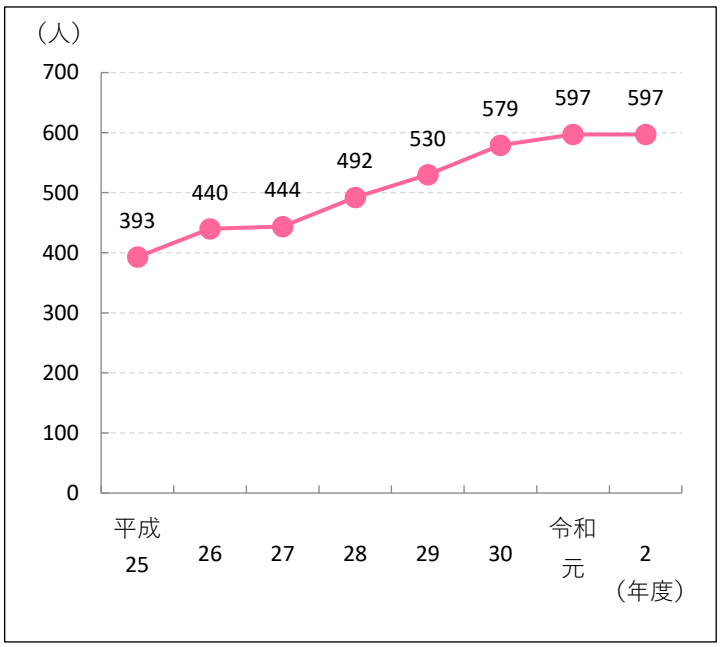
・行政や地域、団体が取り組む支援内容の積極的な発信
・地域で子育て・子育ちを支えたいと考える市民やＮＰＯ、企業、大学などの活動を充実させるため、人材の発掘・育成、連携活動支援など新たな仕組みが必要

３　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	子どもたちが地域の人に見守られながら成長していると感じている市民の割合	↑	32.7% （平成22年度）	48.3% （令和2年度）	60%	57.1
②	子育て応援団Beeネットの登録者数	↑	377人 （累計） （平成23年度）	597人 （累計） （令和2年度）	570人 （累計）	114.0
③	子ども家庭支援ネットワーク中学校区分科会の開催校数	↑	22校 （平成28年度）	19校 （令和2年度）	37校 （全校区）	－

■データ

子育て応援団Beeネット登録者数



施策番号 19

第３編　活き活きと子どもが育ち、学びが豊かな心を育むまち

第２章　未来をひらく子どもを育てる教育

生きる力を育む学校教育

１　目指す姿

目指す姿	「確かな学力」、「豊かな人間性や社会性」、「健康や体力」を育むとともに、それらを支える「食」に関する教育が推進され、子どもたちが意欲を持って学び活き活きと成長しています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）学ぶ意欲と確かな学力を育む教育

＜主な事業名・取組＞

➢学力向上、国際理解教育の推進、教員の資質向上

・外国語指導助手の配置時間数を拡大（平成28年度）
・アシスタントティーチャーの配置人数を増員(平成29年度)
・多言語対応双方向通訳デバイスを導入(令和元年度)
・プログラミング教育を推進（令和2年度～）
・児童・生徒1人1台の学習用コンピュータの配備（令和2年度）

＜今後の課題＞

・八王子市版GIGAスクール構想に基づき、1人1台の学習用コンピュータを活用し個別最適化された学習機会を提供することによる学力向上に向けた取組の推進
・児童・生徒の発達段階に応じたきめ細かい指導を行うための、市内全校における小中一貫教育・義務教育学校の推進

（２）豊かな人間性・社会性を育む教育

＜主な事業名・取組＞

➢奨学金の支給、給食センターの整備、いじめ防止対策、がん教育の推進

・「いじめを許さないまち八王子条例」を制定(平成28年度)
・「いじめの防止等に関する基本的な方針」を策定(平成29年度)
・給食センター方式による中学校給食を提供開始（令和2年度～）

＜今後の課題＞

・望ましい食習慣を確立するための中学校給食をセンター方式により充実、地場食材を活用した魅力ある学校給食の充実及び食育の推進
・児童・生徒が社会の一員として自立できるよう、市内企業や高校、特別支援学校等の関係機関と連携し、キャリア教育を推進
・いじめ防止の総合対策を効果的に進める仕組みの構築

（３）一人ひとりのニーズに応じた教育

＜主な事業名・取組＞

➢登校支援ネットワークの整備、家庭との連携

・八王子市総合教育会議を開催（平成27年度）
・スクールソーシャルワーカーの配置数の増員（平成29・令和元・令和2年度）
・学校心理士スーパーバイザーによる相談体制を構築（令和元年度）
・スクールロイヤーの配置（令和元年度）

＜今後の課題＞

・学校が組織的に不登校やいじめ防止対策に対応する、解決に向けた実行力のある取組の検討
・学校・家庭・地域が連携して、児童・生徒を支える仕組みの検討

（４）特別支援教育の充実

＜主な事業名・取組＞

➢特別支援教育

・特別支援教室を全小・中学校に配置（平成30・令和2年度）

＜今後の課題＞

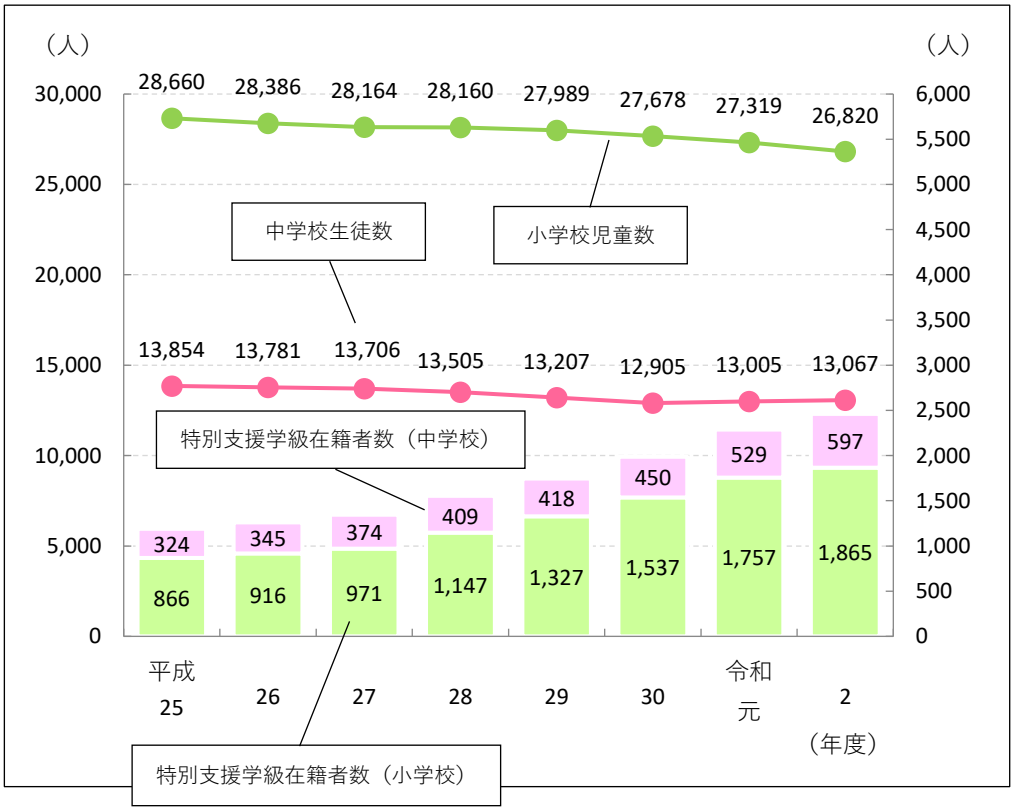
・特別支援教育の推進と通常学級に在籍している児童・生徒1人ひとりの状態に応じた配慮に基づく授業の組み立て

３　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	意欲を持って授業に臨んでいる児童・生徒の割合	↑	80.7% （平成22年度）	86.6% （令和2年度）	95%	41.3
②	不登校児童・生徒数及び出現率	↓	498人/年 (1.2%) （平成28年度）	1,147人/年 (2.87%) （令和2年度）	340人/年 (0.85%)	－

■データ

小・中学校の児童・生徒数と特別支援学級の児童・生徒数



施策番号 20

第３編　活き活きと子どもが育ち、学びが豊かな心を育むまち

第２章　未来をひらく子どもを育てる教育

地域とつながる学校づくり

１　目指す姿

目指す姿	学校と地域が一体となって地域の子どもたちを育んでいます。また、学校づくりにかかわることで、大人たちのつながりが生まれ、住民が地域づくりの担い手として活躍しています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）地域の力を活かした学校づくり

＜主な事業名・取組＞

➢子どもの安全対策、地域運営学校の推進

・スクールガード・リーダーによる巡回指導（平成25年度以前）
・教育支援人材バンク学校事務局を全校設置（平成29年度）
・全小中学校で校門への防犯カメラ設置完了（平成30年度）
・学校運営協議会を全校設置（令和元年度）

＜今後の課題＞

・地域住民をはじめ、企業、大学、NPOなど各種団体と連携し、教育効果が期待できる取組を推進
・学校運営協議会の機能を強化するための、担い手の確保及び各学校間の情報共有
・地域に開かれ、地域の特性を高める学校づくりを担う人材の発掘・育成

（２）地域の力を高める学校づくり

＜主な事業名・取組＞

➢家庭教育支援活動の推進

・学校と地域が連携した防災訓練を実施（平成25年度以前）

＜今後の課題＞

・学校を地域の拠点としていくため、学校で行う災害時の避難所運営訓練や防災訓練など、学校と地域が一体となって実施する取組の拡充

３　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	学校と地域が協力して子どもを育てていると感じている市民の割合	↑	39.1% （平成28年度）	42.0% （令和2年度）	60%	13.9
②	学校と地域が連携して行う取組の数	↑	29,481 回/年 （平成23年度）	32,562 回/年 （令和2年度）	62,700 回/年	9.3

■データ

地域運営学校数（学校運営協議会設置校数）

（校）

区　分	平成25年度 (2013)	26年度 (2014)	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	2年度 (2020)
小学校	21	26	30	36	57	65	70	69
中学校	16	18	20	20	31	35	38	37
義務教育学校								1
総計	37	44	50	56	88	100	108	107

施策番号 21

第３編　活き活きと子どもが育ち、学びが豊かな心を育むまち

第２章　未来をひらく子どもを育てる教育

学びやすい教育環境づくり

１　目指す姿

目指す姿	児童・生徒が良好な学習環境で学んでいます。また、教員の指導環境が向上し、教員が児童・生徒一人ひとりに向き合い、教育環境が充実しています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）豊かな学びに資する教育環境の充実

＜主な事業名・取組＞

➢学校施設の営繕工事、学校図書館サポート、部活動の推進

・「学校図書館サポートセンター」を設置（平成27年度）
・部活動指導員を配置（平成30年度）
・全小中学校の書画カメラ・プロジェクタを更新（令和2年度）

＜今後の課題＞

・学校司書や部活動指導員の取組状況を検証し、外部人材の更なる活用を検討
・地域づくり推進事業と連携しモデル地区における学校施設をはじめとした公共施設の再編を検討
・少子化の影響を踏まえた通学区域の見直しや学校再編を検討

（２）教育指導環境の整備

＜主な事業名・取組＞

➢教員研修・教員の資質向上

・中核市として本市の特色を活かした教員研修を実施（平成27年度～）
・「八王子市教員育成研修基本方針」を策定（平成27年度）
・教員の児童・生徒と向き合う時間の確保のため校務支援システムを導入（平成28年度）
・「八王子市立小・中学校における働き方改革推進プラン」を策定（平成30年度）

＜今後の課題＞

・教員が児童・生徒に向き合う時間を確保するため、さまざまな角度からの負担軽減策を検討

（３）学校のＩＣＴ化の推進

＜主な事業名・取組＞

➢情報教育の基盤整備

・「第２次教育情報化推進プラン」を策定（平成29年度）
・GIGAスクール構想による児童・生徒1人1台の学習用コンピュータの配備及び校内通信ネットワークの整備を完了（令和2年度）

＜今後の課題＞

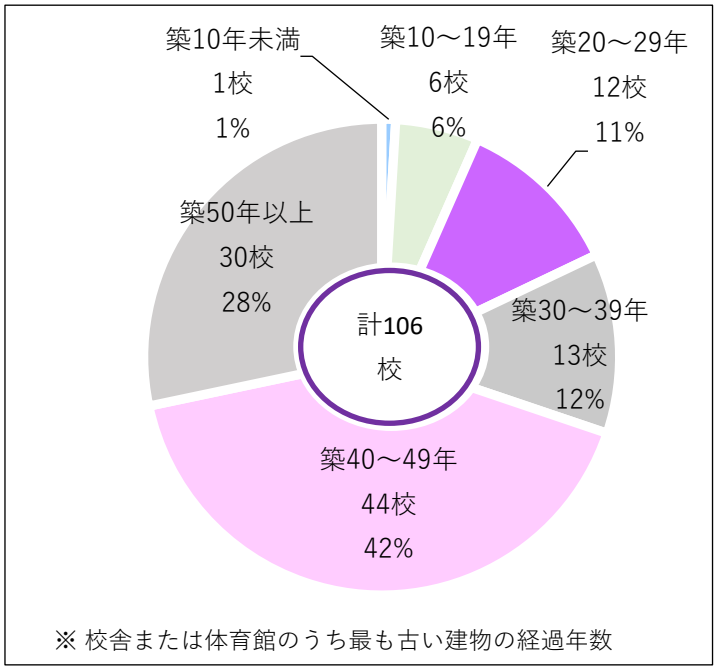
・GIGAスクール構想に基づき配備した児童・生徒1人1台の学習用コンピュータを活用し、オンライン授業、家庭学習、教育相談などの取組を充実
・教員のICT活用指導力の向上

3　施策に対する指標

	指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標		設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	子どもたちに対し適切に教育できる環境となっていると感じている保護者の割合	↑	76.4% （平成23年度）	78.0% （令和2年度）	90%	11.8

■データ

経年別学校数



※ 校舎または体育館のうち最も古い建物の経過年数

施策番号
22

第３編　活き活きと子どもが育ち、学びが豊かな心を育むまち

第３章　学びを活かせる生涯学習の推進

市民がつながる生涯学習

１　目指す姿

目指す姿	誰もが、いつでも、どこでも学習できる環境整備がすすみ、生涯学習を起点とした人とひととの交流やつながりが生まれています。そして、学んだ知識や経験が家庭・学校・地域で活かされ、一人ひとりの生きがいとなっています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）生涯学習環境の充実

＜主な事業名・取組＞

➢学園都市大学の運営、生涯学習の振興

・「市民自由講座」や「八王子学園都市大学」「はちおうじ出前講座」など、子どもから高齢者まで幅広い世代に対してニーズを捉えた講座を提供（平成25年度以前）

・「生涯学習コーディネーター養成講座」や「はちおうじ志民塾」など、地域社会への参加意識を高める取組や地域活動のきっかけ作りとなる事業を展開（平成25年度以前）

・市制100周年にあわせてこども科学館をリニューアルオープン（平成29年度）

・講座情報を一元化したアプリ（通称「はちリカ」）を構築（令和2年度）

＜今後の課題＞

・生涯学習活動の促進を図るため構築した講座情報提供アプリの充実

・企業や大学などと連携し、人生100年時代の学び直し（リカレント教育）を支援する教育支援アプリでの講座情報を発信し、身近なところで学べる環境を整備

（２）図書館機能の充実

＜主な事業名・取組＞

➢読書のまち八王子の推進

・地区図書室の図書館化(平成27・平成30・令和元年度)

・電子書籍を導入（平成30年度）

・学校図書館とのシステム連携（平成31年度）

＜今後の課題＞

・図書館の非来館型サービスの充実やパークライブラリー等、「新しい生活様式」に沿った身近な読書環境の整備

（３）学習成果を活かせる制度の充実

＜主な事業名・取組＞

➢生涯学習の振興

・生涯学習フェスティバルを実施（平成25年度以前）

・生涯学習コーディネーター養成講座を実施（平成25年度以前）

＜今後の課題＞

・リカレント教育に必要な学習機会を提供し、生涯にわたって必要な知識・技能を身に付け、その成果を生活や地域での活動により一層活かすことができる環境づくり

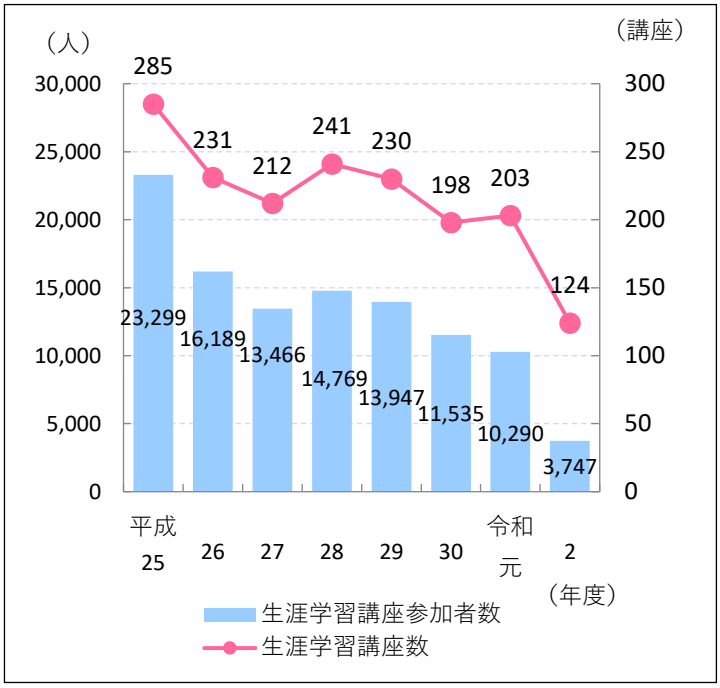
３　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	生涯学習活動をしている市民の割合	↑	71.3% （平成23年度）	55.7% （令和2年度）	90%	－

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
②	生涯学習活動の成果を地域活動に活かしている市民の割合	↑	11.1% （平成22年度）	6.1% （令和2年度）	40%	－

■データ

生涯学習センターの講座数・参加者数



施策番号 23

第３編　活き活きと子どもが育ち、学びが豊かな心を育むまち

第３章　学びを活かせる生涯学習の推進

誰もが楽しめる生涯スポーツ・レクリエーション

１　目指す姿

目指す姿	誰もが気軽にスポーツ・レクリエーションに親しみ、楽しんでいます。そして、スポーツ・レクリエーションが充実した生活の一部として定着し、市民が生涯を通じ健康で活き活きと暮らしています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）スポーツ・レクリエーションの振興

＜主な事業名・取組＞

➢スポーツ・レクリエーションの推進、総合型地域スポーツクラブの活動支援

・東京2020大会機運醸成イベントを開催（平成28年度～）
・IFSCボルダリングワールドカップ八王子等の国際大会開催支援（平成29～令和元年度）
・初級障がい者スポーツ指導員養成講習会を開催（令和元年度）
・ボッチャの派遣指導を開始（令和元年度～）

＜今後の課題＞

・スポーツ実施率が低い働き盛り世代等に重点を置いた取組の推進
・平均寿命が延びている中で生きがいづくりの観点から、健康寿命の延伸につながるスポーツ・レクリエーション施策の検討
・地域住民の自主的・主体的な運営が前提となっている総合型地域スポーツクラブにおける人材・財源等の確保
・パラスポーツにおける指導者及びボランティアの養成

（２）スポーツ・レクリエーション環境の整備と活用

＜主な事業名・取組＞

➢屋外運動施設の管理運営

・富士森体育館の大規模改修を実施（平成25～27年度）
・総合体育館（エスフォルタアリーナ八王子）を開設（平成26年度）
・富士森公園陸上競技場（東京フットボールセンター八王子富士森競技場）をリニューアルオープン（令和2年度）

＜今後の課題＞

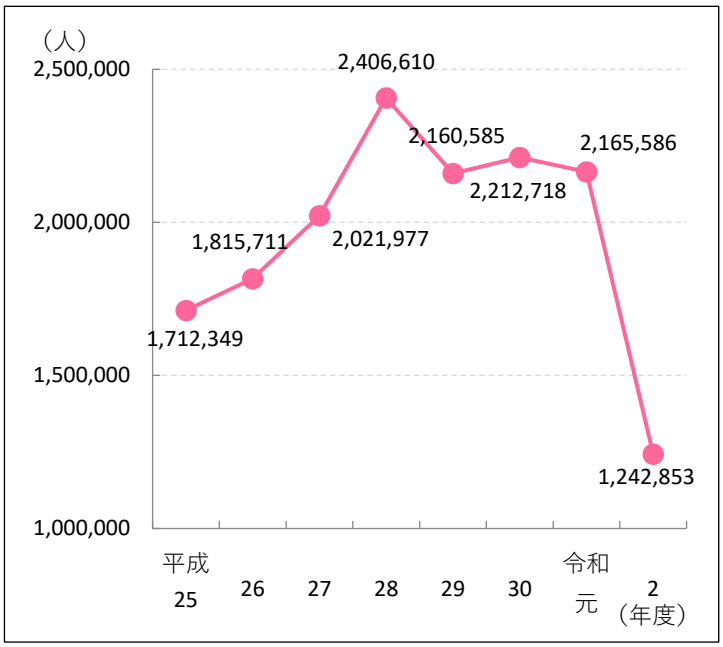
・甲の原体育館の機能拡充や上柚木公園陸上競技場の改修、市民のスポーツ・レクリエーション活動を支えるための環境整備

３　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	週１回以上運動をしている成人の割合	↑	29.9% （平成23年度）	64.1% （令和2年度）	67%	92.2
②	総合型地域スポーツクラブの数	↑	19団体 （平成23年度）	19団体 （令和2年度）	27団体	－

■データ

市スポーツ施設利用者数



施策番号
24

第３編　活き活きと子どもが育ち、学びが豊かな心を育むまち

第４章　未来につながる文化の継承と創造

豊かな心を育む市民文化の振興

１　目指す姿

目指す姿	市民が文化に親しみ、また主体的な文化活動が行われることにより、文化活動の輪が広がり、豊かな心が育まれています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）文化芸術活動の支援

＜主な事業名・取組＞

➢文化芸術の振興

・「文化芸術ビジョン」を策定（平成28年度）

・「文化芸術振興条例」を制定（平成29年度）

＜今後の課題＞

・市民の文化芸術活動を支えるための環境整備

（２）文化芸術の担い手の育成

＜主な事業名・取組＞

➢文化芸術の振興

・伝統文化ふれあい事業（平成25年度以前）

・市制100周年記念事業「文化芸術フォーラム」の開催（平成29年度）

＜今後の課題＞

・次世代の文化芸術の担い手を育成する取組の充実

（３）八王子の魅力を高める文化芸術の振興

＜主な事業名・取組＞

➢文化芸術活動の推進

・東京交響楽団パートナーシップ事業を開催（平成26年度～）

・「多摩伝統文化フェスティバル」を開催（平成28年度～）

＜今後の課題＞

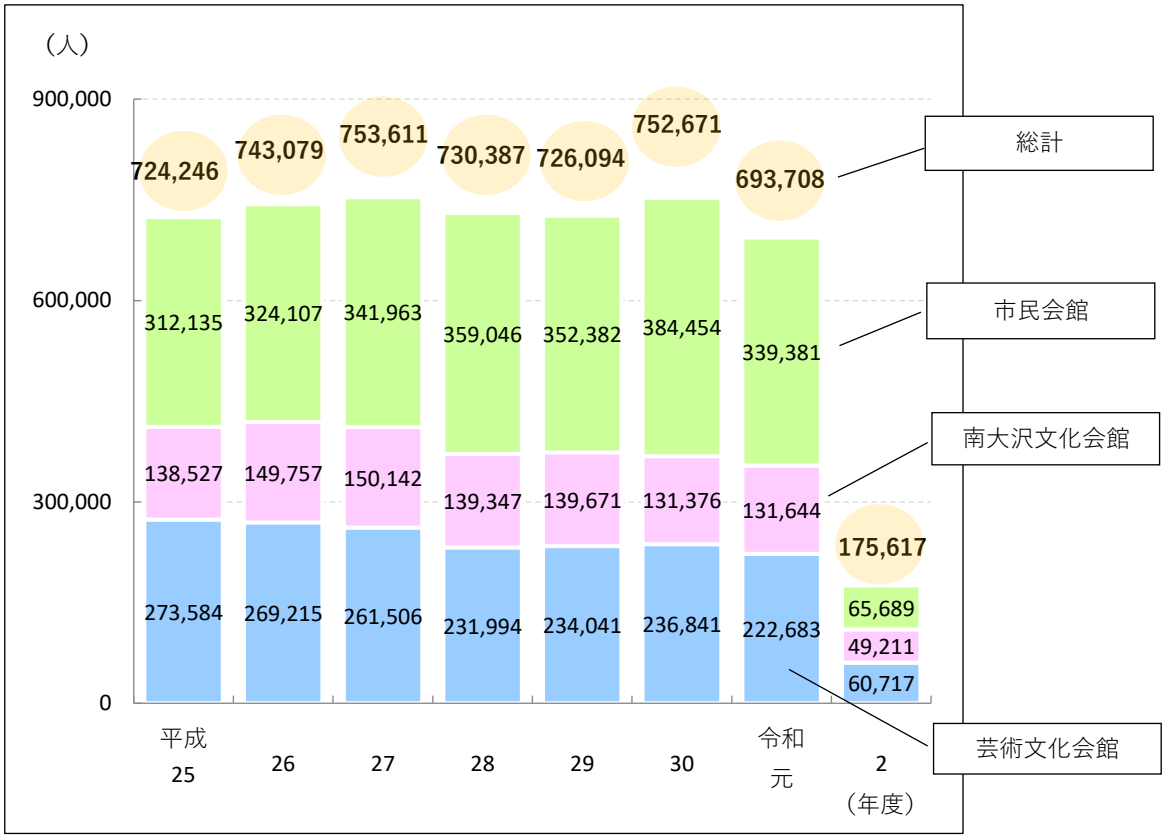
・新しい生活様式による新たなニーズに対応するため、オンライン配信設備を整備し、本市文化芸術の魅力を発信するなど、誰もが文化芸術に触れることができる環境の整備

３　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	定期的に文化芸術活動に参加している市民の割合	↑	56.2% （平成23年度）	28.9% （令和2年度）	60%	－

■データ

芸術文化会館・南大沢文化会館・市民会館の利用者数



施策番号 25

第３編　活き活きと子どもが育ち、学びが豊かな心を育むまち

第４章　未来につながる文化の継承と創造

市民が誇れる歴史と伝統文化の継承

１　目指す姿

目指す姿	文化・歴史・伝統の学びを通じて、誰もが八王子に誇りと愛着を感じ、八王子の歴史と伝統文化が次世代へ継承されています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）文化遺産等の保存・活用

＜主な事業名・取組＞

➢歴史を活かした魅力の発信

・市制100周年記念事業「新八王子市史」の全巻刊行を完了（平成28年度）

・「歴史文化基本構想」を策定（令和元年度）

・「日本遺産」認定（令和2年度）

＜今後の課題＞

・歴史文化基本構想に実施計画を加えた「文化財保存活用地域計画」を作成し、国の認定を目指すとともに、計画に基づいて地域全体で継続性・一貫性のある文化財の保存・活用を推進

・桑都日本遺産センター 八王子博物館（はちはく）から市内外に本市の日本遺産の魅力を発信するなど、日本遺産を活用した「歴史文化を活かしたまちづくり」を推進

（２）伝統芸能の継承

＜主な事業名・取組＞

➢伝統芸能の保存継承

・「八王子車人形調査報告書」を完成（令和元年度）

＜今後の課題＞

・地域で保存・継承されている貴重な歴史文化資源が、人口減少や少子高齢化等による継承者不足で滅失・散逸等することを防ぐための対策を検討

・「八王子車人形」について重要無形民俗文化財としての国指定に向けて、継続的な調査や価値・魅力の発信を推進

（３）歴史と伝統文化を継承する場の充実

＜主な事業名・取組＞

➢国史跡八王子城跡の保存整備

・「国史跡八王子城跡保存整備基本構想・基本計画」を策定（平成29年度）

＜今後の課題＞

・八王子の魅力の再発見につながる新郷土資料館のオープンに向けて、郷土史についての理解を促進する魅力ある展示内容を検討

３　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	１年間のうちに伝統行事に参加したことのある市民の割合	↑	23.0% （平成22年度）	18.8% （令和2年度）	50%	－
②	文化財関連施設の利用者数	↑	37,347人/年 （平成23年度）	70,930人/年 （令和2年度）	100,000人/年	53.6

施策番号
26

第３編　活き活きと子どもが育ち、学びが豊かな心を育むまち

第４章　未来につながる文化の継承と創造

多様な文化交流の推進

１　目指す姿

目指す姿	国内・海外友好都市との文化交流により、互いに都市の魅力が広く住民に理解されています。また、市民・企業の間で、多様な文化交流が広がっています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）都市間文化交流の推進

＜主な事業名・取組＞

➢海外都市との交流、姉妹都市交流

・友好交流事業補助金により大学などが行う自主的な都市間文化交流を促進を支援（平成25年度以前）
・小田原市、寄居町と姉妹都市盟約を締結（平成28年度）
・ドイツ　ヴリーツェン市と海外友好交流協定を締結（平成29年度）

＜今後の課題＞

・海外友好交流都市をより多くの市民に知ってもらう機会の充実
・姉妹都市交流のさらなる充実を図るため、各姉妹都市の特色を活かした新たな交流の検討

（２）国際理解の推進

＜主な事業名・取組＞

➢多文化共生意識の啓発

・「多文化共生推進プラン」を改定（平成29年度）
・在住外国人サポートデスクの拡充、多文化共生啓発のための動画・リーフレットを作成（令和元年度）
・英語・中国語による公式Facebookページを開設（令和2年度～）

＜今後の課題＞

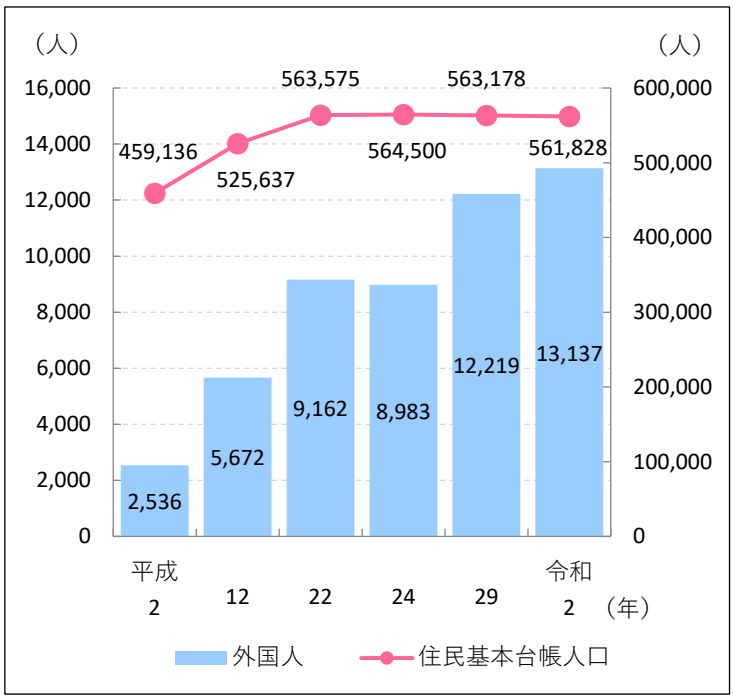
・八王子国際協会との連携を強化し、交流イベント等による多文化共生意識の啓発
・外国人市民の増加・多国籍化、在留資格「特定技能」の創設や多様性と包摂性のある社会実現の動きなど社会経済情勢の変化に応じた対策を検討

３　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	進捗度
①	市や八王子国際協会が開催する事業への参加者数	↑	7,496 人/年 （平成23年度）	4,302 人/年 （令和2年度）	9,700 人/年	－
②	海外友好交流都市を知っている市民の割合	↑	38.6% （平成28年度）	32.6% （令和2年度）	50%	－

■データ

外国人登録者と人口



※各年12月末日現在

施策番号 27

第４編　安心・快適で、地域の多様性を活かしたまち

第１章　自然と共生し地域の多様性を活かしたまちづくり

計画的なまちづくり

１　目指す姿

目指す姿	豊かな自然や歴史的景観などの地域の多様性を活かしたまちづくりがすすめられ、まちのにぎわいが創出されています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）持続可能なまちづくり

＜主な事業名・取組＞

➢市街化調整区域の集落における住民主体のまちづくり支援、多摩ニュータウンの持続可能なまちづくり

・「第2次都市計画マスタープラン」を策定（平成26年度）
・「多摩ニュータウンまちづくり方針」を策定（平成30年度）
・「立地適正化計画」を策定（令和元年度）

＜今後の課題＞

・人口減少・少子高齢化、生活利便性の維持・向上、地域経済の活性化、行政コストの削減、脱炭素社会への対応
・コロナ禍や予期できない災害など、都市を巡る環境の変化に対して、職と住との用途の融合など柔軟に対応できるまちづくり
・多摩ニュータウンの持続可能なまちづくり

（２）地域拠点の整備

＜主な取組＞

・「高尾山口駅周辺地区都市計画方針」を策定（平成27年度）
・「高尾山口駅及び参道周辺整備計画」を策定（令和元年度）
・「加住町・宮下町地区周辺のまちづくり計画」の認定（令和2年度）

＜今後の課題＞

・地域主体のまちづくり推進体制の構築
・高尾山口駅周辺地区まちづくりへの日本遺産の活用

（３）主要駅周辺の整備

＜主な事業名・取組＞

➢旭町・明神町地区周辺まちづくりの推進

・「旭町・明神町地区周辺まちづくり構想」を策定（平成25年度以前）

＜今後の課題＞

・「旭町・明神町地区周辺まちづくり構想」の改定とともに、再開発事業に向けた権利者との合意形成

（４）まちなみ整備の推進

＜主な事業名・取組＞

➢土地区画整理事業

・打越土地区画整理事業の換地処分（平成28年度）

＜今後の課題＞

・上野第二地区土地区画整理事業の事業完了
・区画整理事業の長期化に伴う、今後の区画整理事業の進め方の検討

（５）都市景観の推進

＜主な事業名・取組＞

➢都市景観形成

・高尾駅北口地区屋外広告物地域ルールの運用開始（平成30年度～）

＜今後の課題＞

・都市景観の推進のため、景観条例及び景観計画の運用に関する成果や課題の振り返りによる改正等の検討
・市民の景観に関する意識の醸成を図るため、普及啓発や支援制度等の充実

（６）国・都の未利用地等の活用

＜主な事業名・取組＞

➢八王子駅南口集いの拠点整備

・「八王子駅南口集いの拠点整備基本計画」を策定（平成30年度）

＜今後の課題＞

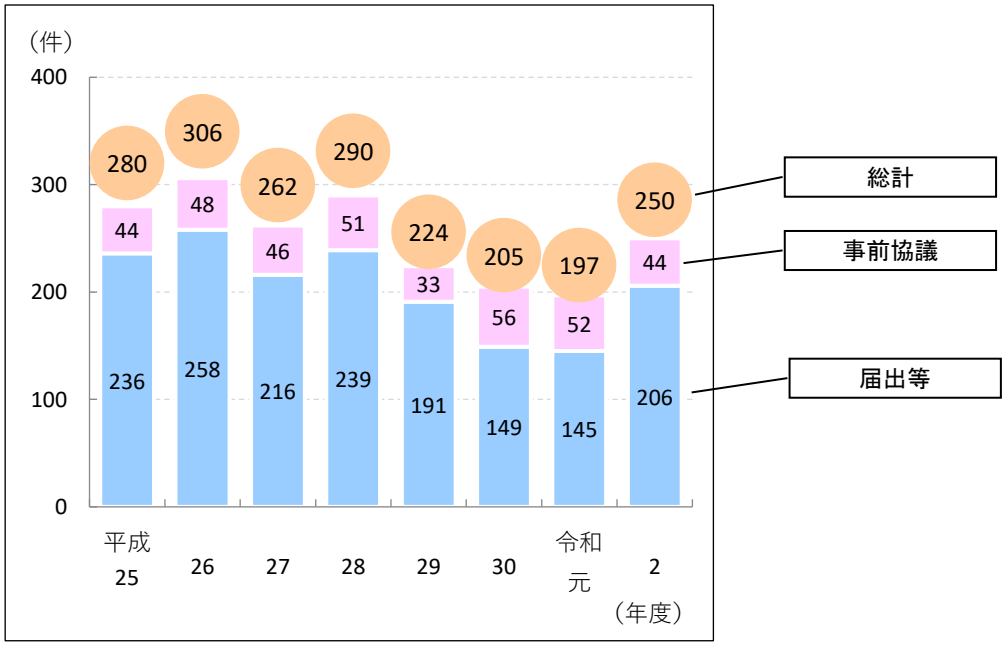
・八王子駅南口集いの拠点整備に向けて、事業条件検討や用地取得などの推進

３　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	八王子の景観への市民評価度	↑	37.2% （平成23年度）	54.1% （令和2年度）	60%	74.1
②	住み続けたいと思う市民の割合	↑	88.9% （平成23年度）	90.5% （令和2年度）	92%	51.6

■データ

景観に関する届出件数



施策番号 28

第４編　安心・快適で、地域の多様性を活かしたまち

第１章　自然と共生し地域の多様性を活かしたまちづくり

誰もが快適なまちづくり

１　目指す姿

目指す姿	身近にみどりを感じられ、ユニバーサルデザインを基調としたまちづくりが推進されるとともに、快適に暮らすことができる生活環境となっています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）ユニバーサルデザインのまちづくりの推進

＜主な事業名・取組＞

➢こども科学館・大横保健福祉センター周辺施設の一体整備

・思いやり駐車場設置費の助成（平成27～令和2年度）
・こども科学館、大横保健福祉センター、大横町公園及び周辺歩行空間を一体整備（平成28～29年度）

（２）都市緑化の推進

＜主な事業名・取組＞

➢まちのみどりの創出、生産緑地地区の管理

・緑化条例に基づく開発行為に伴う植樹の推進（平成25年度以前）
・生け垣造成補助の実施（平成25～令和2年度）
・グリーンパートナー養成講座の実施（平成30年度～）
・特定生産緑地の指定開始（令和2年度～）

＜今後の課題＞

・市民主体によるまちなか緑化事業の推進
・農業従事者の高齢化に伴い、生産緑地地区面積の減少や管理状況の悪い農地が増加する傾向があるため、質の高い生産緑地地区を保全するための新たな取組が必要

（３）快適な居住環境の整備

＜主な事業名・取組＞

➢住宅セーフティネットの促進、居住環境の整備、空き家対策促進

・市営住宅中野団地の建替（平成20～28年度）
・居住環境整備補助事業の開始（平成25年度以前）
・住宅確保要配慮者に対する民間賃貸住宅への入居支援（平成30年度～）
・市営住宅泉町団地の建替（平成25～令和2年度）
・空き家の利活用促進整備補助事業の開始（平成28年度）
・「空き家等対策計画」を策定（令和2年度）

＜今後の課題＞

・今後増加が見込まれる空き家の発生抑制や適正管理及び利活用などの空き家対策

（４）公園・緑地の整備・維持管理

＜主な事業名・取組＞

➢公園の整備、協働による公園づくり

・富士森公園のリニューアル(平成25年度～)
・「公園施設長寿命化計画」の策定（平成27年度）
・公園遊具の計画的更新(平成28年度～)
・明神町なかよし公園の整備（平成30年度～）

＜今後の課題＞

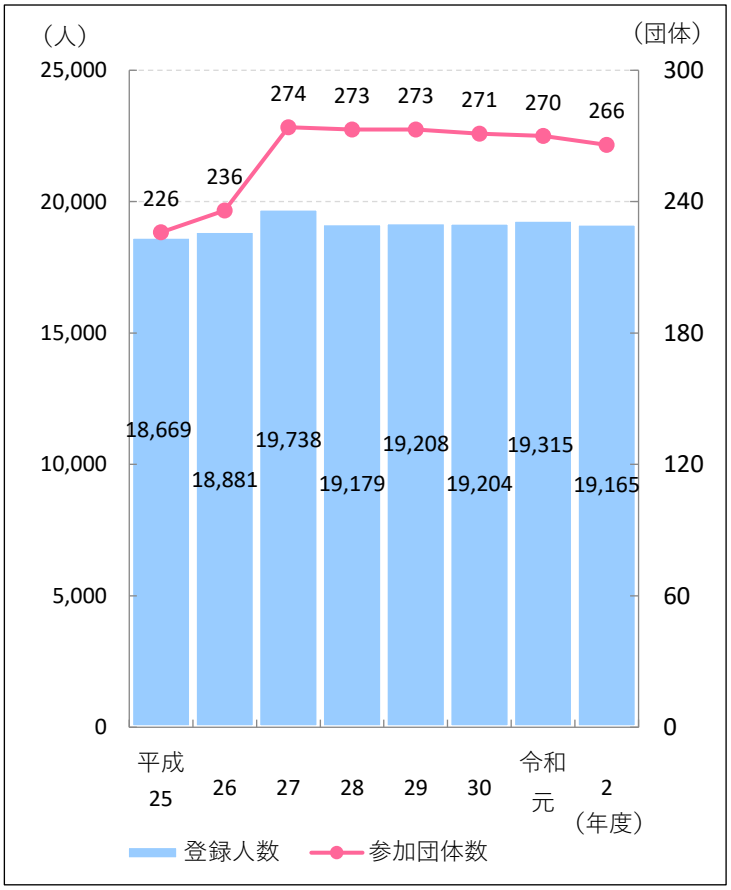
・地域の身近な施設である公園の安全性を確保するための老朽化した公園施設の更新
・地域との協働による公園づくり・公園管理

3　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	市民１人当たりの都市公園面積	↑	11.48㎡ （平成23年度）	12.29㎡ （令和2年度）	12.5㎡	79.4
②	誰もが安全で快適に暮らせるまちになっていると感じている市民の割合	↑	22.7% （平成22年度）	35.3% （令和2年度）	40%	72.8

■データ

公園アドプト団体数と参加人数



施策番号
29

第４編　安心・快適で、地域の多様性を活かしたまち

第２章　地域力を活かした安全で安心なまちづくり

災害に強いまちづくり

１　目指す姿

目指す姿	災害から市民の生命や財産を守るため、災害に強い都市基盤の整備がすすめられ、さらに施設等の耐震化などにより都市の防災機能が向上しています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）都市基盤整備の推進

＜主な事業名・取組＞

➢急傾斜地対策

・「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律」に基づき、東京都が実施する工事の一部を負担（平成25年度以前）

＜今後の課題＞

・土砂災害による急傾斜地の崩壊を防ぐための関係機関と連携した対策

（２）都市の防災機能の向上

＜主な事業名・取組＞

➢耐震化促進

・特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業の開始（平成25年度以前）
・特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震診断未実施者への戸別訪問等による耐震化の啓発を実施（平成25・28年度）
・「公共下水道総合地震対策計画」を策定（平成25年度）
・下水道管路施設耐震診断の実施（H26～30）及び耐震化工事の実施（平成29・30年度）
・避難路に面した民間のブロック塀の撤去・新設に対する補助事業の開始（平成30年度）
・特定緊急輸送道路沿道建築物のＩｓ値0.3未満の建築物に対する補助加算を実施（令和2年度）

＜今後の課題＞

・大地震による災害のほか、風水害による甚大な被害が多く発生している状況を踏まえた、災害に強い都市基盤の整備や防災拠点の整備
・災害時の避難所運営における感染症対策など新たな課題に対する検討

３　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化率	↑	81.7% （平成24年度）	92.5% （令和2年度）	96.6%	72.5
②	下水道の耐震化率	↑	34.0% （平成24年度）	99.9% （令和2年度）	100%	99.8

施策番号 30

第４編　安心・快適で、地域の多様性を活かしたまち

第２章　地域力を活かした安全で安心なまちづくり

防災体制の充実

１　目指す姿

目指す姿	市民が高い防災意識を持ち、地域による防災体制が充実しています。また、大規模災害発生時に迅速・的確に対応するため、関係機関との連携体制や災害後の復旧・復興の仕組みが整っています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）災害に対する備え

＜主な事業名・取組＞

➢消防団運営、福祉避難所の整備

・消防団員メール配信システムの導入（平成27年度）
・福祉避難所の整備（平成27年度～）

＜今後の課題＞

・地域の防災体制を充実させるための自主防災組織への支援の充実とともに、地域防災力向上のための新規消防団員の確保

（２）自助・共助体制の充実

＜主な事業名・取組＞

➢災害対策

・「障害がある方のための防災マニュアル」を策定（平成28年度）
・「総合防災ガイドブック」を発行・市内全戸に配布（平成30年度）
・「総合防災ガイドブック（第2版）」を発行・市内全戸に配布（令和2年度）

＜今後の課題＞

・自主防災組織団体数は増加傾向であるが、今後人口減少や高齢化により、担い手の減少が見込まれるため、持続可能な地域防災を継続するための調査・検討が必要

（３）危機管理対策

＜主な取組＞

・新型コロナウイルス感染症危機管理本部会議の設置（令和元年度）
・新型コロナウイルス感染症対策本部の設置・運営（令和2年度）

＜今後の課題＞

・新型コロナウイルス感染症対策をふまえた行動計画の改定

（４）防災情報の迅速な提供

＜主な事業名・取組＞

➢防災行政ネットワークの整備

・防災行政無線のデジタル化及びFAX設備整備（平成26～令和元年度）
・八王子ＦＭと「災害情報の放送に関する協定書」を締結（平成29年度）
・防災無線アプリ「コスモキャスト」を導入（令和2年度）

＜今後の課題＞

・防災無線のデジタル化のメリットを活かした新たな発信手法の検討

（５）関係機関等との連携強化

＜主な事業名・取組＞

➢災害時地域医療体制の整備

・災害医療コーディネーターの設置（平成25年度）及び災害時緊急医療救護所の設置（平成26年度）
・災害対策医薬品供給車両（モバイルファーマシー）の運用における相互連携協定を締結（令和元年度）

＜今後の課題＞

・災害拠点病院の新規指定における都への働きかけによる、市中心部の災害医療体制の充実
・コロナ禍での緊急医療救護所設置・運営訓練の実施手法の確立による、継続した訓練の実施

（６）復旧・復興体制の整備

＜主な事業名・取組＞

➢都市復興マニュアルの活用

・「震災復興マニュアル」を策定（平成24・25年度）
・震災復興まちづくり訓練を実施（平成26年度～）
・地積調査の実施（平成26年度～）

＜今後の課題＞

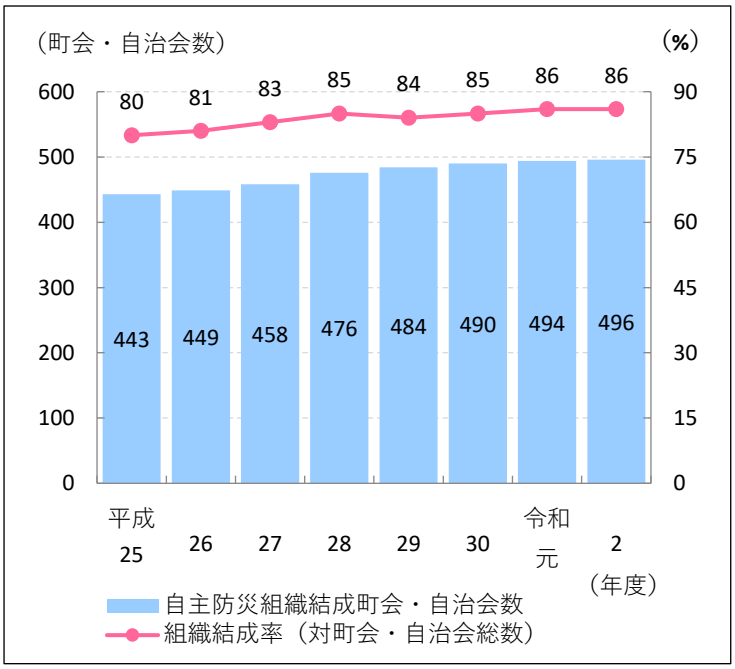
・「震災復興マニュアル」の適時適切な改定

３　施策に対する指標

	指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標		設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	各家庭で災害時のための食料及び飲料水を備えている市民の割合	↑	23.7% （平成23年度）	42.6% （令和2年度）	80%	33.6
②	１年間のうちに防災訓練に参加したことがある市民の数	↑	52,046 人/年 （平成23年度）	18,496 人/年 （令和2年度）	118,200 人/年	－

■データ

自主防災組織結成町会・自治会数及び結成率



施策番号 31

第４編　安心・快適で、地域の多様性を活かしたまち

第２章　地域力を活かした安全で安心なまちづくり

防犯体制の充実

１　目指す姿

目指す姿	市民の防犯意識が高まり、地域による防犯活動が実施されています。また、犯罪を防ぐ対策がすすみ、市民が安全で安心した日常生活を送っています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）生活安全対策の充実

＜主な事業名・取組＞

➢生活安全対策、再犯防止の推進

・安全・安心パトロールの実施（平成25年度以前）
・地域防犯リーダー養成講習会の実施（平成25年度以前）
・「生活の安全・安心に関する条例」改正（平成26年度）
・客引き行為等防止パトロールを実施（平成26年度～）

＜今後の課題＞

・令和3年（2021年）4月に策定した「再犯防止推進計画」に基づく、再犯防止に向けた施策・取組の着実な推進

（２）地域の防犯体制の充実

＜主な事業名・取組＞

➢生活安全対策

・町会・自治会の自主防犯活動への支援（平成25年度以前）
・町会・自治会が設置する防犯カメラ設置経費の補助制度を創設（平成29年度）

＜今後の課題＞

・防犯に対する知識や意識の向上、関係機関との連携による地域の防犯力を高め、安全で安心なまちづくりの推進
・地域防犯の担い手である市民の高齢化を踏まえた、新たな地域防犯リーダーとなる担い手の確保

（３）防犯意識の向上

＜主な事業名・取組＞

➢生活安全対策

・不審者情報・防犯情報をメールで発信（平成25年度以前）
・高齢者世帯に自動通話録音機を貸与（平成29年度～）

＜今後の課題＞

・犯罪発生数は減少しているものの、特殊詐欺においては依然として多発している状況を踏まえた、継続的かつ効果的な防犯対策

（４）暴力団排除の推進

＜主な取組＞

・「暴力団排除条例」を施行（平成25年度以前）
・不要要求防止責任者講習会の開催（平成25年度以前）

＜今後の課題＞

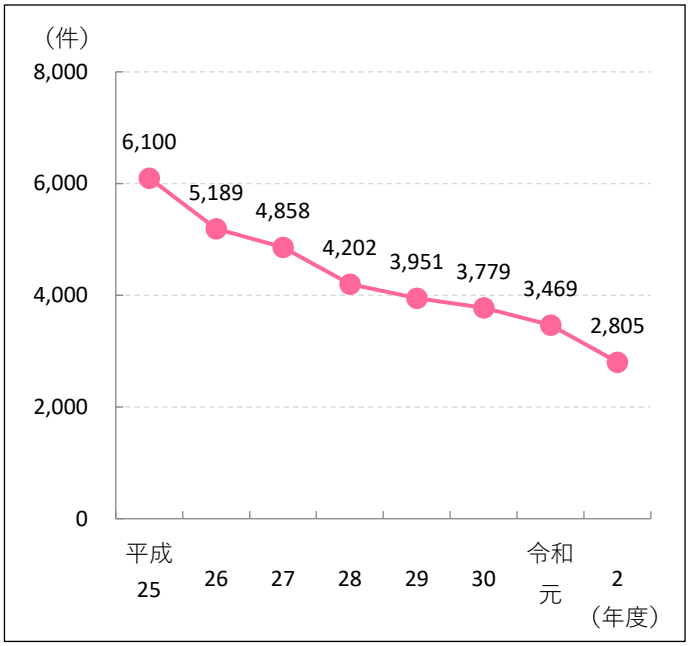
・暴力団排除の取組をより実効性の高いものとするため、引き続き不当要求防止責任者講習会を実施

3　施策に対する指標

	指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標		設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	地域防犯リーダーの数（町会等当たり平均人数）	↑	1人 （平成24年度）	2.1人 （令和2年度）	3人	55.0

■データ

市内刑法犯認知件数



施策番号
32

第４編　安心・快適で、地域の多様性を活かしたまち

第３章　快適で人にやさしい交通環境づくり

交通環境の充実

１　目指す姿

目指す姿	地域における交通環境が改善され、市民の利便性が向上しています。また、市民の交通安全意識が高まり、交通事故が減少しています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）交通環境の改善

＜主な事業名・取組＞

➢八王子駅周辺交通環境の改善、高尾駅北口駅前広場及び南北自由通路等の整備、都市計画道路の整備

・「交通マスタープラン」を策定（平成26年度）
・高尾駅北口駅前広場の整備（平成26年度～）
・八王子駅南口周辺道路（市道八王子1393号線）の開通（令和2年度）
・マルベリーブリッジの西放射線ユーロードへの延伸（令和元年度）

＜今後の課題＞

・高尾駅南北自由通路の整備における工事着手のための条件整理

（２）交通渋滞の緩和推進

＜主な事業名・取組＞

➢幹線・生活道路の整備

・国道16号八王子バイパスの無料化（平成27年度）
・国道16号八王子の拡幅完成（平成30年度）

＜今後の課題＞

・地域全体の活性化に資する広域道路網の充実を図るため、八王子南バイパス及び北西部幹線道路の事業推進

（３）交通安全教育の推進

＜主な事業名・取組＞

➢交通安全教育、交通安全対策

・一般向け交通事故疑似体験教育を開始（平成26年度～）
・大学生対象交通安全講話、一般向け自転車安全利用講習会を開始（平成27年度～）
・「第10次交通安全計画」を策定（平成28年度）

＜今後の課題＞

・事故割合が高い高齢者や自転車の事故防止を図るため交通安全教育の充実
・新たな生活様式に対応した、対面によらない新たな交通安全教育や広報啓発活動の検討

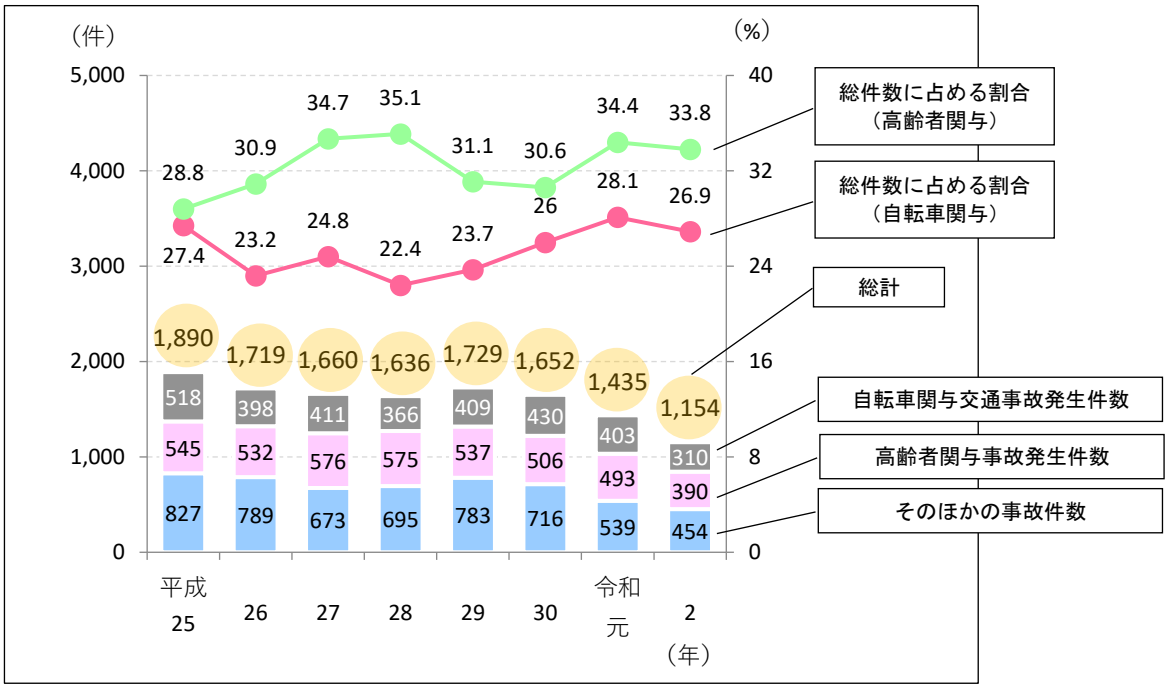
３　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	市内の道路が渋滞なく利用できると感じている市民の割合	↑	26.3% （平成22年度）	27.3% （令和2年度）	42%	6.4

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
②	交通事故数	↓	2,338 件/年 （平成23年度）	1,154 件/年 （令和2年度）	1,500件 以下/年	141.3
③	「交通の便」の満足度	↑	46.8% （平成28年度）	50.4% （令和2年度）	51%	85.7

■データ

交通事故件数



施策番号 33

第４編　安心・快適で、地域の多様性を活かしたまち

第３章　快適で人にやさしい交通環境づくり

安全・快適な道路環境の整備

１　目指す姿

目指す姿	生活に密着した道路では、歩行者などの安全が確保されるとともに自転車の利用が促進され、誰もが快適に移動できています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）自転車交通の推進

＜主な事業名・取組＞

➢総合的な自転車利用環境の創出、放置自転車対策

・「自転車利用環境整備計画」を策定（平成28年度）
・八王子駅周辺自転車駐車場ＭＡＰに加え全市域の施設ＭＡＰを作成（令和2年度）
・放置自転車を検知し警告するＡＩカメラ及び立体路面シートの設置（令和2年度）
・シェアサイクル実証実験を開始（令和2年度～）

＜今後の課題＞

・シェアサイクルの利用促進を図るとともに実証実験で得られたデータに基づく、自転車走行空間の整備
・中心市街地における放置自転車の抑制強化
・コロナ禍に伴う駐車需要の変化に応じた効率的な自転車駐車場の施設運営
・改修経費や費用対効果を踏まえた、自転車駐車場の老朽化対応

（２）道路の安全・快適性向上

＜主な事業名・取組＞

➢道路の改良整備、橋りょうの維持・補修、交通安全施設の整備

・未就学児園外活動の交通安全対策を実施（令和2年度）

＜今後の課題＞

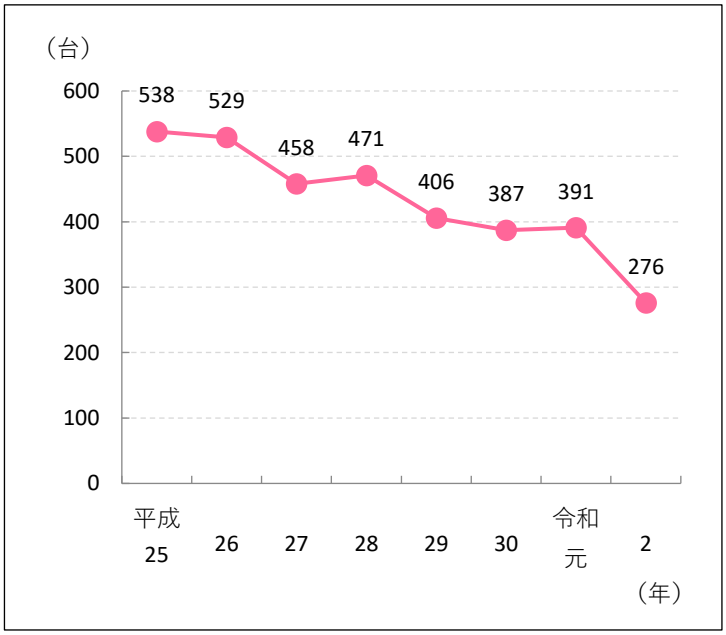
・老朽化が進む道路インフラ施設の維持管理における対症療法的維持管理から予防保全型維持管理への移行

３　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	自転車駐車場の利用率	↑	83.3% （平成24年度）	71.1% （令和2年度）	90%	－
②	市道整備割合	↑	83.0% （平成23年度）	84.0% （令和2年度）	86%	33.3

■データ

放置自転車等の台数



施策番号 34

第４編　安心・快適で、地域の多様性を活かしたまち

第３章　快適で人にやさしい交通環境づくり

都市間交通網の整備促進

１　目指す姿

目指す姿	首都圏南西部の交通体系の構築がはかられ、周辺都市との円滑な交通アクセスが確保されることにより、人の往来や物流が活発になっています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）広域・主要幹線道路の整備

＜主な事業名・取組＞

➢圏央道八王子西インターチェンジ関連の基盤整備、北西部幹線道路（２工区）の整備

・北西部幹線道路（2工区）の事業認可（平成27年度）

・圏央道八王子西インターチェンジ関越道方面出入口の供用開始（平成28年度）

＜今後の課題＞

・圏央道八王子西インターチェンジ周辺整備における、各関係管理者との協議等

・八王子南バイパスにおける、市道整備を進めるたの地権者との合意形成

（２）近隣自治体等との連携強化

＜主な事業名・取組＞

➢多摩都市モノレールの整備促進

・多摩都市モノレール八王子ルート整備促進協議会を設立(平成27年度～)

＜今後の課題＞

・多摩都市モノレール八王子ルート整備促進に向けた市民の認知度向上と気運醸成

■データ

市内各駅の乗降者数（1日平均）

駅名	平成29年	平成30年	令和元年
八王子駅	170,606	170,006	167,130
西八王子駅	64,986	64,432	63,646
高尾駅	58,540	57,742	56,428
片倉駅	10,410	10,442	10,424
八王子みなみ野駅	36,714	37,442	37,390
北八王子駅	18,512	19,322	19,298
小宮駅	6,194	6,100	6,110
京王八王子駅	59,408	59,510	58,184
北野駅	23,032	23,100	22,986
長沼駅	4,146	4,022	3,966
京王片倉駅	4,946	5,110	5,092
山田駅	5,236	5,198	5,188
めじろ台駅	17,816	17,258	16,730
狭間駅	7,952	8,100	7,966
高尾駅（京王）	27,926	27,836	26,916
高尾山口駅	11,160	11,262	10,346
京王堀之内駅	32,428	33,046	32,416
南大沢駅	64,398	64,358	63,462
松が谷駅	2,502	2,660	2,780
大塚･帝京大学駅	6,944	6,940	7,116
中央大学･明星大学駅	35,132	34,972	33,850

施策番号 35

第４編　安心・快適で、地域の多様性を活かしたまち

第３章　快適で人にやさしい交通環境づくり

公共交通の充実

１　目指す姿

目指す姿	鉄道や路線バスなどの公共交通が定時に運行されるなど、利用者の利便性が向上しています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）バス交通の充実

＜主な事業名・取組＞

➢地域公共交通の充実、地域循環バス「はちバス」の運行

・「公共交通計画」を策定（平成28年度）
・バスマップを作成（平成28年度～）
・はちバス運行コースを再編（平成30年度）
・打越旭ヶ丘団地での乗合タクシーを運行開始（令和元年度～）

＜今後の課題＞

・地域交通事業についてコミュニティバス等の役割を整理し、地域の実情にあった持続可能な地域公共交通の実現
・市が運営するコミュニティバスについて、収支率の向上、持続可能な運営、利用者の利便性向上に向けた見直しの準備

（２）既存鉄道の利便性向上

＜主な取組＞

・八王子駅周辺の案内サイン整備工事の実施（令和元・2年度）

＜今後の課題＞

・輸送力強化など利便性向上に向けた取組みの促進とともに、安全性向上に向けた取組みの促進

３　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	公共交通の利便性の満足度	↑	50.9% （平成24年度）	65.2% （令和2年度）	67%	88.8

■データ

定期路線バスの路線系統数

（路線）

平成25年度（2013）	26年度（2014）	27年度（2015）	28年度（2016）	29年度（2017）	30年度（2018）	令和元年度（2019）
239	241	261	261	271	277	283

施策番号 36

第５編　魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち

第１章　地域経済を支える産業の振興

産業振興の体制強化

１　目指す姿

目指す姿	産業を担うリーダーや人材が育ち、製造業・商業・観光業・農林業など全ての分野で業種を超えて広域的に結び付き、地域の経済活動が活発に行われています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）産業振興にかかわる機関との連携

＜主な事業名・取組＞

➢地域産業振興推進

・多摩信用金庫との連携協定締結による産業支援強化(平成28年度)

・「八王子市産業振興会議」を設置・開催（平成28・29年度）

＜今後の課題＞

・令和4年度（2022年度）に現行の「産業振興マスタープラン」の計画期間終了に伴う、産業振興施策の新たな指針となる（仮称）産業イノベーションプランの策定及び新たなビジョンを目指した施策の展開

・新型コロナウイルス感染症の影響により経済成長率の低下が見込まれるなかでの、国や東京都の支援策と連動した経済対策の実施、アフターコロナの経済成長に向けた仕掛けの検討

（２）産学公連携の推進

＜主な事業名・取組＞

➢産業界と大学等との連携強化

・市内中小企業と大学のネットワーク構築を支援（平成28年度）

・産業支援機関等担当者連絡会議を開催（平成29～令和元年度）

・東京都立産業技術研究センターとの連携協定(平成30年度)

＜今後の課題＞

・信頼関係により築かれたネットワークの維持・強化

（３）産業交流拠点の整備・促進と連携

＜主な事業名・取組＞

➢産業交流拠点の活用

・東京都立多摩産業交流センターに関する東京都産業労働局との連絡調整及び同局への要望

＜今後の課題＞

・令和4年（2022年）秋に東京都立多摩産業交流センターが開業することを契機とした、MICE誘致の促進、産学連携を通じたイノベーションの創出

（４）人材の発掘と育成

＜主な取組＞

・八王子市商工会議所等との連携によるビジネスお助け隊が参画した人材育成講座の実施（平成25年度以前～）

＜今後の課題＞

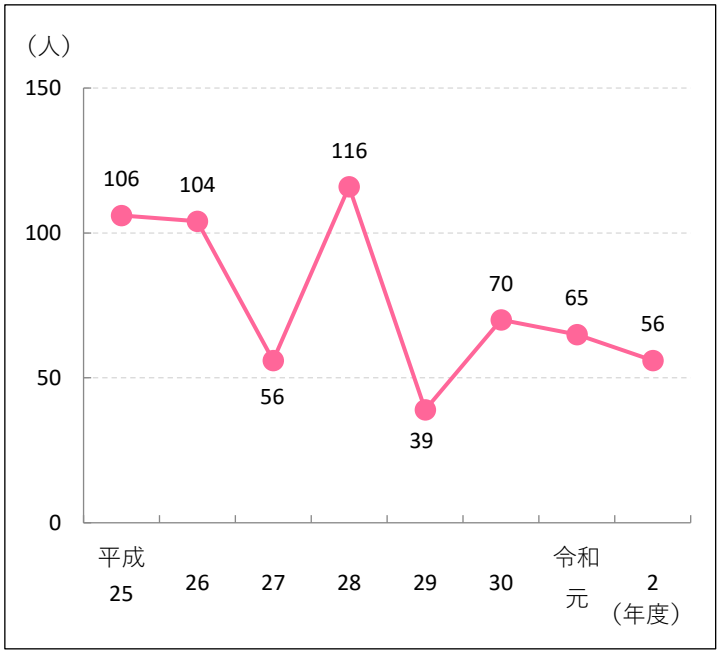
・支援側の人材の確保及び時代のニーズに対応するためのスキル・ノウハウの習得

3　施策に対する指標

	指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標		設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	市内の産業活動が活発に行われていると感じている市民の割合	↑	25.1% （平成23年度）	33.0% （令和2年度）	40%	53.0
②	法人市民税の納税義務者数の伸び率	↑	市0.01 （全国0.01） （指数） （平成28年度）	市0.01 （全国0.03） （指数） （令和元年度）	全国の伸び率を上回る	－

■データ

「ビジネスお助け隊」相談件数



施策番号 37

第５編　魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち

第１章　地域経済を支える産業の振興

企業支援

１　目指す姿

目指す姿	社会状況の変化や企業のニーズを踏まえた支援により、多くの企業が立地しています。また、地域の産業を支える中小事業者が地域で活発に経済活動を営んでいます。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）企業誘致の推進

＜主な事業名・取組＞

➢企業立地の促進

・「いきいき企業支援条例」を「企業立地支援条例」に改正し、企業立地促進地域を拡大（平成26年度）
・企業立地促進奨励金を目的別に整理し、市内企業立地継続奨励金を創設(平成29年度)

＜今後の課題＞

・既存用地の利用転換や拠点整備の進捗により生み出される事業用地の有効活用による、ヘルスケア産業、バイオテクノロジー産業など次世代を見据えた企業立地の促進

（２）中小事業者支援

＜主な事業名・取組＞

➢中小企業等の活性化支援

・中小企業の海外展開支援事業を開始(平成27年度～)
・ものづくり企業地域共生推進助成金を新設（平成31年度）
・中小事業の事業承継支援事業を開始（令和2年度～）

＜今後の課題＞

・地域と調和することで持続的な発展を希望する企業が地域と共生を図るための取組への支援
・中小企業の事業承継や新事業創出に関する、国や都等も含む各種支援策の周知の継続
・SDGs（持続可能な開発目標）やESG（※）への対応など新たな事業展開を支援するための制度の充実

※ESG
環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の頭文字を取った言葉。企業の長期的な成長のためには、この3つの観点から長期的な事業機会や事業リスクを把握する必要があるという考え方が世界的に広まっている。

（３）流通機能集積の推進

＜今後の課題＞

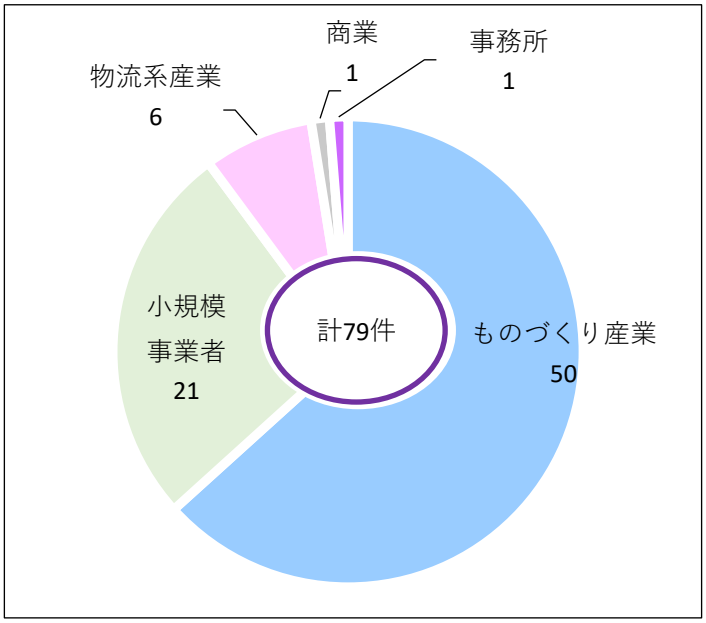
・新滝山街道周辺地区や圏央道八王子西インターチェンジ周辺地区における、流通機能の集積のための誘致

３　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	企業誘致制度により立地を支援した企業数	↑	60件（累計） （平成23年度）	146件（累計） （令和2年度）	145件（累計）	101.2

■データ

企業立地支援条例により支援した企業の業種内訳



※平成25－令和2年度までに支援した事業者の類型です。
（小規模事業者は平成26－28年度）

施策番号 38

第５編　魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち

第１章　地域経済を支える産業の振興

就労環境の整備

１　目指す姿

目指す姿	企業支援や新たな産業の創出などにより地域における雇用が生まれ、職住近接など働きやすい労働環境が整い、誰もが活き活きと安心して働いています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）雇用・就労支援

＜主な事業名・取組＞

➢就業支援

・「八王子しごと情報館」をハローワーク八王子と共同運営（平成25年度以前）

＜今後の課題＞

・「八王子しごと情報館」のあり方を検討

・新たな政策課題（8050問題、生産年齢人口の減少等）に対応するための就労支援策の構築

（２）若者などの雇用・就労促進

＜主な事業名・取組＞

➢若者の就業支援

・就職webサイト「はちおうじ就職ナビ」を運営開始（平成25年度以前）

・「若者奨励金」を創設（平成27年度）

・中小企業新入社員合同研修を開始(平成28年度～)

＜今後の課題＞

・若者が市内事業者を知る機会を増やすため、Webサイト「はちおうじ就職ナビ」への登録事業者の掘り起こしを行うことによる、市内事業者と若者とのマッチング促進

（３）労働環境の整備

＜主な事業名・取組＞

➢中小企業職場環境づくり支援

・家庭と仕事の両立支援事業を開始（平成25年度～）

・市内中小企業を対象にメンタルヘルスに関する実態調査を実施（平成27年度）

＜今後の課題＞

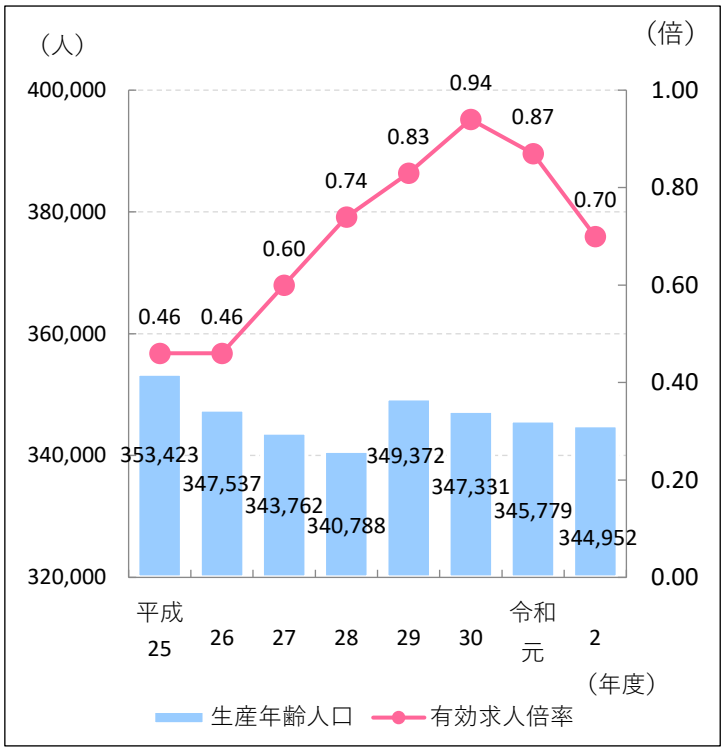
・コロナ禍やＤＸ等の社会情勢の変化に伴う新たな働き方に則した労働環境の整備促進

３　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	就職率	↑	22.3% （平成23年度）	19.7% （令和2年度）	33%	－
②	「はちおうじ就職ナビ」掲載の中小企業等に就職した若者への奨励金交付認定者数	↑	167人 （累計） （平成28年度）	479人 （累計） （令和2年度）	640人 （累計）	66.0

■データ

生産年齢人口とハローワーク八王子管内の有効求人倍率



施策番号
39

第５編　魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち

第２章　まちの活力を創出する産業

高度な技術の集積を活かした産業振興

１　目指す姿

目指す姿	高度な技術力を持つ多くの製造業や情報通信産業が地域経済を活性化させ、首都圏西部の産業・経済の拠点となっています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）製造業・情報通信産業の振興

＜主な事業名・取組＞

➢先端ものづくり支援

・産学連携による研究・開発費等補助金を創設（平成26年度）

・小規模企業産学連携促進補助金を創設（平成29年度）

・「新産業センター条例」を改正（平成31年度）

（新産業開発・交流センターをセレオ八王子北館へ移転、新産業創出センターを工学院大学八王子キャンパス内に設置）

＜今後の課題＞

・企業が新たな事業分野を開拓する取組の継続支援

・国際的に製造業を取り巻く環境が大きく変化しているなか、ＤＸの進展等ＩＴ分野への対応が必須となることから、新たな支援施策を検討

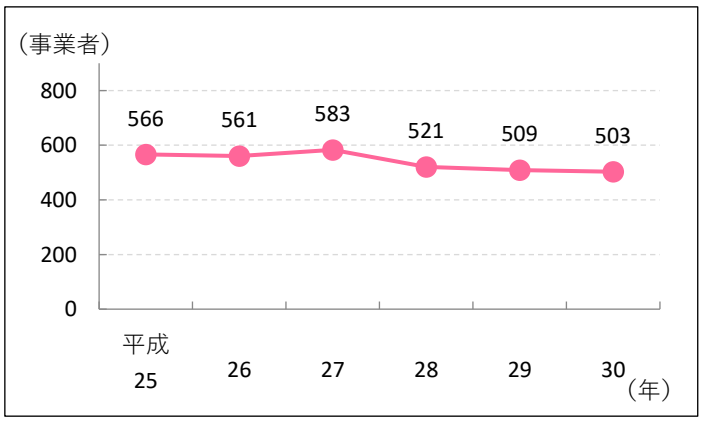
・製造業や情報通信産業をはじめとした多くの企業が新型コロナウイルス感染症の影響を受け、売上が減少している状況下において、企業の事業継続支援及び地域経済の活性化推進のための施策を実施

３　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	中小製造業の市内事業所数の伸び率	↑	市0.96 （全国0.95） （指数） （平成22年度）	市0.98 （全国0.98） （指数） （令和元年度）	全国の伸び率を0.03上回る	－

■データ

製造業事業所数



施策番号 40

第５編　魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち

第２章　まちの活力を創出する産業

新産業の創出

１　目指す姿

目指す姿	環境や医療・介護分野などの新たな事業に取り組む多様な事業者が本市に集まり、市内で様々な技術・製品が開発され、新たなサービスも生まれています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）起業者・創業者支援

＜主な事業名・取組＞

➢中小企業等の活性化支援、起業支援

・「本気の創業塾」をはじめとする創業支援を実施（平成25年度以前）
・創業支援のための「起業家応援プロジェクト」を設置（平成25年度以前）
・「創業支援等事業計画」を策定（平成26年度）
・特定創業支援事業として創業相談を実施（平成26年度～）

＜今後の課題＞

・創業希望者の要望に応える支援の継続提供
・多様化する創業ニーズなどに対応するための外部リソース（東京都中小企業振興公社による創業支援サービス等）との連携・活用

（２）新産業分野の事業創出支援

＜主な事業名・取組＞

➢中小企業等の活性化支援、中小企業新商品開発認定制度の運営

・中小企業新商品開発認定制度を開始（平成26年度～）

＜今後の課題＞

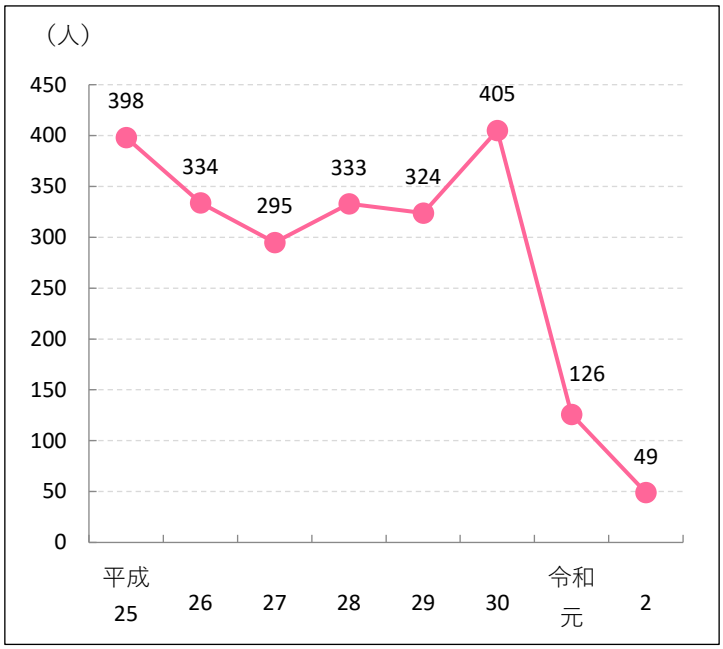
・今後ますます消費者の価値観やニーズが多様化・複雑化していくことが想定されるため、技術革新、SDGs、社会課題解決型産業などの新たな産業分野に対応した支援策の検討

３　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	新設事業所数の伸び率	↑	市0.42 (都0.36) (指数) (平成21年度)	市0.58 (都0.59) (指数) (平成28年度)	都全体の伸び率を0.08上回る	－
②	「本気の創業塾」卒業後の創業率（過去５年間平均）	↑	36.2% (平成28年度)	33.3% (令和2年度)	30%以上を維持	○

■データ

新産業開発・交流センターにおけるセミナー参加者数



施策番号 41

第５編　魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち

第３章　まちの魅力を向上させる産業

にぎわいにつながる産業の振興

１　目指す姿

目指す姿	にぎわいを創出する観光産業や商業が活性化し、何度でも訪れたくなるまちとして中心市街地などが多くの人でにぎわい、まちが活気にあふれています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）中心市街地活性化の推進

＜主な事業名・取組＞

➢ＭＩＣＥの推進、中心市街地の活性化、中心市街地の総合的な再生

・中心市街地における空き店舗改修費補助金を創設(平成25年度以前)
・まちなか魅力づくり支援補助金を創設(平成27年度)
・八王子駅周辺にＷｉ－Ｆｉ環境を整備(平成28年度)
・「中心市街地活性化基本計画」の認定(平成29年度)
・西放射線ユーロード景観舗装等整備工事の実施（平成30～令和2年度)
・八王子ＭＩＣＥ事業者ネットワークを立上げ(令和元年度～)
・まちなか休憩所八王子宿を開設(令和2年度～)

＜今後の課題＞

・「中心市街地活性化基本計画」に掲げる各事業を進めていくとともに、官民一体となった、まちの活性化
・東京都立多摩産業交流センターの令和4年度（2022年度）開業を契機とした、ＭＩＣＥ事業者ネットワークの充実とともに、大学関係者、企業への営業活動の強化
・東京都立多摩産業交流センターの整備効果を高めるため、観光コンベンション協会との協働による、積極的なＭＩＣＥ誘致の推進

（２）商業の振興

＜主な事業名・取組＞

➢商店街の振興

・商店街が行う防犯カメラの設置に係る経費の一部を支援する補助金を創設（平成28年度)
・商店街賑わい復活補助金を創設(令和2年度)

＜今後の課題＞

・後継者不足やインターネットショッピングの普及など商店街が抱える課題についての検討
・魅力ある個店への支援等によるまちの賑わい

（３）観光地の魅力の向上

＜主な事業名・取組＞

➢観光資源情報の活用、一般観光の推進

・高尾の里拠点を整備(高尾599ミュージアムの開設)(平成27年度)
・滝山城跡等を活用した発信事業（フォトロゲイニング等）を実施（平成28年度)
・インバウンド事業「高尾山・リニア広域観光拠点地区連絡会」を開始(平成29年度～)
・観光ガイドブックをリニューアル（「行こうよ、八王子」を発行）(令和2年度)

＜今後の課題＞

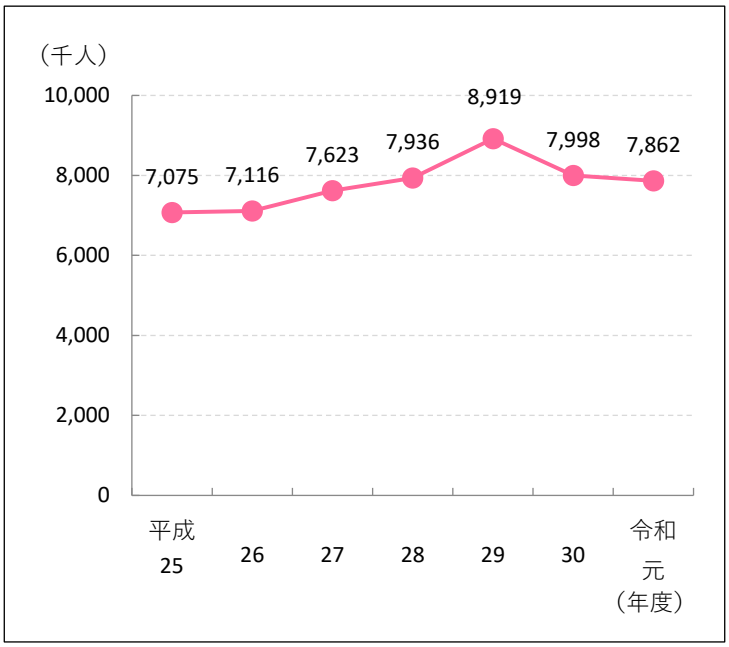
・ポストコロナ時代を踏まえて、SNS等のコミュニケーションツールの活用とデジタルでの情報発信
・既存の観光スポットや日本遺産構成文化財を活かした、市内の滞留性及び回遊性につながる人流を生み出す観光施策の推進

3　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	年間商品販売額の伸び率	↑	市0.95 (全国0.86) (指数) (平成19年度)	市1.07 (全国1.14) (指数) (平成28年度)	全国の伸び率を0.01上回る	－
②	観光客数	↑	602 万人/年 (平成23年度)	786 万人/年 (令和元年度)	849 万人/年	－

■データ

市内観光地への観光客数



施策番号 42

第５編　魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち

第３章　まちの魅力を向上させる産業

地域資源を活用する産業の振興

１　目指す姿

目指す姿	地域資源の新たな魅力を活かすことで観光産業・農業・林業の振興がはかられています。また、農業の担い手の育成や農地の有効活用により、都市型農業が確立しています。そして、八王子ブランドの創出により、まちの魅力が高まっています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）新たな観光資源の発掘・活用

＜主な事業名・取組＞

➢新たな観光資源の整備

・加住地区(滝山城跡等)の観光を推進（平成25年度～）
・滝山城築城500周年記念事業のPR事業を実施（令和2年度）

＜今後の課題＞

・日本遺産認定ストーリー等新たな観光資源を活用した、コロナ禍においても実現可能な体験型観光やイベントの実施

（２）都市型農業環境の整備

＜主な事業名・取組＞

➢農業環境の整備、遊休農地活用支援

・農地バンク制度を開始（平成26年度～）
・「第3次農業振興計画」を策定（平成28年度）
・農地再生事業補助金を創設（平成28年度）
・都市農業活性化支援事業費補助金を創設（平成29年度）
・都市農地保全支援プロジェクト補助金を創設（平成30年度）
・「人・農地プラン」を策定（令和2年度）

＜今後の課題＞

・農業関係団体と連携し、東京都や市の補助制度及び認定農業者制度の周知
・農業者の高齢化に伴い、農地減少、遊休農地及び耕作放棄地の増加が懸念されるなかで、農福連携も含めた農業の担い手の育成や農地の有効活用

（３）林業の再生

＜主な事業名・取組＞

➢民有林振興

・多摩地域の林業再生に向けた現状調査及び多摩産材販路拡大を実施（平成28年度）
・経営管理されていない森林の調査・分析を実施（令和元年度）

＜今後の課題＞

・意欲のある林業事業体に対する、担い手育成支援等の実施

（４）地域ブランドの創出

＜主な取組＞

・JA八王子農業祭において農林畜産物品評会を開催（平成25年度以前）
・フードフェスティバル・体験楽習フェスティバルの開催（平成25年度～）
（地場産農畜産物の周知、生産者の栽培技術向上及び品質向上）
・市ホームページに「パッションフルーツ」をPRするページを掲載（平成30年度）

＜今後の課題＞

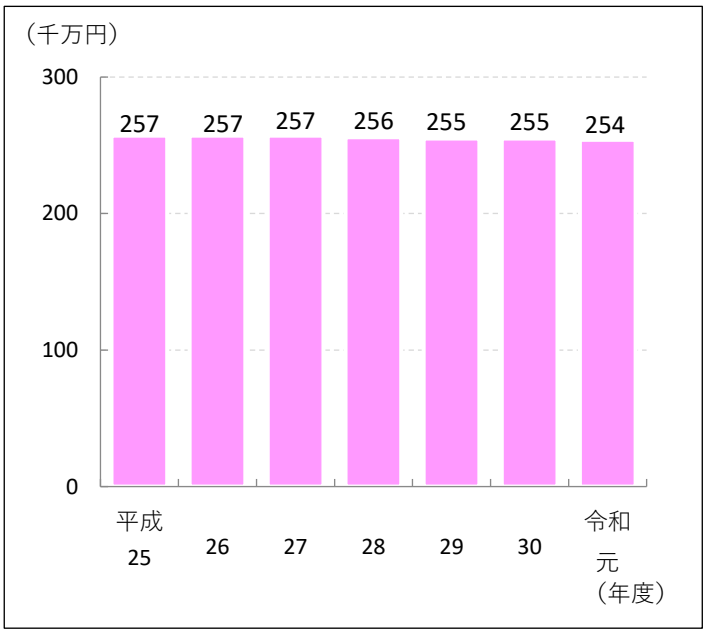
・ブランド創出につながる観光資源の発見や磨き上げ
・更なる地域の名産品の発掘や知名度向上のための情報発信

3　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	農業産出額	↑	27億9,000 万円/年 （平成21年度）	25億4,000 万円/年 （令和元年度）	29億300 万円/年	－
②	認定農業者数	↑	106経営体 （平成28年度）	105経営体 （令和2年度）	130経営体	－

■データ

農業産出額



施策番号 43

第６編　一人ひとりが育てる、人と自然が豊かにつながるまち

第1章　一人ひとりが考え、ともに守る環境

環境を守るための意識の醸成

１　目指す姿

目指す姿	自然とのふれあいを通して自然と環境の大切さを楽しみながら学ぶことで、大人も子どもも環境を守るための意識が醸成されています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）環境への正しい理解

＜主な事業名・取組＞

➢環境保全活動の啓発

・八王子環境フェスティバルを開催（平成25年度以前）
・Facebookページ「エコひろば」を開設・運営開始（平成26年度～）
・「環境教育プログラムガイドブック」を配布（平成29年度～）

＜今後の課題＞

・幅広い世代に対する環境問題意識の向上を図るための更なる情報発信
・環境分野に関する講座情報「環境教育プログラムガイドブック」を幅広く周知し、生涯を通じて環境に配慮した意識向上

（２）体験を通した環境教育・環境学習の推進

＜主な事業名・取組＞

➢環境教育・学習の推進

・環境教育副読本を活用した小・中学校への教育・学習を実施（平成25年度以前）
・「体験の機会の場」の認定制度を開始（平成27年度～）
・里山サポーター育成講座を開催（平成27年度～）

＜今後の課題＞

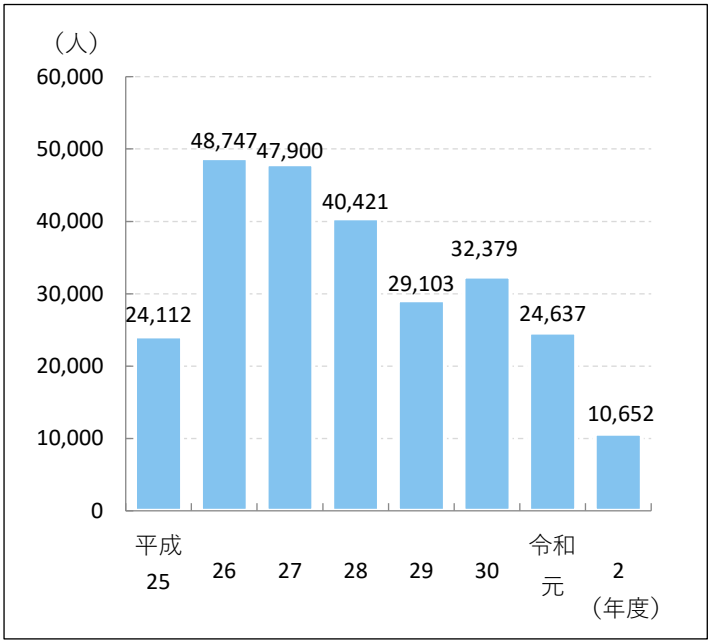
・新型コロナウイルス感染症や天候の影響を受けない、オンライン配信など新しい講座開催手法の構築
・GIGAスクール構想による学習用端末を活用した環境学習の機会拡大
・環境教育・環境学習の運営支援者が高齢化により減少しているため、新たな支援者の確保
・民間企業のノウハウを活用した講座の展開

３　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	日常生活において常に地球環境に配慮して暮らしている市民の割合	↑	44.1% （平成23年度）	52.7% （令和2年度）	55%	78.9
②	「エコひろば」における講座の受講者数	↑	9,939人 （平成28年度）	3,051人 （令和2年度）	11,700人	－

■データ

エコひろば入場者数



施策番号 44

第６編　一人ひとりが育てる、人と自然が豊かにつながるまち

第１章　一人ひとりが考え、ともに守る環境

環境保全活動の推進

１　目指す姿

目指す姿	環境保全活動を支えるリーダーとなる人材が育ち、地域の人たちとともに活動しています。また、多くの市民・事業者が参加して様々な環境保全活動が行われています。

２　施策の展開（取り組みと今後の課題）

（１）環境を守るための人材の育成と活用

＜主な事業名・取組＞

➢人材の育成と活用

・環境学習リーダー養成講座（平成25年度以前）及び里山サポーター育成講座（平成27年度～）を開催
・エコアクション21における認証登録料等の補助（平成28年度～）

＜今後の課題＞

・環境市民会議の紹介や環境保全活動等の情報発信を行い、地域における人材を育成・確保
・環境保全活動の担い手は、高齢者の割合が多い傾向にあるため、若者層の担い手を確保

（２）環境保全活動のネットワークづくり

＜主な事業名・取組＞

➢環境保全活動の推進

・環境学習室「エコひろば」を運営（平成25年度以前）
・本市独自の環境マネジメントシステム（Ｈ－ＥＭＳ）を運用開始（平成29年度～）

＜今後の課題＞

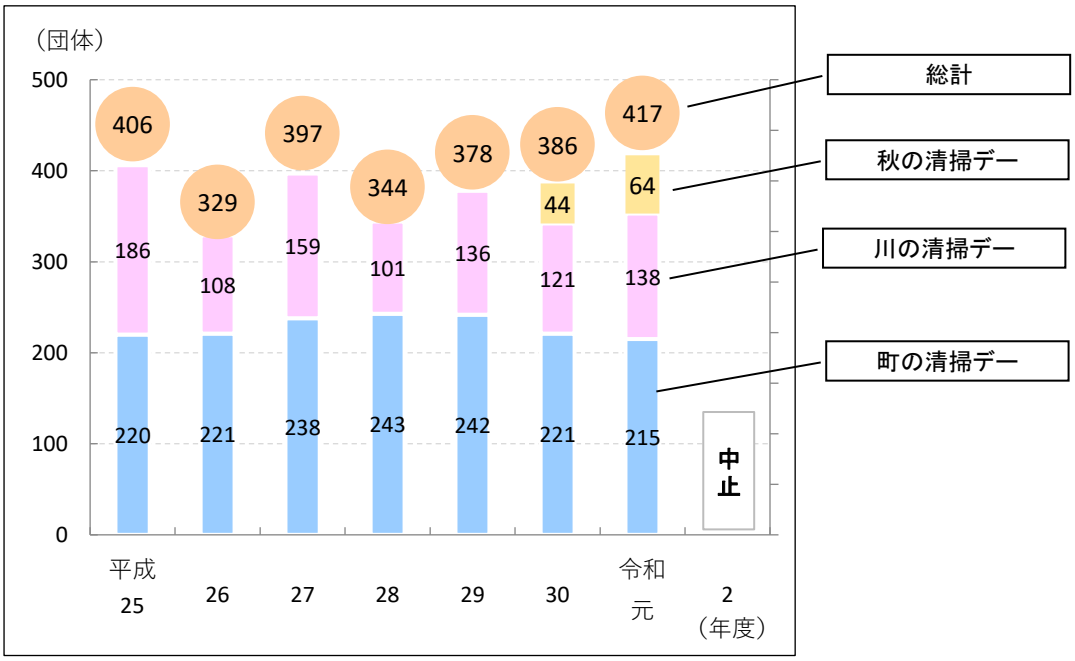
・市との協働活動や市民向けに企画する環境保全講座等の開催を支援するなど、環境市民会議の活性化
・新型コロナウイルス感染症や天候の影響を受けない、オンライン配信など新しいイベント等開催手法の構築

３　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	環境市民会議会員数	↑	263人 （平成24年度）	186人 （令和2年度）	480人	－
②	環境市民会議の活動件数	↑	707件 （平成28年度）	537件 （令和2年度）	800件	－

■データ

清掃美化活動参加団体数



施策番号 45

第６編　一人ひとりが育てる、人と自然が豊かにつながるまち

第２章　環境負荷の少ないまちづくり

地球温暖化対策の推進

１　目指す姿

目指す姿	再生可能エネルギーの活用などにより、エネルギーの地産地消化へ向けた様々な取組がはかられています。また、市民一人ひとりが環境負荷の少ない生活を送ることにより、CO_2排出量が抑制され、地球環境にやさしいまちとなっています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）CO_2排出量の削減

＜主な事業名・取組＞

➢環境負荷の低減

・地域地球温暖化防止活動推進センターの指定及び地球温暖化防止活動推進員を委嘱（平成28年度～）
・エコアクションポイント制度を開始（平成29年度～）
・省エネ家電推進事業を実施（令和2年度～）

＜今後の課題＞

・CO_2排出量の削減は、市民一人ひとりの取組が必要であるため、国や東京都との連携はもとより、市独自の取組の構築
・国の「2050年カーボンニュートラル宣言」及び「2030年削減目標の26%から46%へ引き上げ」を受けた地球温暖化対策地域推進計画の改定を行い、新たな施策展開の検討

（２）再生可能エネルギーの普及促進

＜主な事業名・取組＞

➢再生可能エネルギーの普及

・再生可能エネルギー利用機器等設置費を助成（平成25年度以前）
・「再生可能エネルギー導入方針」を策定（平成26年度）

＜今後の課題＞

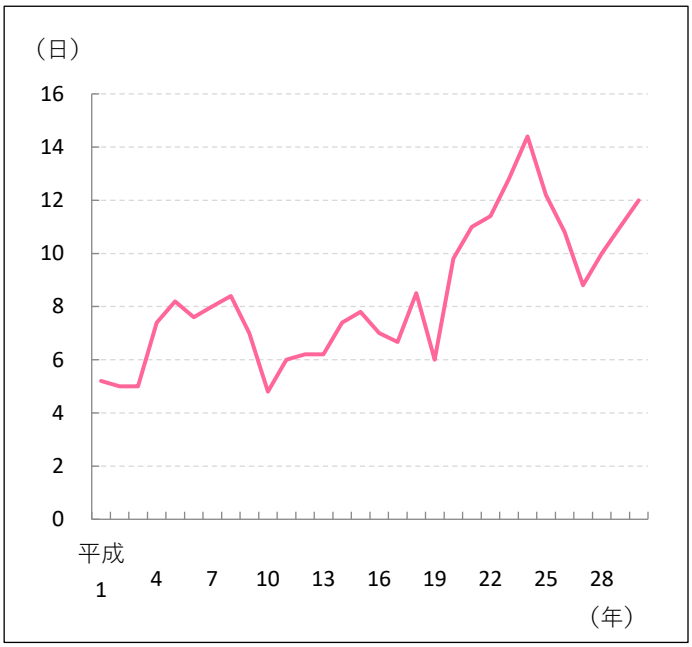
・再生可能エネルギーの普及促進を図るため、固定価格買取制度による買取価格等の影響を鑑みた、新たな手法の検討

３　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	１人当たりの市内CO_2排出量の削減割合（平成12年度比）	↑	18.2% （平成21年度）	25.3% （平成30年度）	27.5%	76.3

■データ

猛暑日の日数



※長期的な傾向を確認するため、５年間の平均値を掲載しています。

施策番号 46

第６編　一人ひとりが育てる、人と自然が豊かにつながるまち

第２章　環境負荷の少ないまちづくり

循環型社会の構築

１　目指す姿

目指す姿	市民や事業者がごみの３Ｒに取り組み、ごみが減少しています。また、ごみが資源として有効に利用され環境に配慮した廃棄物の処理が適正に行われることで、誰もが快適に暮らしています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）ごみの発生抑制と資源化の推進

＜主な事業名・取組＞

➢ごみ減量の推進、資源物の分別収集

・出前講座やリサイクル推進員を活用した地域に対するきめ細やかな啓発及び事業者への訪問指導を実施（平成25年度以前）
・食品ロス削減の取組実施（平成28年度～）
・剪定枝における資源化モデル事業の開始（平成30年度～）

＜今後の課題＞

・更なる資源循環を図るため、資源物収集品目を拡大
・プラスチック資源循環促進法に基づくプラスチック処理体制の検討
・循環型都市の実現に向けた、新たな品目の資源化や再生エネルギーの利活用等の検討

（２）廃棄物の適正処理

＜主な事業名・取組＞

➢ごみ等の収集運搬、ごみ等の焼却・破砕処理、新館清掃工場の建設

・戸吹不燃物処理センター設備更新の実施（平成25・26年度）
・戸吹清掃工場延命化対策工事の実施（平成27～令和元年度）
・家庭系持込ごみの予約制開始（戸吹クリーンセンター）（平成30年度～）
・新館清掃施設建設工事に着手（平成30年度～）
・八王子市環境資源循環協会と「不法投棄が疑われる廃棄物等を発見した場合の情報提供に関する協定書」を締結（令和2年度）

＜今後の課題＞

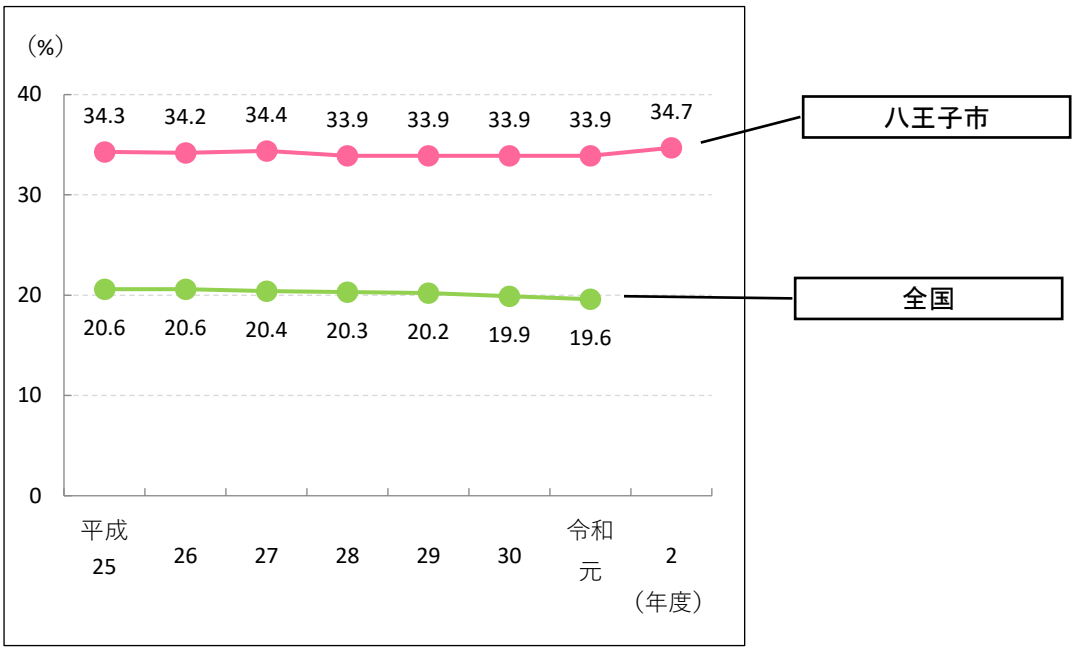
・新館清掃施設の稼働（令和4年度（2022年度））後の運営方法等の検討
・今後の人口動態、資源化進展に伴うごみ量の変化等を踏まえ、将来における安定的かつ継続的なごみ処理体制の検討

３　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	１人１日当たりのごみの総排出量	↓	840 g/(人・日) (平成23年度)	768 g/(人・日) (令和2年度)	780 g/(人・日)	120.0
②	埋立処分量	↓	449 t/年 (平成23年度)	0 t/年 (令和2年度)	0 t/年	100.0

■データ

リサイクル率


（%）
40
30
20
10
0
34.3
34.2
34.4
33.9
33.9
33.9
33.9
34.7
20.6
20.6
20.4
20.3
20.2
19.9
19.6
八王子市
全国
平成
25
26
27
28
29
30
令和
元
2
（年度）

施策番号 47

第６編　一人ひとりが育てる、人と自然が豊かにつながるまち

第３章　自然と共生した安全で快適な環境

健全な水循環の再生

１　目指す姿

目指す姿	豊富な湧水と清らかな川の流れに守られ、多種多様な生きものが生息しています。そして、安全な川の水辺には人々が憩い、やすらぎ、子どもたちも安心して遊んでいます。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）水資源の保全と再生

＜主な事業名・取組＞

➢水循環の保全

・雨水浸透施設設置を補助（平成25年度以前）
・「水循環計画」を改定（令和元年度）

＜今後の課題＞

・「環境」「利水」「治水」という3つの水に関する総合的な視点から水循環をとらえ、適切にバランスを取りながら互いに良好な状態となる取組の推進

（２）生態系に配慮した憩いの水辺づくり

＜主な事業名・取組＞

➢水辺づくりの推進

・生態系豊かな水辺の整備（平成25年度以前）
・湧水めぐりイベントを実施（平成26年度～）
・南浅川水辺でつなぐまちづくりを実施（令和元年度～）

＜今後の課題＞

・「湧水めぐり」等の集客イベント実施に替わる効果的な情報提供
・生物多様性の観点や地域特性を取り入れた自然に配慮した水辺を生かした、多くの人が環境学習等に参加できる仕組みの構築

（３）良好な水質の保全

＜主な事業名・取組＞

➢水質保全

・河川水質の調査や事業場の排水に関する検査・指導を実施（平成25年度以前）
・北野下水道処理場の東京都流域下水道編入に伴う下水道直接投入方式処理の開始（令和2年度～）

＜今後の課題＞

・水質環境の維持を図るために、河川水質の調査や事業場の排水に関する検査・指導の継続的な実施

（４）総合的な治水対策の推進

＜主な事業名・取組＞

➢水路の改良整備

・「八王子市の総合的な治水対策」を策定（平成26年度）
・「雨水貯留浸透推進計画」を策定（平成27年度）
・内水浸水予測区域図の策定（令和2年度）

＜今後の課題＞

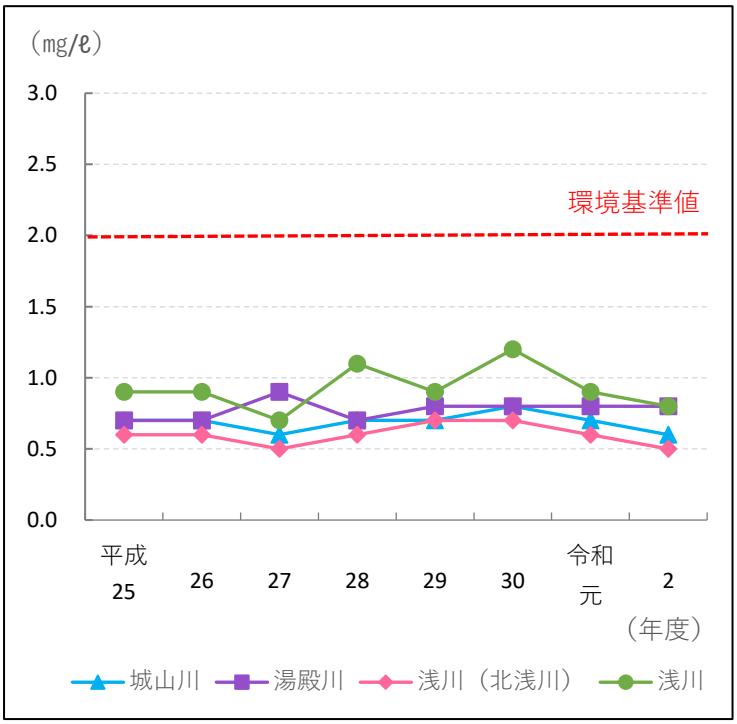
・台風被害状況や浸水想定など最新データを活用した「総合的な治水対策」の改定を行い、浸水対策を推進
・地球温暖化に伴う気候変動の影響により急務となっている豪雨対策に取り組むとともに、インフラ設備の老朽化による耐震化を踏まえた長寿命化対策を推進
・関係機関と連携した、国が進める流域対策の推進

3　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	水辺に親しめる場所の数	↑	128か所 （平成24年度）	148か所 （令和2年度）	146か所	111.1
②	市内河川の環境基準点等におけるＢＯＤの数値	↓	2.0mg/ℓ 以下 （平成28年度）	2.0mg/ℓ 以下 （令和2年度）	2.0mg/ℓ 以下を維持	○

■データ

河川別BOD測定結果



※BODとは、生物化学的酸素要求量の略です。河川の水質汚濁の指標として使用されています。

施策番号
48

第６編　一人ひとりが育てる、人と自然が豊かにつながるまち

第３章　自然と共生した安全で快適な環境

豊かなみどりの保全と活用

１　目指す姿

目指す姿	市民との協働により守られた豊かなみどりの中で人々が憩い、多種多様な生きものとふれあっています。そして、市民の誰もがみどりの多いまちに誇りを持っています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）みどりの確保

＜主な事業名・取組＞

➢みどりの確保

・斜面緑地保全区域を指定（平成25年度以前）
・斜面緑地保全区域の土地所有者に支援金を支給（平成25年度以前）
・上川の里緑地及び金比羅緑地の都市計画特別緑地保全地区指定及び一部公有化（平成25・29・30年度）

＜今後の課題＞

・民有緑地における適正な維持管理を図るための新たな支援施策の検討

（２）みどりの適切な管理と活用

＜主な事業名・取組＞

➢みどりの管理

・緑地保護地区を指定（平成25年度以前）
・緑地保護地区の土地所有者に指定協力金を助成（平成25年度以前）
・民間企業のCSR活動による里山保全活動（上川の里緑地）を開始（令和2年度～）

＜今後の課題＞

・公有化した緑地の適切な維持管理
・多様な主体との協働による里山環境の保全及び活用の推進

（３）人と多種多様な生きものとの共生

＜主な取組＞

・環境フェスティバル等において啓発活動を実施（平成27年度～）

＜今後の課題＞

・地域特性を踏まえた、生物多様性の保全、利用及び啓発の推進

３　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	保全の対象とした緑地面積	↑	149.1ha （平成23年度）	178.9ha （令和2年度）	185ha	83.0

施策番号 49

第６編　一人ひとりが育てる、人と自然が豊かにつながるまち

第３章　自然と共生した安全で快適な環境

安全で良好な生活環境の保全

１　目指す姿

目指す姿	大気汚染や有害化学物質などによる暮らしへの影響を未然に防ぎ、適切に下水道の維持向上をはかることで、誰もが安全で良好な生活環境の中で暮らしています。

２　施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）大気汚染の防止対策

＜主な事業名・取組＞

➢大気保全

・大気汚染防止法届出事業者等への立入調査を実施（平成27年度～）
・環境フェスティバルにおける大気環境に関する普及啓発（平成29年度～）

＜今後の課題＞

・大気環境の改善を図るため、中小事業者への立入調査を強化するとともに、新しい形態によるイベント等における、継続した周知活動の実施
・地球温暖化対策の推進などにより大気環境は改善されていく傾向にあるが、引き続き、広域的な課題として、東京都と連携した対策の実施

（２）有害化学物質などの適正管理

＜主な取組＞

・「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」に基づく適正管理化学物質使用量等報告による状況把握（平成25年度以前）
・適正管理化学物質使用量等実績に基づく事業者を対象とした立入調査の実施（平成29年度～）

＜今後の課題＞

・有害化学物質等の適正管理を推進するため、立入調査を強化するとともに、事業者による有害化学物質等の漏洩を防ぐための対策を踏まえた上での、災害時対策の周知啓発及び指導の実施

（３）騒音・振動の防止対策

＜主な取組＞

・「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」に基づく工場認可申請等の審査及び認可等（平成25年度以前）
・騒音規制法及び振動規制法に基づく特定施設の届出の審査（平成25年度以前）

＜今後の課題＞

・騒音・振動の防止のため、立入検査により適正な状態であることを確認するとともに、工場等に関する手続の周知啓発を実施

（４）良好な生活環境の確保

＜主な事業名・取組＞

➢生活環境の保全、環境美化推進、物の堆積等による不良な生活環境の改善事業

・市民・事業者と協働で喫煙マナーアップキャンペーンを実施（平成25年度以前）
・「住居等における物の堆積等に起因する不良な生活環境の改善に関する条例」を施行（令和元年度）

＜今後の課題＞

・特定外来生物からサクラ・ウメ等の樹木被害を最小限にくい止めるため、地域住民や関係機関と連携した対策を実施

（５）下水道機能の維持向上

＜主な事業名・取組＞

➢長寿命化対策、北野ポンプ場建設改良

・下水道施設の長寿命化対策（平成25年度以前）
・公共下水道北野処理区の東京都流域下水道秋川処理区への編入（令和2年度）
（平成27年度分流区域を編入し、令和2年度合流区域の編入により完全編入）

＜今後の課題＞

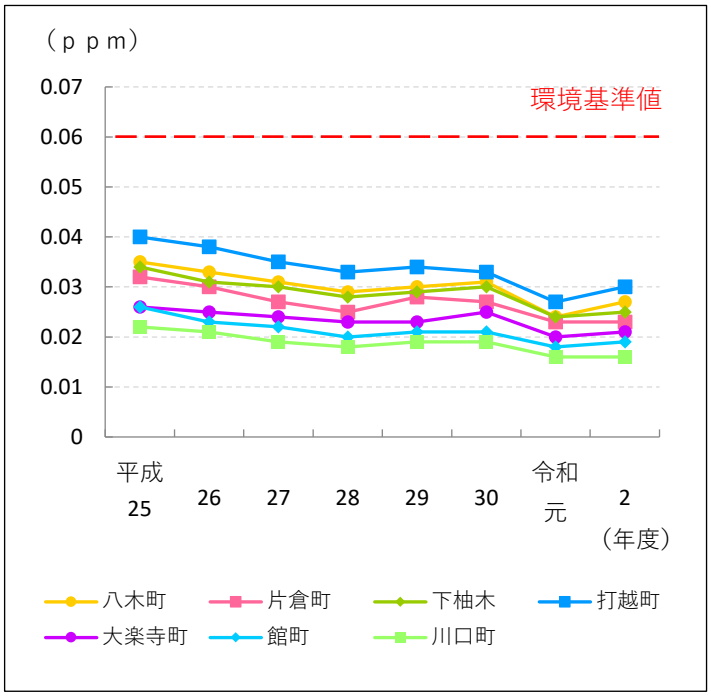
・下水道事業の安定的なサービス提供のため、経営戦略に基づいた経営基盤の強化

３　施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	生活環境が以前と比べ良いと感じている市民の割合	↑	53.1% （平成23年度）	40.5% （令和2年度）	60%	－
②	光化学オキシダント「昼間の１時間値が0.06ppm以下の日数」（館町測定室）	↑	273日 （平成28年度）	295日 （令和2年度）	285日	183.3

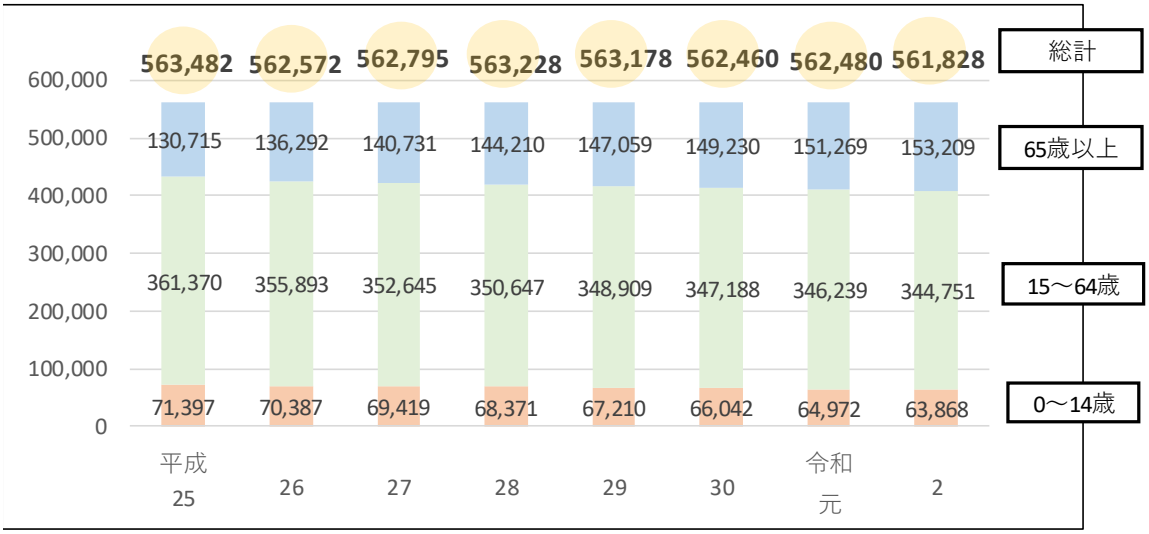
■データ

大気中の二酸化窒素（NO2）測定結果



５　主な指標推移

(1)人口の推移



※各１月１日現在の住民基本台帳

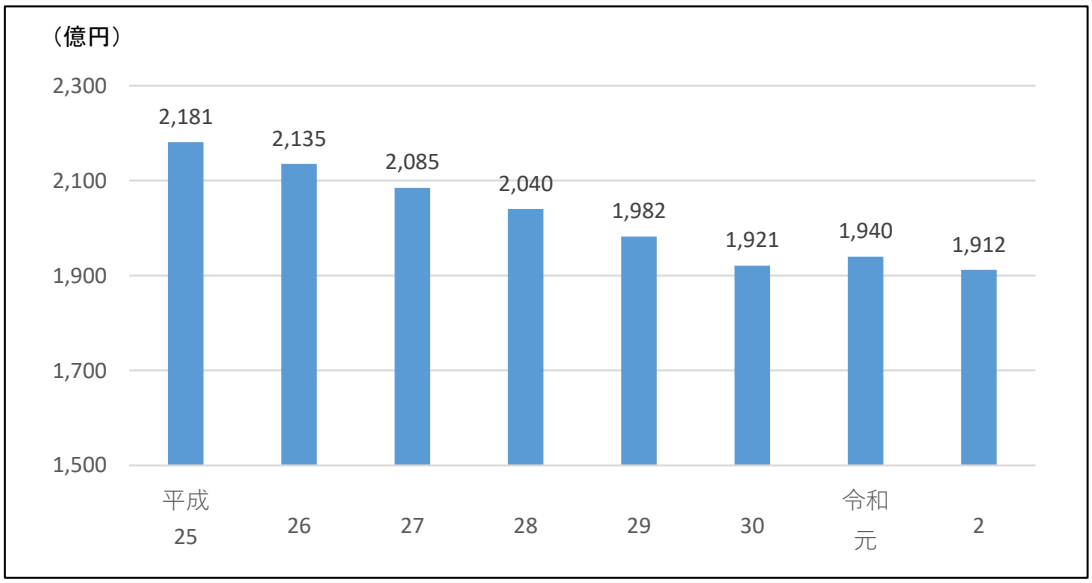
(2)財政状況

ア．市税の推移

（百万円）

平成25年度(2013)	平成26年度(2014)	平成27年度(2015)	平成28年度(2016)	平成29年度(2017)	平成30年度(2018)	令和元年度(2019)	令和2年度(2020)
88,517	90,216	90,417	89,168	89,959	90,603	91,631	90,751

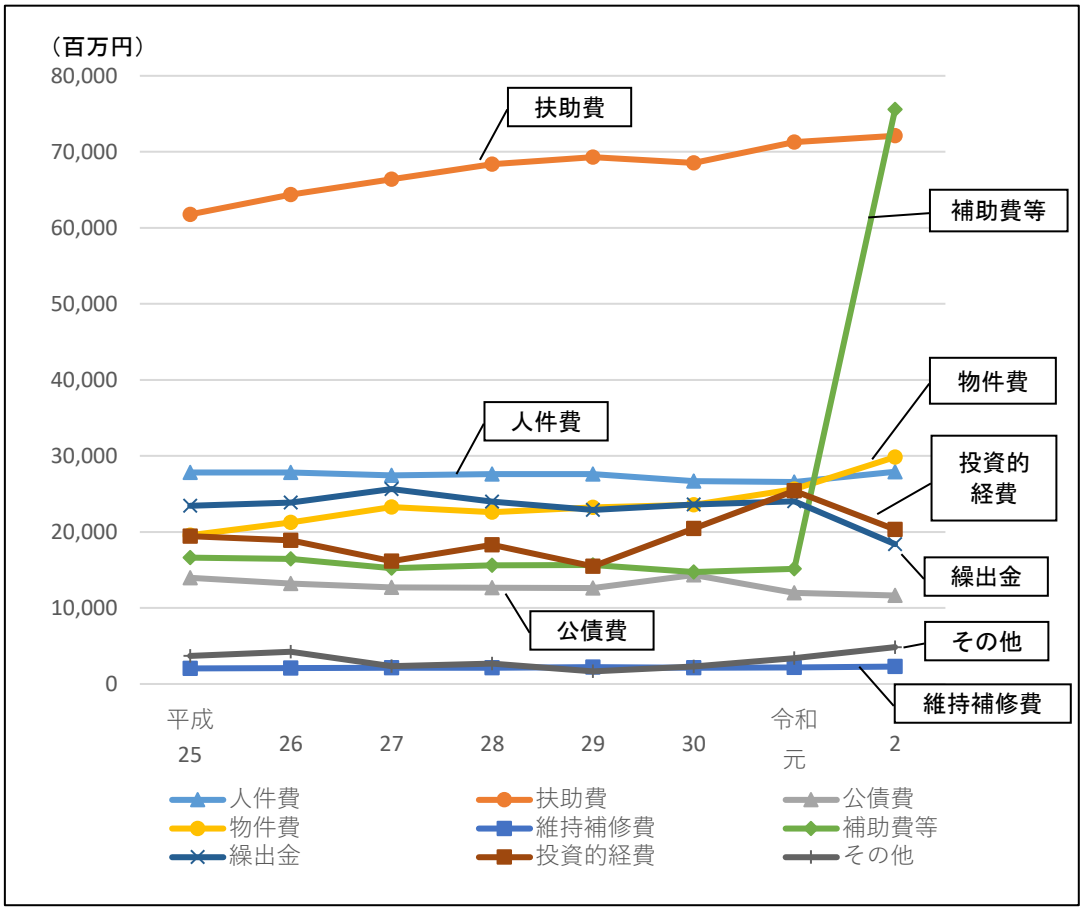
イ．市債現債額の推移(全会計)



ウ．歳出(性質別)の推移　※普通会計ベース

歳出(性質別)　（百万円）

区分	平成25年度(2013)	平成26年度(2014)	平成27年度(2015)	平成28年度(2016)	平成29年度(2017)	平成30年度(2018)	令和元年度(2019)	令和2年度(2020)
人件費	27,808	27,819	27,425	27,618	27,614	26,674	26,568	27,914
扶助費	61,772	64,353	66,396	68,378	69,299	68,550	71,277	72,111
公債費	13,984	13,203	12,682	12,648	12,635	14,337	12,003	11,638
物件費	19,571	21,235	23,255	22,588	23,246	23,566	25,644	29,846
維持補修費	2,044	2,097	2,148	2,144	2,198	2,140	2,187	2,286
補助費等	16,629	16,435	15,233	15,601	15,633	14,728	15,133	75,558
繰出金	23,448	23,843	25,639	23,972	22,895	23,597	24,040	18,395
投資的経費	19,426	18,880	16,173	18,306	15,474	20,444	25,403	20,325
その他	3,680	4,247	2,336	2,689	1,654	2,295	3,395	4,847
歳出総額	188,362	192,112	191,287	193,944	190,648	196,331	205,650	262,920



※補助費等の令和 2 年度（2020 年度）における増は、特別定額給付金に係る経費が皆増になったことによるもの

6 施策指標一覧

※ 平成29年度（2017年度）基本計画の一部改定により追加・変更した指標

都市像	施策	指標名	策定時の値		現状値		目標値 令和4年度（2022年度）
第1編 みんなで担う公共と協働のまち	1	隣近所や地域と交流やつながりがあると感じている市民の割合	平成23年度（2011年度）	49.3%	令和2年度（2020年度）	43.0%	70%
		町会・自治会加入率	平成24年度（2012年度）	63.2%	令和2年度（2020年度）	55.6%	70%
		市民センターの利用率※	平成28年度（2016年度）	59.7%	令和2年度（2020年度）	52.9%	65%
		地域活動に携わっている「はちおうじ志民塾」卒塾者の割合※	平成28年度（2016年度）	53.5%	令和2年度（2020年度）	60.0%	70%
	2	市民との協働による事業実施の割合	平成23年度（2011年度）	75.8%	令和2年度（2020年度）	71.6%	85%
		市民協働でまちづくりをすすめていると感じている市民の割合	平成23年度（2011年度）	25.7%	令和2年度（2020年度）	55.5%	70%
		「市民協働によるまちづくり」に参加している市民の割合※	平成28年度（2016年度）	10.9%	令和2年度（2020年度）	7.0%	15%
		大学等と本市との連携・協力事業数※	平成28年度（2016年度）	250件/年間	令和2年度（2020年度）	136件/年間	328件/年間
	3	市政情報が適切に分かりやすく提供されていると感じている市民の割合	平成22年度（2010年度）	28.8%	令和2年度（2020年度）	45.7%	60%
		八王子の魅力を積極的に友人・家族等に勧めたいと思う市民の割合※	平成28年度（2016年度）	50	令和2年度（2020年度）	47.9	60
	4	行政手続きにおいてICTが利用されている割合	平成23年度（2011年度）	25%	令和元年度（2019年度）	57.0%	60%
		窓口での手続きが分かりやすく利用しやすいと感じている市民の割合	平成23年度（2011年度）	76.4%	令和2年度（2020年度）	69.4%	85%
	5	地方分権改革に関する提案募集制度や国家戦略特区の提案などを行った件数※	平成28年度（2016年度）	7件（累計）	令和2年度（2020年度）	21件（累計）	20件（累計）
	6	全体貸借対照表における世代間の負担割合（負債と純資産の割合）※	平成24年度（2012年度）	1:3	令和2年度（2020年度）	1:3.9	1:3
	7	研修で学習した、知識・スキル・考え方を業務に活かすことができると実感できた職員の割合※	平成28年度（2016年度）	95.1%	令和2年度（2020年度）	92.7%	100%

都市像	施策	指標名	策定時の値		現状値		目標値 令和4年度（2022年度）
第2編　健康で笑顔あふれる、ふれあい、支えあいのまち	8	平和に関する事業への参加者数	平成24年度（2012年度）	6,090人/年	令和2年度（2020年度）	7,101人/年	10,000人/年
		仕事と生活の調和（ワークライフバランス）を実現している市民の割合	平成24年度（2012年度）	17.8%	令和2年度（2020年度）	46.8%	43%
	9	相談の機会が充実していると感じている市民の割合	平成23年度（2011年度）	51.1%	令和2年度（2020年度）	51.0%	60%
		生活困窮者の新規相談受付件数※	平成28年度（2016年度）	1,140件	令和2年度（2020年度）	2,235件	1,500件
	10	就労による保護廃止世帯数※	平成28年度（2016年度）	149世帯/年	令和2年度（2020年度）	73世帯/年	150世帯/年を維持
	11	地域での交流や活動を通して生きがいを感じている高齢者の割合	平成23年度（2011年度）	43.3%	令和2年度（2020年度）	46.1%	60%
		近所に相談相手がいる市民の割合	平成23年度（2011年度）	16.7%	令和2年度（2020年度）	15.1%	30%
		高齢者ボランティア・ポイント制度登録者数※	平成28年度（2016年度）	2,288人	令和2年度（2020年度）	2,616人	3,600人
	12	障害者に対して理解や配慮をしている市民の割合	平成22年度（2010年度）	27%	令和2年度（2020年度）	66.7%	80%
		障害者が外出した際の満足度	平成23年度（2011年度）	69.6%	令和2年度（2020年度）	72.4%	80%
	13	介護保険サービス利用者の満足度	平成23年度（2011年度）	82.8%	令和元年度（2019年度）	81.2%	85%以上
		高齢者あんしん相談センターの認知度	平成23年度（2011年度）	36.4%	令和2年度（2020年度）	50.7%	80%
		高齢者あんしん相談センターに寄せられた相談件数※	平成28年度（2016年度）	74,414件	令和2年度（2020年度）	105,042件	100,000件
	14	健康維持・増進を心掛けている市民の割合	平成23年度（2011年度）	85.5%	令和2年度（2020年度）	89.2%	95%
		特定健康診査受診率	平成23年度（2011年度）	45.9%	令和2年度（2020年度）	39.6%	60%以上
		健康づくりサポーター登録者数※	平成28年度（2016年度）	64名	令和2年度（2020年度）	137名	120名
		妊婦面談率※	平成28年度（2016年度）	66.1%	令和2年度（2020年度）	95.7%	100%
	15	結核罹患率	平成23年度（2011年度）	16.2人/10万人・年	令和2年度（2020年度）	7.8人/10万人・年	9.9人/10万人・年
		食中毒発生件数	平成23年度（2011年度）	3件/年	令和2年度（2020年度）	5件/年	0件/年
	16	かかりつけ医を決めている市民の割合	平成23年度（2011年度）	75.3%	令和2年度（2020年度）	81.6%	85%
		中核病院新規外来患者数における紹介率※	平成28年度（2016年度）	74.6%	令和2年度（2020年度）	87.7%	80%

都市像	施策	指標名	策定時の値		現状値		目標値 令和4年度 （2022年度）
第３編　活き活きと子どもが育ち、学びが豊かな心を育むまち	17	安心して子育てができていると感じている市民の割合	平成22年度 （2010年度）	19.5%	令和2年度 （2020年度）	55.7%	60%
	18	子どもたちが地域の人に見守られながら成長していると感じている市民の割合	平成22年度 （2010年度）	32.7%	令和2年度 （2020年度）	48.3%	60%
		子育て応援団Beeネットの登録者数	平成23年度 （2011年度）	377人 （累計）	令和2年度 （2020年度）	597人 （累計）	570人 （累計）
		子ども家庭支援ネットワーク中学校区分科会の開催校数※	平成28年度 （2016年度）	22校	令和2年度 （2020年度）	19校	37校 （全校区）
	19	意欲を持って授業に臨んでいる児童・生徒の割合	平成22年度 （2010年度）	80.7%	令和2年度 （2020年度）	86.6%	95%
		不登校児童・生徒数及び出現率※	平成28年度 （2016年度）	498人/年 （1.2%）	令和2年度 （2020年度）	1,147人/年 （2.87%）	340人/年 （0.85%）
	20	学校と地域が協力して子どもを育てていると感じている市民の割合※	平成28年度 （2016年度）	39.1%	令和2年度 （2020年度）	42.0%	60%
		学校と地域が連携して行う取組の数	平成23年度 （2011年度）	29,481回/年	令和2年度 （2020年度）	32,562回/年	62,700回/年
	21	子どもたちに対し適切に教育できる環境となっていると感じている保護者の割合	平成23年度 （2011年度）	76.4%	令和2年度 （2020年度）	78.0%	90%
	22	生涯学習活動をしている市民の割合	平成23年度 （2011年度）	71.3%	令和2年度 （2020年度）	55.7%	90%
		生涯学習活動の成果を地域活動に活かしている市民の割合	平成22年度 （2010年度）	11.1%	令和2年度 （2020年度）	6.1%	40%
	23	週1回以上運動をしている成人の割合	平成23年度 （2011年度）	29.9%	令和2年度 （2020年度）	64.1%	67%
		総合型地域スポーツクラブの数	平成23年度 （2011年度）	19団体	令和2年度 （2020年度）	19団体	27団体
	24	定期的に文化芸術活動に参加している市民の割合	平成23年度 （2011年度）	56.2%	令和2年度 （2020年度）	28.9%	60%
	25	1年間のうちに伝統行事に参加したことのある市民の割合	平成22年度 （2010年度）	23%	令和2年度 （2020年度）	18.8%	50%
		文化財関連施設の利用者数	平成23年度 （2011年度）	37,347人/年	令和2年度 （2020年度）	70,930人/年	100,000人/年
	26	市や八王子国際協会が開催する事業への参加者数	平成23年度 （2011年度）	7,496人/年	令和2年度 （2020年度）	4,302人/年	9,700人/年
		海外友好交流都市を知っている市民の割合※	平成28年度 （2016年度）	38.6%	令和2年度 （2020年度）	32.6%	50%

都市像	施策	指標名	策定時の値		現状値		目標値 令和4年度 （2022年度）
第４編　安心・快適で、地域の多様性を活かしたまち	27	八王子の景観への市民評価度	平成23年度 （2011年度）	37.2%	令和2年度 （2020年度）	54.1%	60%
		住み続けたいと思う市民の割合	平成23年度 （2011年度）	88.9%	令和2年度 （2020年度）	90.5%	92%
	28	市民1人当たりの都市公園面積	平成23年度 （2011年度）	11.48㎡	令和2年度 （2020年度）	12.29㎡	12.5㎡
		誰もが安全で快適に暮らせるまちになっていると感じている市民の割合	平成22年度 （2010年度）	22.7%	令和2年度 （2020年度）	35.3%	40%
	29	特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化率	平成24年度 （2012年度）	81.7%	令和2年度 （2020年度）	92.5%	96.6%
		下水道の耐震化率	平成24年度 （2012年度）	34%	令和2年度 （2020年度）	99.9%	100%
	30	各家庭で災害時のための食料及び飲料水を備えている市民の割合	平成23年度 （2011年度）	23.7%	令和2年度 （2020年度）	42.6%	80%
		1年間のうちに防災訓練に参加したことがある市民の数	平成23年度 （2011年度）	52,046人/年	令和2年度 （2020年度）	18,496人/年	118,200人/年
	31	地域防犯リーダーの数（町会等当たり平均人数）	平成24年度 （2012年度）	1人	令和2年度 （2020年度）	2.1人	3人
	32	市内の道路が渋滞なく利用できると感じている市民の割合	平成22年度 （2010年度）	26.3%	令和2年度 （2020年度）	27.3%	42%
		交通事故数	平成23年度 （2011年度）	2,338件/年	令和2年度 （2020年度）	1,154件/年	1,500件以下/年
		「交通の便」の満足度※	平成28年度 （2016年度）	46.8%	令和2年度 （2020年度）	50.4%	51%
	33	自転車駐車場の利用率	平成24年度 （2012年度）	83.3%	令和2年度 （2020年度）	71.1%	90%
		市道整備割合	平成23年度 （2011年度）	83%	令和2年度 （2020年度）	84.0%	86%
	35	公共交通の利便性の満足度	平成24年度 （2012年度）	50.9%	令和2年度 （2020年度）	65.2%	67%
第５編　魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち	36	市内の産業活動が活発に行われていると感じている市民の割合	平成23年度 （2011年度）	25.1%	令和2年度 （2020年度）	33.0%	40%
		法人市民税の納税義務者数の伸び率※	平成28年度 （2016年度）	市0.01 （全国0.01） （指数）	令和元年度 （2019年度）	市0.01 （全国0.03） （指数）	全国の伸び率を上回る
	37	企業誘致制度により立地を支援した企業数	平成23年度 （2011年度）	60件 （累計）	令和2年度 （2020年度）	146件 （累計）	145件 （累計）
	38	就職率	平成23年度 （2011年度）	22.3%	令和2年度 （2020年度）	19.7%	33%
		「はちおうじ就職ナビ」掲載の中小企業等に就職した若者への奨励金交付認定者数※	平成28年度 （2016年度）	167人 （累計）	令和2年度 （2020年度）	479人 （累計）	640人 （累計）

都市像	施策	指標名	策定時の値		現状値		目標値
							令和4年度（2022年度）
第5編　魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち	39	中小製造業の市内事業所数の伸び率	平成22年度（2010年度）	市0.96（全国0.95）（指数）	令和元年度（2019年度）	市0.98（全国0.98）（指数）	全国の伸び率を0.03上回る
	40	新設事業所数の伸び率	平成21年度（2009年度）	市0.42（都0.36）（指数）	平成28年度（2016年度）	市0.58（都0.59）（指数）	都全体の伸び率を0.08上回る
		「本気の創業塾」卒業後の創業率（過去5年間平均）※	平成28年度（2016年度）	36.2%	令和2年度（2020年度）	33.3%	30%以上を維持
	41	年間商品販売額の伸び率	平成19年度（2007年度）	市0.95（全国0.86）（指数）	平成28年度（2016年度）	市1.07（全国1.14）（指数）	全国の伸び率を0.01上回る
		観光客数	平成23年度（2011年度）	602万人/年	令和元年度（2019年度）	786万人/年	849万人/年
	42	農業産出額	平成21年度（2009年度）	27億9,000万円/年	令和元年度（2019年度）	25億4,000万円/年	29億300万円/年
		認定農業者数※	平成28年度（2016年度）	106経営体	令和2年度（2020年度）	105経営体	130経営体
第6編　一人ひとりが育てる、人と自然が豊かにつながるまち	43	日常生活において常に地球環境に配慮して暮らしている市民の割合	平成23年度（2011年度）	44.1%	令和2年度（2020年度）	52.7%	55%
		「エコひろば」における講座の受講者数※	平成28年度（2016年度）	9,939人	令和2年度（2020年度）	3,051人	11,700人
	44	環境市民会議会員数	平成24年度（2012年度）	263人	令和2年度（2020年度）	186人	480人
		環境市民会議の活動件数※	平成28年度（2016年度）	707件	令和2年度（2020年度）	537件	800件
	45	1人当たりの市内CO_2排出量の削減割合（平成12年度比）	平成21年度（2009年度）	18.2%	令和30年度（2018年度）	25.3%	27.5%
	46	1人1日当たりのごみの総排出量	平成23年度（2011年度）	840g/（人・日）	令和2年度（2020年度）	768g/（人・日）	780g/（人・日）
		埋立処分量	平成23年度（2011年度）	449t/年	令和2年度（2020年度）	0t/年	0t/年
	47	水辺に親しめる場所の数	平成24年度（2012年度）	128か所	令和2年度（2020年度）	148か所	146か所
		市内河川の環境基準点等におけるBODの数値※	平成28年度（2016年度）	2.0mg/ℓ以下	令和2年度（2020年度）	2.0mg/ℓ以下	2.0mg/ℓ以下を維持
	48	保全の対象とした緑地面積	平成23年度（2011年度）	149.1ha	令和2年度（2020年度）	178.9ha	185ha
	49	生活環境が以前と比べ良いと感じている市民の割合	平成23年度（2011年度）	53.1%	令和2年度（2020年度）	40.5%	60%
		光化学オキシダント「昼間の1時間値が0.06ppm以下の日数」（館町測定室）※	平成28年度（2016年度）	273日	令和2年度（2020年度）	295日	285日

みんなで紡ぐ幸せ

八王子ビジョン２０２２

活力ある魅力あふれるまちへ

－「八王子ビジョン2022」の総括－

令和３年（２０２１年）１０月

発　行　八王子市 総合経営部
　　経営計画課
電　話　０４２-６２０-７２００